満洲日報

北寧線上の形勢急迫 こゝ一兩日中衝突か
溝帮子に多數の貨車を集め 張學良軍新民に迫る

張學良は列國の手前錦州軍撤退を唱へながら對日抗争の最後的決心を定めたるもの、如く、既に二十八日溝帮子に三百八十輛の貨車を集め盤山、泰安、遼中に正規兵を増派するのみならず、北寧線の正面白旗堡に彰武から南下の騎兵と合せ増派し新民を衝かんとし各方面とも戰局愈々切迫し來つた、斯て北寧線上の衝突もこゝ一兩日中と觀られてゐる【奉天電話】

奉天新民攻撃を命令
錦州軍一萬二千に對して

錦州軍總指揮官榮臻は營口線盤山の死守もその効無きを察し北寧線白旗堡に待機中の黄顯聲、張廷樞の兵約一萬に對し新民攻撃命令を下した外、彰武からの騎兵二千に對して新民北方を迂回し奉天を衝くべく命じた、このため北寧線上日支兩軍の衝突は廿九日中と見られてゐる【奉天電話】

我軍は朱家舖に進撃
水筒凍り、路傍の雪を含みつゝ
二十八日正午朱家舖にて鳩便 藤井特派員發

二十八日午前九時田庄臺を發した我第〇師團は騎兵〇個中隊を先頭とし大興、チチハルにおいて一番乘りの殊勲を樹てた第〇〇聯隊を先頭に隊伍堂々兵匪討伐のため北進した、午前十時わが偵察機一臺後方より來り十時半頃行手に北方の南大房身の一部落に於て盛んに砲聲が聞えるので、見ればわが偵察機は部落の低空を旋回して敵の攻撃に空から應酬しつゝあり、わが先頭騎兵〇隊は直に進撃し約百名の敵を撃退した、わが部隊はなほ偵察機に護られ北進し正午朱家舖に達した、水筒の水は凍つて飲めず、われらは路傍の雪を含みつゝ前進す

空軍の華々しき活躍
敵の装甲列車數輛を爆破

多門師團の總進撃命令と共に盤山方面の狀勢偵察のため二十八日午後二時大石橋を出發した濱松〇〇聯隊の石川大尉を編隊長とする輕爆撃機三機(第一機石川大尉、糸田少尉、第二機阪本曹長、戸田特務曹長、第三機足立軍曹、渡邊軍曹夫々搭乘)及び〇機編隊の偵察機は北寧線の營口支線上に現はれ圓形を描きつゝ我地上部隊の針路を指し示しながら八方に眼をくばりつゝ行きつ戻りつ一絲亂れぬ飛行ぶりを示し盤山、大窪間の大匈家附近において田庄臺方面へ向つて進行中の敵の列車を發見、直に爆彈を投下し先頭にあつた装甲列車數輛を爆破し線路をも爆破したので同列車は進退に窮し搭乘してゐた敵兵は四散した、尚わが飛行機は同列車が進行中のため危險を冒し十數回低空飛行を行ひ爆彈の命中に努めた

寒氣と降雪とに惱む

二十八日朝田庄臺を出發した前衛〇〇部隊はサイドカー、自動車などで前進を急いでゐるが、寒氣と降雪に惱まされ行程捗らず騎兵〇〇部隊も同樣行軍に頗る困難を感じてゐる、それがため盤山到着は二十九日午前に至る模樣である、又第〇師團司令部は二十八日午後四時大窪東方に到着したが、行軍頗る困難のため同夜は八家堡附近に宿營の已むなきに至つたもの、如く、同部隊最前線とは約一日行程の距離を生ずるに至つた

帝國政府の眞意は平和と秩序の强化
パリ出發に際し 芳澤大使聲明

【パリ二十七日發】芳澤駐佛大使は二十七日午後三時二十五分パリ發シベリア經由歸國の途に就いた、同驛頭にはゾーメ大統領代理外交儀禮部長フーキエール氏、駐佛オランダ公使を初め多數官民の盛大な見送りがあつた、出發に際し芳澤大使はフランス政府からレジヨン・ドノール大十字勲章を贈られたことを感謝し、なほ左のステートメントを發表した

日支紛争の特異性が明かにされ喜ぶべき解決策に到達し得た事は一にブリアン議長の卓越せる腕前と權威との御陰だ、理事會の結果により成立した調査委員會は凡ゆる情報を完全に利用する事に依つて現在の困難なる狀態を緩和するに大なる貢献をなすだらう、余は此等の事情を知悉してゐる積りだから歸國の上本國民にフランス及び聯盟が平和に捲まざる努力を拂つてゐる事を極力説明する積りだ、余は今やフランス及びその他の國が熟知せらるゝ如く日本の眞意は極東平和と秩序を强化する以外他意なき事を確言しフランスを去るものだ、經濟的に歐亞關係は緊密を持續し且つ進展して行かねばならぬ、而して日佛關係もこの意味で非常な進展を觀た、余は今後もこの方面に努力する

百姓に變裝し潜伏
蔡寶山の一隊

わが軍に追はれた田庄臺の馬賊頭目蔡寶山の一隊は百姓の姿に變装し新屯及び二道溝附近に潜伏し日本軍が前進して田庄臺を去ればその機に乘じて再び田庄臺を襲ふ恐れあり【營口電話】

遼河々中の葦を燒拂ふ

田庄臺西北方遼河々中に葦原十町[illegible]

増遣部隊着營

内地より増遣された歩兵〇〇聯隊〇大隊〇〇〇名及び鐵道〇聯隊〇〇名は二十九日朝五時營口着、歩兵部隊は練軍營に入り營口警備につく又鐵道部隊は同九時河北に渡り直に北行する筈【營口電話】

張學良に對し速に撤兵すべしと通電
三千萬民衆代表から

滿蒙三千萬民衆代表の名を以て學良に撤兵を促す左の如き通電を二十八日發した

(前略)日本側は既に決議案を遵守し命令を下して撤兵せしめたり、われ人を侮らずば誰かそれわれを侮らんや、茲にいへるあり、人は必ず自ら侮り而して後人これを侮る、國は必ず自ら膺ち而して後、人これを膺つと、今や公のためにはかるに若し古邦に對する顔向立たずんば宜しく早く自決の計をなすべきなり若し爭鬪果してそれ成算ありとせば、また奚んぞ中立地帶を設くる言を用ゐ、首鼠兩端を持し威を失ひ信を揩かんや、若したゞ自身のために打算すせば十萬の强兵を擁しながら馬賊を以て腹臣となすは、その無智を徴するに足り、人民を以て土芥となすは最も不仁とすべし(中略)請ふ速かに關内に撤兵を決行されたし、この上更に馬賊や義勇隊等を放つて虐殺的戰鬪を行ふ勿れ、斯くせば諸公の陰徳は必ず天佑を蒙らん、若し然らずんば名は破れ身は割かれん、卽ち生命の危ふきに遭はざれば天幸なり【奉天電話】

錦州義勇軍の編成
滿鐵沿線と奉天を狙ふ

最近來奉せる支那側要人の談によれば錦州軍は義勇軍十路の編成終り、遼中、大官附近より以西にある義勇軍は馬賊多く北寧線上の義勇軍は敗殘兵及び講武堂の學生を基幹としこれに約半數の匪賊を收編せるものである、而して北寧沿線を除く義勇軍はわが軍の遼西における匪賊討伐に際してはわが滿鐵沿線及び奉天を衝く方針であるさ【奉天電話】

學良の對策

劉翼飛および王以哲方面よりの情報に依れば學良は蔣介石の下野直後要人會議を開いたがその際左記三意見が出た、卽ち

一、平津地方を棄てざる可らざるに至れば飽くまで山西及び綏遠を攻略し西北に根據を得んとする案

二、湯玉麟を驅逐して熱河に退却せんとする案

三、軍隊を萬福麟に與へて下野せんとする案

にして新人等は飽くまで第一案を固守し居ると【奉天電話】

餘ありて葦が一丈以上も密生してをり田庄臺附近を荒す馬賊の隠れ場所となつてゐるのであるが、二十三日も匪賊は葦原から氷源地のわが部隊に向つて山砲を以て砲撃を加へたもので田庄臺部落の治安維持には大きな障碍となつてゐたが廿六日午前十一時高橋少尉の率ゐる一個小隊の手によつて燒き拂はれた【營口電話】

多量の武器等を錦州に輸送
學良軍各部隊に補給

遼河以北の馬賊團は日本軍の掃蕩と豪匪の壓迫を受け正規軍收編の希望を抱いてゐると、また學良副官米春延はモーセル拳銃五千、彈丸九百五十萬發、防寒服、軍費三十萬元を去る二十二日錦州に輸送せしめ收編せる各部隊に補給した【奉天電話】

學生軍二千四百
一部は白旗堡に進出

支那側某要人の言に依れば目下關内方面より學生團多數錦州に來りつゝあり之まで旣に錦州に到着せるものは、淞滬義工軍(代表梅方)上海青年團(代表何章榮)濟南鐵血團(代表熊仲)等十七個團體にて彼等義勇軍は最も過激なる分子を以て構成しその總數二千四百餘名あり、目下榮臻指揮の下に青年義勇隊を編成中であるが右學生隊の一部は白旗堡附近に進出したと【奉天電話】

逆襲を警戒

日本軍北進のため田庄臺方面に於ては匪賊襲來説盛んに流布され人心恟々たる有樣であるが二十八日午前十時營口縣第七區張家堡部落に約四百名の匪賊現はれ田庄臺襲撃を畫策しつゝあり田庄臺公安隊は嚴重警戒してゐるが、右は蔡寶山の部下らしい、又營口縣鯉魚沿一帶にも約百名の匪賊現れ同部落に滯在し居るが今の處移動の模樣はない【營口電話】

荒木陸相參内

【東京二十八日發】荒木陸相は二十八日夜西下するので本日午後一時參内陛下に拜謁滿洲北支方面の狀況並に朝鮮より一部隊増派になつた理由其他を上奏御下問に奉答退下した

敵騎馬隊と衝突撃退
南双房子にて

廿八日未明田庄臺を出發せる多門師團の全部隊は〇〇自動車、若松〇〇聯隊を先頭に坪井、濱田兩聯隊が決河の如き勢ひで北上したが午前九時四十分ころ南双房子に若松〇〇聯隊が差しかゝるや突如百餘名より成る敵騎馬隊現はれ射撃して來たので我軍は直にこれに應戰し〇〇自動車隊と協力して敵兵一名を斃して撃退し敵は大窪停車場方面に敗走した、次いで午前十時半頃敵の装甲列車は北寧線を南下し來り大窪停車場の北二百米突邊より盛に我先頭部隊並びに飛行機に向つて砲撃したが我軍も空陸より猛烈な攻撃を加へたゝめ敵装甲列車は徐ろに退却した、正午頃大窪の東一里の地點を敵の騎兵隊約百名退却しつゝあり我騎兵隊はこれを猛烈に追撃中である【營口電話】

依田混成旅團出動
今夜京城發の列車にて

【京城二十八日發】朝鮮軍司令部廿八日午後四時半發表=依田混成旅團は廿九日午後八時十四分京城驛發第一列車に引續き第六列車により北行する事となつた

我回答に米官邊不満
敵對行動を繼續すとて

【ワシントン二十七日發】錦州攻略に關するアメリカ政府の覺書に對する日本政府の回答電報は本日アメリカ國務省に到着し目下暗號電報の飜譯中で本日午後遲くスチムソン氏の手許に送附さるゝ筈である、官邊は回答につき語るを避けてゐるが、右回答内容は全くアメリカ政府の滿足し得ざるものである、卽ち日本は右回答において國際的誓約の受諾を拒否し米、佛、英三國の警告的態度を無視し今後も對支敵對行動を繼續することを示せるものと臆測される

滿蒙問題の解決は今後の努力に俟つ
第三國の介入は絶對に許さぬ
長春にて 南大將語る

軍事參議官南大將は在長春記者團と二十八日十二時二十分よりヤマトホテルにて會見した、大將は非常な上機嫌で大要次の如く語る

本日は南嶺、寛城子の戰跡、飛行場、衛戍病院、在長軍隊を訪問し、傷病兵には親しく面接して慰問の辭を述べ軍隊には訓辭を與へたが、十二時三十五分發で奉天に歸るから十二分の話も出來ない、然し僕の話は既に幾度も報ぜられてゐる通りだから話よりも僕は南滿最北端にあつて

不眠不休 報國のため活躍してゐる諸君の健在な顔をみればもう滿足である

と先づ記者團をすつかり感激せしめたのち莊重なる語調で縦縦に今回の事件が迅速にその行動が全國に紹介されたとはいへ、その裏面的報道は全國的でなかつた憾もある、自分は當時、當局にあつた關係から細心の注意を拂つてゐたが、官民指導のもとに協同一致、突發事件に最善の努力をされたことの如何に大であつたかゞ今度の視察で適確に認識し得た、最尖端にあつて日本の立場を理解してゐる居留民諸君が一身を忘れ、帝國臣民といふ信念に基き最善の活動をしたことは

全く至誠 のあらはれである、新聞の活躍、滿鐵の活動、警察の治安維持等、物質的にまた精神的に不斷の援助をしたことは軍部として感謝にたへなかつたことで、この大なる支援が軍の活動を敏速ならしめ且つ好結果を得しめたのである、一面内地の國民に呼びかけた努力は今日を築きあげたことで、現地に來てもその感を深くした、而も在滿邦人は何處へ行つて誰に聞いても事件に對する自慢らしいことを一度も聞かぬ、これは共同動作が當然だといふ現はれで、その精神は自分が最も嬉しいと思つた一つである、軍事行動も既に終了し、たゞ

錦州に殘 つてゐるやうなものだが、これは吹けば飛ぶやうなもので、いづれは自然消滅するであらう、從つてこれよりも今後の建設が必要であり急務である、滿洲は今日までではなく今後にある、日本人の缺點として建設持久は向かない、然し全面積が日本の十數倍もある國家の建設は大事業である、この大事業に對して援助することに就いては日本は百年の基礎において滿蒙を各國民の安全樂土になすの大理想の下に邁進せなければならぬと思ふ、然し滿蒙事變に對しては絶對に

第三國の 介入を許さず斷乎として既定方針により邁進するが長春は今後益々多忙であり而も南滿最西端といふ大切な地域であるから何卒宜しく、君はその責務の重へを自覺して善處されんことを切に望むものである、尚幾度も申すやうに滿蒙問題は國民の協力が今後にあることを忘れず大いに輿論喚起に努めて貰ひたいと切望する

因に南大將は南嶺、寛城子戰跡視察中石黒少佐、芳賀大尉、南嶺の殊勲者大島大佐、武田小尉(寛城子の殊勲者)の説明を熱心に聞きつゝその遺蹟を聴めたが部下を思ふ大將の心情に感激せぬものはなかつた【長春電話】

龍山旅團兵
ゆふべ出發北行

【京城特電二十八日發】龍山第〇〇師團第〇〇旅團〇〇〇名は二十八日午後四時二十分龍山發で盛大な見送りを受け征途に上つた

南京政府の豫備金皆無

【東京二十八日發】上海二十八日發、海軍省着電、南京政府の財政は蔣介石、宋子文の辭職で空虚となつた豫備金二千四百萬元は政費として三百五十萬元は軍費として殘額全部を拂ひ出した爲めで當地銀行界は年末決濟を一月末日迄延

國民政府の内訌
蔣は三、四ケ月後復活

【上海特電二十八日發】上海市黨部側の一中全會に對する觀測に依れば會議は胡漢民、汪精衛、蔣介石の三派に分野されてゐるが、汪派と蔣派は非常に接近し兩派合して胡漢民派と對立し之を壓倒してゐる形勢である、この間に第三黨派として西山派の鄒魯一派が攪策を講じてゐるので會議は紛糾を免れない模樣である、國民政府主席には過渡的に汪精衛が押され蔣介石も何等かの地位を得て勢力を保持し三四ケ月後には蔣が再び主席に復するであらうと觀られてゐるなほ去る二十五日の會議において東北を失つたのは張學良のみの責任でなく寧ろ他に責任者があると述べ呉稚暉が滿洲問題に論及して東北を失つたのは張學良のみの責任でなく寧ろ他に責任者があると述べ暗に廣東派が日本と接近したと諷刺非難したので廣東派の孫科、李文範等は大いに憤慨し目下上海において汪精衛と對策を講じてゐる

南京新政府の財政難

南京來電によれば去る二十三日一中全會において某委員が國民政府の財政難(一個月平均經費の不足額一千八百萬元)を緩和せんがため内債の元利支拂(月七百萬元)を停止せんことを提議せるため南京、上海の財界は大恐慌を來し内債は約二十元の暴落を見たのみならず斯ては兌換制度を根本より破壞するものなりとて猛烈なる反對運動を開始した、以て南京新政府財政難の一般を窺ふに足る【奉天電話】

期する事となつた、これは一種の局地的モラトリアムで金融界の不安増大を裏書きせるものといふべし

失地を奪回せよ
馮玉祥宣言を發す

【北平二十七日發】馮玉祥は本日午前大要左の宣言を發表して南京に向つた

一、各民衆團體代表より國民救國會議を招致し國難時期中一切の外交、内政部内を監督すべし

二、國防委員會を設置し軍事指揮を統一して最前線に精兵を配置し武力を以て失地を回復すべし

三、革命犠牲者及今次の抗日犠牲者を厚く撫恤すべし

以上は國難救濟の最緊要事にして全體會議の決定を待つて實現を期す

米有力紙の對日論調
最近變化の兆

【ニューヨーク二十七日發】二十六日のニューヨーク、トリビューン紙は社説において

南大將が滿洲の政治機關統制者として渡滿し日本は滿洲に日本の信用せざる支那新政權の樹立を許さない云々の聲明を爲したことは日本が滿洲において排他的權利を主張することを意味するものであつて今回英米佛三國が日本に警告を發したのは尤もな次第である

と論じてゐる、最近アメリカの有力新聞の對日論調が變化を來す兆が見えるのは注目されてゐる、なほ最近の滿洲よりの新聞通信は日本はあらゆる政治、經濟機關を管理し獨占權を得んと試みつゝありとの報道が多く之が爲にアメリカにおいては日本の意圖に疑惑の眼を向ける傾きがある

佐藤全權けふ出發

【東京二十八日發】政府は二十七日の臨時閣議で軍縮會議全權團に對する訓令案を附議決定したので本日外務全權佐藤尚武大使に手交した、大使は二十九日午前九時四十五分東京發ジュネーヴに向ふ事となつた

實業廳長更迭

新任實業廳長梁玉書氏は就任後僅に二週間足らずであるが都合により市政公所秘書長張維漢氏と交代することに内定不日發表の筈【奉天電話】

社說

錦州問題と匪賊討伐權
三國の通告と我政府の回答

錦州を焦點として日支兩國間に低迷する暗雲は、最近歐米諸國に於て、日軍の行動に關する疑惑を生ぜしめ、若し之が爲に支那正規軍と衝突した場合、世界の輿論に對して不幸なる影響を與ふるに至るべしとの意味の警告が、三大國から發せられた。この種の疑惑は滿蒙の現狀に無理解の結果であるが故であるは勿論、日本が曩に國際聯盟理事會で宣言した匪賊討伐權を曲解した結果である。表面の理窟からいへば、錦州軍と匪賊とは全然別物である。併し事の起りは錦州軍の指揮者たる張學良氏の失政に崩し、日本をして遂に干戈を執りて自から權益を擁護するの已むなきに至らしめた。その結果滿蒙は政治の中心を失ひ、到る處草賊兵匪が蜂起して內外良民の生命財産を脅威して居るのだ。現に最近の狀態に徴しても、各地に出沒する匪賊の慘害は實に乳虎よりも甚しい。我政府が斷乎として匪賊討伐權行使の已むなきを聯盟理事會に通告し、奉天新政府も亦支那軍の撤退を、張學良氏に要求せんとして居るのは必然の成行きである。

◇

由來滿蒙の匪賊はこの地特有の存在であつて、事ある毎に蜂起して良民を苦しめる。彼等はそれを一種の職業となし、勢のある所に追從して猖獗を逞うする。それを今や錦州軍が使嗾して、各地の治安を攪亂して居るのだ。隨つてこの非常時に際して、錦州軍權の蟠居は、滿蒙全局の禍根である。如何に奉天新政權が、政治の統制に努力しても、錦州軍權の使嗾に因る匪賊の跳梁を鎭定することは出來ない。換言すれば、錦州軍は名は正規兵であつても、實は匪徒の策源地だ。かうした因果關係は必ずしも今日に始まつた現象でなく、日清日露の兩戰役當時から、日本軍の切實に痛感した實相である。左れば今の時局に際會して、滿蒙の秩序安寧を徹底的に回復せんと欲せば、何處までも匪害の根絶を圖らねばならぬ。若し之を等閑に附して顧みないならば、日本の權益は勿論、この地內外の良民をして時局前よりも、危險な狀態に沈淪させざるを得ない。それを錦州軍は使嗾し、激勵して各地の擾亂に努めて居る。寒心すべき狀態である。

◇

かうした現狀は、動もすれば支那本土の住民にさへ判つて居ない。彼等は遼河の東西を劃して、政權の分野が確定したやうに考へて居る。さればそれよりも更に人地生疎の諸外國人が、其間に種々の誤解を生じ易いのは、必ずしも偶然でない。併し事實は何處までも事實だ。現に錦州の義勇軍別働隊なるものが、日軍の後方安奉線方面に出現し最も重要な交通機能を破壞しつゝあるのは明白な事實で、如何に曲辯してもその責任を回避することは出來ぬ。尙錦州軍から手を廻して、チチハル吉林方面の匪賊をも操縱して居る形跡がある。勿論其間には錦軍と關係の無い普通の草賊もあらう。併し全般の亂形を助長する事に於て、彼此を區別することは出來ない。

◇

畢竟、舊政權の策動が、錦州軍を通じて、隱約の間に各地に擾亂を行されて居るのだ。彼等の眼中、最早民衆の安危なく、贓私權力維持の爲めの陰謀あるのみと云ふ實狀だ。この險象に直面して、自衞權を行使する日本軍である。支那の領土權に就いては、既に屢々中外に聲明した通りで、今更論ふる所はない。只滿蒙の秩序を一日も速かに回復し、其處に永遠の平和基礎が確立されん爲の討伐權行使に過ぎない。若し之を悪はずして依然對抗態度を改めない者があるならば、我軍から見て、匪團と正規軍との間に、何等擇ぶ所はない。況んや支那側の責任を看過して、日本の義務のみを云爲せんとする第三者の容喙の如きは、之れを齒牙に懸くるに足らぬ。日本政府は既に二十七日、三國大使に我回答書を手交し、且つ匪賊討伐の已むを得ざる理由の聲明書を發表した。是れによりて錦州が匪賊の策源地たる事並びに正規軍と匪賊との區別明瞭ならざる事を知らしめて居る。犬養首相の談話中にも、米國大使に其旨懇篤に說明したさうである。之れによりて三國は固より正當の理解を得るであらう。さるにても當面の匪賊問題は、その程度、及びその範圍が益々擴大した。而して更に擴大せんとする。吾人は切に、我國官民が一致協力して、萬遺算なきを期すべき時機に直面してゐる事を強調して已まない。

滿鐵今後の經營方針
傍系會社は整理の上獨立させ
內地實業家の投資を歡迎する

剿匪一段落後に滿洲新政權確立
入京せる 內田滿鐵總裁談

【東京特電二十八日發】內田滿鐵總裁はまさ子夫人及び杉本秘書帶同二十八日朝八時半東京着急行にて入京した、驛頭には伍堂、十河、大森、木村各理事、斯波技術局長、水谷中將、大淵支社長その他多數の出迎へがあり、挨拶の後總裁は直に西大久保の自邸に向つた、これよりさき總裁は語る

今度の上京は豫定の行動で政變があつたから特別に急いで來たのではない、滿鐵沿線を脅してゐた匪賊、馬賊の討伐が一段落つけば愈々滿洲の**政治機構**が確立し滿鐵としてなすべき多くの問題があるのでそれらの事柄を中央政府に充分報告、打合せをする必要があるので來たわけである、また自分は貴族院議員であるから議會が始まれば出席せねばならぬと思ふ、然し若し議會が解散になれば成可く早く歸任したいと思つてゐる、犬養首相は昨夜鳩山文相と共に西下したやうであるが、自分は犬養首相とは年來の友人である、また在京大臣で最も關係ある**拓務大臣**には是非本日面會して種々の報告打合せしたい事もある、尙江口副總裁について兎角の噂をなすものもあるが、何も江口君が民政黨員であるわけでなし誠心誠意社業の爲めに働いてゐるのであるから何等問題になることはないのである、自分は飽くまで公明正大な態度で一意君國のために盡す氣である

【東京二十八日發】內田滿鐵總裁は二十八日午後秦拓相、荒木陸相と會見後、滿鐵今後の經營方針に就き語る

滿蒙開發は一に滿鐵、二に滿鐵で從來の缺損續きの傍系會社を背負つてゐることが滿鐵の大きな缺陷である、**今後傍系會社を整理して獨立せしめ**滿鐵は鐵道會社としての內容を眞に充實したものにしたいと思つてゐる、これには**內地實業家の投資、內地からの移民增加によつて**現在滿鐵が副業的に行つてゐる諸事業の競爭會社が出來れば獸目だ、滿鐵の增資問題については未だ何にも考へてゐない、今後施設に必要な資金は大體社債で充當する考へである

辭職する意思無し

【東京二十八日發】內田滿鐵總裁は二十八日午前入京したが其進退問題に就き左の如く語つた

自分の進退は新內閣成立以來問題になつてゐるやうだが自分はまだ何も考へてゐない全く辭める意思はない又辭める必要もないと思ふ尙江口副總裁が辭意を洩らしたとの說があるがその樣な事は絕對にない江口副總裁は三菱系だとか何とかいふがそれは昔の事で現在左樣な事は斷じてない、それに自分と江口君は初めから一心同體なんだから自分が辭めれば江口君も辭めやうし江口君が辭めれば自分も當然辭めなくては仕事が出來ない關係にある、要するに今のところ辭職の意思なき事は言明出來る

報告と意見交換
進退問題など出ない
總裁と會見後 秦拓相語る

【東京特電二十八日發】內田滿鐵總裁は二十八日午後二時五十分秦拓相を官邸に訪問、約半時間に亘り懇談したが、主として事變後の滿鐵の諸事業及び來年度の豫算問題、昭和製鋼所問題につき說明、報告の後意見を交換し退出後更に荒木陸相を官邸に訪ひ約半時間に亘り懇談した、尙秦拓相は內田總裁と會見後山本条太郎氏と會見約二十分に亘り滿洲問題につき意見の交換を行つた、拓相は語る

內田君と會つた話の要點は滿洲における現狀の報告を受けたことで、また豫算問題について概略を聞いたこと、それに昭和製鋼所の設置を希望してゐたのでその理由を聞いたまでゝある、內田總裁は政府の方針通り滿鐵の事業を進めて行くといふし別に進退問題につきどうかういふ話は出なかつた、自分は今夜（二十八日）發つて伊勢の大廟を參拜する豫定である

意見交換
新滿蒙建設
總裁、陸相會見

【東京二十八日發】內田滿鐵總裁は午後四時陸相官邸に荒木陸相を訪問、時局問題就中新滿蒙建設方針につき兩者意見を交へ愼重協議した、なほ軍部としては滿鐵總裁の如き特に今回の事變に重大關係を有する首腦者更迭に根本的不贊成であり殊に此際內田伯は最適任者としてゐるので同席上荒木陸相より其旨を述べたものと見られてゐる

年初御避寒
畏くも御取止め

【東京二十八日發】天皇、皇后兩陛下には例年の御恒例によると宮中の新年諸御儀御終了後の一月九日頃內親王樣御同伴にて葉山御用邸に御避寒遊ばされるが、本年は御政務御多端に渉らせられ殊に日支問題に關する御裁可事項御頻多のため特に明春に限り御避寒遊ばされぬことに御內定の由承る、從つて例年一月下旬行はせられた御講書始め並に歌會始めの御儀は皇室儀制令の御定め通り一月中旬行はせらるる由である

酷寒の曠野に奮戰
（錦州附近における○○隊の岩田大隊）

七年度歲入出豫算
廿七日の閣議にて承認

【東京二十七日發】昭和七年度歲入出豫算は二十七日の閣議で承認された

▲歲入

經常部	一、二三八、四〇九、七四八
臨時部	一五八、六八五、七五〇
普通歲入	三五、一五五、九三三
公債	一三三、五二九、八一八

▲歲出

經常部	一、一四一、三四四、四一四
臨時部	二五五、七五一、〇八四

各省別（單位千圓）

省別	經常部	臨時部
皇室	四、五〇〇	―
外務	一四、八二七	二、四〇三
內務	四五、八五五	五一、七四二
大藏	二八九、〇八三	一四、四七二
陸軍	一六〇、七三四	三三、九二六
海軍	一四〇、七二四	七〇、九八五
司法	三一、一二四	四二一
文部	一三七、三九五	五、九六〇
農林	二七、七七〇	二二、八八二
商工	四、四一七	五、四〇〇
遞信	二九二、七九〇	三、四〇五
拓務	二、一三九	二〇、二二四
計	一、一四一、三四四	二五五、七五一

財源

（イ）公債	
（ロ）減債基金繰入れ中止による	九、〇〇〇
（ハ）その他益金	一二、六六三

各種公債發行高

【東京二十七日發】昭和七年度公債發行額は左の如し（單位千圓）

一般會計

電話事業公債	一七、五一〇
震災善後公債	七、六七〇
道路公債	一、〇〇〇
電信事業公債	九二五
歲入補塡公債	九六、四二四
計	一二三、五二九

特別會計

鐵道公債	四九、〇〇〇
朝鮮事業公債	一四、九四〇
臺灣事業公債	三、〇〇〇
關東州事業公債	六〇〇
計	一九一、〇七〇

にして一般會計は全部新規、特別會計で鐵道公債九百萬圓、臺灣事業公債三百萬圓は新規發行のものである

鐵道事業公債
四千九百萬圓

【東京二十八日發】明年度帝國鐵道事業公債は前內閣は四千萬圓と決定し失業公債の一千五百萬圓を改良費財源に充當する事にしてゐたが二十七日決定された豫算では現內閣の方針によつて改良費をも公債による事となつた結果（單位千圓）

一、建設費公債	四〇、〇〇〇
一、改良費は	

民政黨の議會對策
黨首幹部の協議

【東京二十八日發】民政黨の若槻總裁を初め小泉、井上、江木、町田、原、櫻內、田中、俵氏の前閣僚並に川崎前書記官長は廿七日午後四時から忘年會に名を藉りて駒込大和村の燕樂軒に會合先づ俵氏から若槻內閣功績書編纂の件につき意見を聽取の上對議會策並に明年一月二十日民政黨大會で行はれる若槻總裁の演說內容等に關し協議に入つたがこれについては黨內の非難を慮り途中から幟世木、小山兩院內幹事總務、永井幹事長も招致した、而して席上一、對議會策については結局解散を免れぬ形勢に在るがこれに對し野黨側が進んで不信任案の形式を取つて戰ふや否やについては今後の狀勢の變化を見極めた上決することゝ二、大會における總裁の演說は若し休會明け議會劈頭解散さなるにおいては衆議院では質問の機會を失ふので豫じめ右總裁の演說中に野黨の主義主張並に態度を明かにし、併せて選擧の題目とすべき金再禁止の暴擧等を初め今後の對策を持寄り協議に決し七時半散會した

正貨現送は絕對に不可
久原幹事長、藏相を訪問し
强硬なる意見を開陳

【東京二十八日發】政友會臨時幹部會に於て決定したる前內閣以來の正金弗買の跡始末問題につき久原幹事長は二十七日午後四時大藏大臣官邸に高橋藏相を訪問、黨の方針に基き絕對に正貨の現送をなすべからざる旨の强硬なる意見の開陳あり、歸途犬養總理を首相官邸に訪問同樣の趣旨を進言しなほ午後五時三十分大口、金光、木村、三善氏は本部に於て久原幹事長の右の報告を聽取して種々協議するところあつた

復黨問題論議せず
民政黨幹部會

【東京二十八日發】民政黨は二十八日午後二時半本年納めの幹部會を開き黨大會は一月二十日上野精養軒で開き宣言決議を發表し、且つ若槻總裁の演說により第六十議會に臨む黨の態度を明かにし、併せて本部役員の決定をなす事に決した後、安達氏復黨問題に關し幹母木氏その他の諸氏より論議あつた本問題は黨の規律節制に關する重大問題であり既に總裁において脫黨を承認したばかりの時である から此際未だ考慮すべき時期に非ずとの意思表示をなしては如何との發議あり之に基き協議の結果、左の決議をなし九州各縣代議士ならびに地方支部へ通知する事として同四時散會した

決議

幹部會は本問題を論議すべきものに非ずと認む

對米爲替暴落

【東京二十八日發】廿八日午前の東京爲替市場は前日入電のニューヨーク日本向爲替相場が三十セント安の四十ドル丁度に續落したので對米爲替は二十六日に比し一ドル方暴落した

美術學校長

【東京二十八日發】鰭原鎌二郎氏の後を襲つて帝國美術院長となつた東京美術學校長正木直彥氏は最近三十年の學校長生活を辭し專ら美術院長として美術の發達に努めたいと文部省專門學務局に辭意を表明してきた、後任として最も有力なるは同校教授久米桂一郎氏であるが、同氏が固辭すれば和田英作、結城素明兩教授が有力視さる

五品定時總會

大連株式商品取引所の第二十四回定時株主總會は二十八日午後三時より同所樓上において開催、水谷理事長議長席につき昭和六年下半期（六月一日より十一月末日に至る）營業報告、同貸借對照表、同財産目錄、同損益計算書、同利益金處分案を上提し一括して承認可決した、利益金處分如の如し（單位圓）

當期利益金	四五二
前期繰越金	一〇、一八六
合計	一〇、六三九
內	
法定積立金	二〇〇
後期繰越金	一〇、四三九

本年度の貿易額
入超七千九百餘萬圓

【東京二十八日發】大藏省發表十二月二十五日迄の昭和六年度對外貿易額は左の通りである（單位千圓）

輸出	一、一二四、四五六
輸入	一、二〇三、七五一
入超	七九、二九五

因に今月下旬分の貿易額發表なし

關東長官更迭期
一月六、七日頃の見込

【東京二十八日發】辭表提出中の塚本關東長官は二十八日午前十一時から一時間に亘り拓相官邸で秦拓相と會見したが、長官後任問題は明春に持越される事になつたので當日は現在の滿蒙情勢につき總督今後の方針の打合せを遂げたが同長官の更迭は一月六、七日頃の見込みである

大觀小觀

そら、ソロソロ民政黨の內輪揉めが始まつた、大地震の後の搖り返し、搖り返しが激しければ無論黨自身の崩壞に至る▲でなければ選擧の神樣の復黨は即ち若槻總裁の追出しに一致する▲政權を離れた政黨は陸上の魚類に等し、如何に圖體が大きくとも、いやその圖體が大きければ大きい程却つてその圖體を持て餘すものだ知るべし野黨の悲哀▲一方思ひがけない政權にありついて得意の政友會、雁首だけは並べたもの ゝ少數黨の實力に乏しく、僅かに「解散風」を吹かせて空元氣を鼓舞するのみ▲而も解散後の成否については毫も確信なく縮むはたゞ對手民政黨の內訌、自壞作用ばかりといふに至つては相變らず懶なし、與黨も亦悲哀去らず▲皇軍、いよく匪賊討伐の大進擊に移る、寒氣凜然なれどわが將士の意氣大に昂る、心强し▲匪賊を追ふて北進するはいふまでもなく多門鬼師團長麾下の精鋭▲東北撰りすぐりの勇士揃ひとて素より寒氣には强し又大興、昂々溪附近の戰鬪において既に銃火を浴びた經驗もあり▲騎聯けば銃が鳴る、向ふところ擊つところ、旗から敵なきの槪あり羨まし

八相
投書歡迎 十五行以內 中傷はさらず

皆是自分勝手　一若人

◇先輩一老人の「餘りに自分勝手」なる題下の論者、一應尤もなり、しかれども醫師會の建言にもまた理あり、寧ろ最も思慮深かるべきご老人の言、再考を要せずや、醫師ならざる赤十字社員として一言す。◇抑々赤十字社の使命たるや、國家有事の際同胞愛のため敵味方一視同仁無差別に傷病者の苦惱を醫し、平時にありては赤貧者及び僻地居住者にして醫療の途なきものを救ひ、天災地異に對しては率先して救護の任につくす等々……にある。◇その使命や尊し、かるが故に總裁に高貴の宮殿下を戴き奉り內外國民を社員に擁し、吾等また自己のためを離れて一社員として入社せり。◇この尊き使命を有する日本赤十字社にして、たゞ徒らに大都市に營利病院を計畫して能事足れりとするが如きは吾等のとらざるところ、かくては上總裁宮殿下に對し奉り、下一般社員に對して何んの面目ぞあらん。◇今回滿洲事變に當りても第一に進出してその使命盡瘁の擧に出づべきなり、在滿華人もその使命とするところに[illegible]、今や匪賊のために在滿多數の內外人にして赤十字の活動に縋むこと大なるものあり、赤十字社滿洲支部、惰眠より覺めてその眞の使命に向つて踏み出せよと言はざるべからず。◇言ひ止めよ、內地各大都市に赤十字病院あり大連に建設また可なりと、內地と滿洲とは自ら異る點多々あり、殊にこのときにおいて。◇醫師會は赤十字社に向つてその使命に歸れといふ、その言や佳矣、また醫師皆暴利者ならんや、御老人安かれよ、大連では病氣しても何とでもなる、奥地を思ふとき赤十字旗の下、同胞また安からんかな。

市況（廿八日）

特產

◇定期後場（保合）

▲大豆（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	四八三〇	四八四〇	四八〇〇	四八一〇
二月末	四九三〇	四九三〇	四八九〇	四九一〇
三月末	四九六〇	五〇三〇	四九六〇	五〇〇〇
四月末	五〇六〇	五一〇〇	五〇六〇	五〇六〇
出來高	三百十一車			

▲三等大豆（出來不申）

▲豆粕（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一六九〇	一六九〇	一六八〇	一六八〇
二月限	一七一〇	一七一五	一七〇五	一七一〇
三月限	一七三〇	一七三五	一七三〇	一七三五
四月限	一七五五	一七六〇	一七五五	一七四五
出來高	十一萬六千枚			

▲豆油（綿臘）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一三〇〇	一三〇〇	一三〇〇	一三〇〇
二月限	一三一〇	一三一〇	一三一〇	一三一〇
三月限	一三二五	一三二五	一三二〇	一三二〇
四月限	一三四〇	一三六〇	一三四〇	一三六〇
出來高	一萬一千箱			

▲高粱（綿臘）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	二八六〇	二九一〇	二八六〇	二九一〇
二月末	二九七〇	三〇一〇	二九七〇	三〇一〇
三月末	三〇六〇	三一一〇	三〇六〇	三一一〇
四月末	三一四〇	三一七〇	三一四〇	三一七〇

▲包米（出來不申）出來高 三十三車

◇現物後場（保合）

	寄付	大引
混保（袋込）大豆（裸）	四七八〇	四七九〇
出來高	百四十四車	
普通大豆（不申）		
豆粕	一六七〇	一六六〇
出來高	三萬五千枚	
豆油	一二九〇	一三〇〇
出來高	四千箱	
高粱（不申）		
包米（不申）		

錢鈔
當市急騰 日米一弗安

後場高寄りして利喰あるも押さず引前第三回日米爲替一兩安の三十八兩を入れたので七十四圓五十錢に急騰し高値止めした

◇定期後場（單位錢）寄付 高値 安値 大引
期近 [illegible]
出來高期近 五百九萬圓

◇現物後場（單位錢）銀對金 銀對洋 金對洋
[illegible]
出來高（銀對金 廿三萬七百圓 銀對洋 二萬一千圓）

奧地市況

奉天票 八九、〇〇
現物 ▲奉天大洋 七二、八〇
現物 ▲開原大洋 七一、八〇
現物 ▲哈爾濱大洋 五一、七〇 五一、九〇
現物 ▲哈爾濱大豆 [illegible]
▲哈爾濱小麥 [illegible]

音羽屋の舞台化粧

◇其鮮かさに感心したのが始り

喜多村緑郎丈

私は喉さへあれば音羽屋の芝居を缺かさずに見に行きます。さうして何時も其うまさに敬服して居ます。それが去年の春頃から、技藝ばかりで無く舞臺化粧の美しさにも感心するやうに成りました。

何うしたら彼んなにも、白粉が艶よく冴えて綺麗に附くのだらうと考へさせられた位でしたが、後で聞けば、それは最近の發明に成つたチタニウム主劑のサーワ白粉と云ふのを使用して居るのだと云ふ事が分りました。

尚追々に話を聞いて見ると、サーワ白粉は絶對の無鉛製であつて然も在來の無鉛白粉とは全然材料を異にしたもので、主劑の二酸化チタニウムなるものが性質上鉛とは共存しないものなる事が分りまして、成程それならば眞實の無鉛製に違ひ無いと思つたのですが、音羽屋は此サーワ白粉の創製者である三木元子女史に力を添へて、より良く眞の化粧料として完成させる事に就ては、全く多大な後援者と成つて、一箇年有餘に渉つて改善の實を擧げるべく、自分の顏を手習草紙にしてまで、缺點といふ缺點を悉く除去つて音羽屋が四十何年來の舞臺生活の中、初めて自分の理想に適つた白粉を作り上げさせた譯なので、學問上二酸化チタニウム白粉に仕上げた三木女史の功績の上に、更に六代目尾上菊五郎丈と云ふ名優が、實際多年の化粧法の經驗から、化粧料としての完成を援助して、唯一無二の完全な白粉が出來上つたと云ふ事は、一般の化粧界に取つて此上の福音は無いと云つて宜しいと信じます。

其中に私も勿論舞臺化粧にはサーワ白粉專用者となつた譯なのですが、事實サーワ白粉が在來のものに比べて、實地の化粧法の上に偉大な効果を擧げ得る事は、全く驚くほどです。

以上言ひました通り、サーワ白粉及びサーワ化粧品の一式は、化粧の實際家である名優の試驗を經て完成された品、イヤ單に化粧の實際家計りで無く、何事にも舞臺同樣周到細密な用意を持つて掛かる音羽屋の熱心から、仔細に研究された化粧料である事に依つても、夫が尋常一樣の品で無いと言ひ得ます。私は斷然さう言ひ得ると信じて疑ひません。

私がサーワ白粉及びサーワ化粧品一式の專用者となつて以來、自分の經驗だけでもサーワ白粉の特長に就ては、左の通りの實證を擧げる事が出來ます。

それを何かと云へば、先づ今迄に見る事のできなかつた附着と伸びのよい事、使用分量が在來のもの〻半量以下で然も十二分の効果を擧げ得る事、水刷毛を使へば使ふだけ艶が冴えて來る事、一度仕上げた化粧振は長時間を保つて化粧崩れのしない事、濃くも薄くも自由に調子の取れる事、二重塗をして際立たず、如何に厚化粧を續けても白粉燒のしない事、紫外線を吸收するので日焦を防ぐ事、極めて分子が細かいので塗刷毛を損じないこと、白粉がピツタリと皮膚に附いて浮かないので衣裳や半襟を汚さない事、萬一誤つて衣類に垂らしても乾いた跡を叩けば粉末となり飛散つて了ふ事、硫黄の溫泉に入つても變色變質しない事、永き保存に堪へて固まつても水で溶きさへすれば、何時でも初めの通りに使へる事等、一々枚擧に暇の無い程に眞の化粧料の使命を盡して居る事は、一度サーワ白粉を使つて見れば私の言ふのが嘘で無いのが分ります。

まだ〳〵事實の證據として、サーワ白粉で化粧をして寫した寫眞と、外の化粧の寫眞とを比べて見ると、サーワ化粧の寫眞に限つて目鼻立がクツキリと鮮かに寫る事などが、如何に其化粧料としての眞價を物語るものであるかは、一般の御婦人方に於かれても、御試寫の上で比較して御覽に成つても面白からうと思つて居ります。

音羽屋の富樫と三木女史 (ミツワ文庫)

白粉はサーワ・梅島昇丈

多年舞臺生活をして居ます俳優それが如何にして役の人柄を現さうかを研究する事は、一般觀客の思ひ及ばない苦勞があるものです。尤も歌舞伎劇のやうに、赤面が敵役で白塗が立役と云ふやうな、象徵的な化粧法も傳はつて居ますけれども、是等は特殊のもので、寧ろ古典藝術として尊重すべき彼の隈取などの化粧法に近い位のもので、勿論一般の化粧に結付けてお話すべきものでは有りません。

私共新派俳優の扮する役の上には、實在性のある人格を現す化粧が必要だと思ひます。つまり化粧法に依つて役の人格を表す事が必要なのです。

昔は俳優と云へば、頭の頂邊から足の爪先まで綺麗な人の樣に思はれて居た時代がありました。

其後新派俳優が出現し、近年映畫俳優が出現しました。そして歌舞伎俳優のやうな錦繪的な顏立は少くなりましたが、其替り人間味は豐富になりました。即ち役柄に依る其人らしさを現して居ます。又其人らしさを自然に現す事に勞力もして居るのです。

さて愛で私の言はうとする所は新派劇は寫實に見せる爲に苦心をして居るだけ、其化粧法の如きも餘り誇張ではありません。何れも實際に近い化粧法の研究を怠らないのです。然し是を一般の化粧界に比べて見れば、新派とても演劇ですから、單なる實在の寫實だけでは爲に成りません。多少の誇張は爲にも化粧にも許されるのが當然ですから私は新派の化粧法を以て直に之を一般に當箝める者ではありませんけれども、只俳優は新舊の別無く、化粧に苦心を重ねて來て居る事だけは、正に爭はれない事實なのですから、此化粧法の中のよき物を一般の化粧界にお傳へする事に於てそれは多年の經驗が持つ、參考資料であらう事を申上げ度いのです。化粧の理法に至つては全く同じ譯なのですから。

よき物と云へば最近完成された化粧品、サーワ白粉及びサーワ化粧品の一式は、我が一般化粧界に取つて恐らく是程良きものは無いと思ひます。即ち其良きもの〻證據として、一般の化粧界が、その存在を知れる限りは殆んど之に風靡されて居る事は、手近く歌舞伎劇も新派劇も等しく、舞臺化粧が悉くサーワ白粉の世界となつた事でも察せられます。

何故にサーワ白粉が斯くも迅速に化粧界に行渡つたかと云へば、此白粉で化粧をした作りは、他の化粧に比べて鮮かに生きた艶が冴えて居るからです。從來是程生々とした化粧榮えのするものは無かつたと思ひます。然もチタニウムを主劑として絕對に無鉛であり、更に白粉の使命である附着がよく伸びがよく、水刷毛を使ふ程艶が一層冴える事では全く空前の成績を擧げ得るものであり、半量以下で以上の白さに仕上り、又永く保つて化粧崩れがしないのに至つては、今後と雖も是以上に望む事は無いのです。

中でサーワ固煉白粉は煉白粉に比べて幾倍濃く煉り固められてある品ですから、此れの一箇を濃化粧は勿論薄化粧にまでも薄めて用ひれば、經濟的にも更に德用の上に德用な譯です。

さうして化粧法に就ては、先輩の名優諸君が多年實際の經驗上から、徹細に入つての化粧談を發表せられて居ますのも、サーワ白粉の愛用者に取つて鬼に金棒とも云ふべきで、私も又他日に改めて私丈の研究を發表させて貰ひますが今日は只サーワ白粉が確實に良き物である事と、名優諸氏の化粧談が此サーワ白粉の使用者を、より以上の美しい化粧榮に導くものである事の證言を述べて見た次第であります。

三木女史創製の此サーワ白粉は他の色々のチタニウム白粉とは全く性質を異にして居ます。混同なさいませぬ樣御注意を願ふ

（右）喜多村丈の先代萩政岡（左）梅島丈の富山

滿日各地版

今年は駄目ですが仕方がありません

商人の述懷に特殊性をみせて今年も暮れて行く

【奉天】例年なら不景氣ながらも年の瀨が押し詰ると歲末氣分が横溢し商店街は師走のかき入れに一家總動員の多忙さであるが今年は事變の眞只中に年關迫り正月を迎へやうさいふ有樣であと三日に迫つた歲末も軒毎に樹てられる門松も立てられなければ〆飾りも見られず又赤飾巻に杵をかつぐ威勢のよい餅搗き屋も稀に街頭で見るだけである、殊に歲末の氣分を如實に現はす各商店の大賣出しも本年は例年にない寂しさでたゞ市場會社あたりで蜜柑、林檎、柿等の果物その他蒲鉾、鱈たら、鮭等毎日の如く到着し買手もポツ〳〵あるのみで幾分ながら歲末らしい景氣を見せてゐる、春日町あたりの商店では何れも師走の空を仰いで今年はだめです、だが仕方がありませんさ嘆息しながら時局で諦めてゐるのも心淋しい氣がする

有力なる匪賊團鞍山附近に接近

各地匪賊の横行振り

【鞍山】遼陽縣西方遼中縣臺安縣方面に於ける匪賊行動及び頭目人數等につき鞍山警察署刑事隊の內偵する處によれば最近新に鞍山西方に移動し來る匪賊は何れも張學良の命を受けたる老北風が指揮し居る如くにて現在遼陽、海城、太子河、遼河流域附近の匪賊は双山好三軍の六〇〇名、偵子の部下八〇〇名、老人義七〇〇名、會友蒙古人二〇〇〇名、老北風祭小疙一〇、〇〇〇名等にて右の中偵子及び會友の率ゐる匪賊は目下遼中縣高家窩棚さ稱する部落に於て老北風さ連絡を取り東方鞍山附屬地方面に向け襲擊する計畫中さのこさで老北風及祭小疙の率ゆる一萬の匪賊は營口海城牛莊方面に進出し會友及蒙古人の率ゆる二千の匪賊は遼陽縣方面に向け襲擊すべく計畫中であるが遼陽縣第八區唐馬寨には既に匪賊侵入したので區官王金祥區長杜鼎階其の他有力者馬伯全、田階仁、王亞監等は何れも行方不明である、匪賊は漸次鞍山方面に接近し近く襲擊の計畫中であるさ

趙前懷德縣長

近く銃殺の刑

【長春】附近の兵匪を糾合して排日抗日侮日の態度に出で新縣長馬春田の命を奉ぜず自ら縣長の椅子にありさし馬縣長暗殺團さへ組織してゐた趙前懷德縣長は十八日皇軍の討伐によつて逸早く逃走行方を晦ましたが我討伐軍は廿一日一部を殘して懷德城を引揚げ某方面に出動するところありこれがため趙は更に懷德を奪回せんさ城外に接近機を窺ひゐることを我軍が探知し廿四日小數部下さ共にこれを逮捕した、日支人さも怨み骨髓に徹してゐたこさゝて趙は近く公主嶺に押送銃殺の刑に處する筈ださいふが惡鬼趙の運命も此處數日の後には片附くことにならう

愛國彈

【奉天】事變以來軍警慰問に努力して來た本派本願寺婦人會は先に聯合婦人會より脫退獨自の立場に依り慰問事業に專心して來たが先日來滿蒙各地の會員に檄を飛ばし砲彈形の貯金箱を製作し愛國彈さ名付けて各戶を歷訪した、廿七日これを締切つて奉天公會堂に集め廿一個の砲彈を破つて計算した結果金額千五百圓に達し之を軍司令部に軍隊慰問金の一部さして寄贈した【寫眞は愛國彈を破つて計算する本願寺婦人會員】

太子河流域住民動搖

【鞍山】匪賊頭目三勝は目下自衞團さ自稱遼陽遼中縣界太子河流域に在りて一千名の部下を各方面部落に分駐せしめ指揮し居るが部下は經濟の關係上偶々個人的に三勝に秘し掠奪を敢行し居る、三勝は以前遼陽縣內第八區第七區及び海城縣騰鰲堡住民さ土地一天地につき大洋三元づゝを提供する契約條件を以て外部より侵入する匪賊を絶對討伐に當りつゝありしも最近西方に大部隊の匪賊ありて東方に向け襲擊せんさする計畫中なるを知つた三勝は若し大部隊が自己管內を蹂躪せば自己契約條件は破滅する狀態さなるので三勝は如何なる態度に變化するやもはかり知れず故に同部落民は戰々恟々さして警戒中であるさ

馬賊團の垂涎

【鐵嶺】鐵嶺縣下大甸子は事變勃發當時鮮人の虐殺事件で社會の視聽を集めたが同地には敗殘兵が隱匿せる長銃五、六十挺さ輕機關銃十二挺が今尙其儘さなつてゐるやうで各地の匪賊はこれを掠取せんさ機を窺ひつゝあるらしく先日馬家寨で我軍に擊破されたる一團も實は此銃器を強奪せん目的の爲めに行動しつゝあつたものださ言はれてゐるが各馬賊團は此銃器に對し少からず垂涎してゐるやうであるさ

遼陽附近匪賊

【遼陽】頭目要的好以下步騎百二十餘名の匪賊は二十五日午後三時頃遼陽縣第十區管內三家子村（城西北約五十支里）を包圍し村民及び自衞團さ交戰中であるさの情報あり當時沈旦堡に駐在中であつた公安公騎兵中隊さ赫第十區警察署長部下三百餘名を率ゐて討伐に向ひ交戰約四時間の後賊團を擊退したさ

武器を强奪

【鐵嶺】二十七日午前六時頃縣下下非采峪部落に二十八名の步騎兵匪襲來し同村公所より長銃七挺實包四百發を強奪した上村長及村民一名を人質さして拉去撫順縣下に逃走した

烏巴海に兵匪

【鐵嶺】二十六日正午頃縣下第八區烏巴海（當地西南約四十支里）に百七八十名の兵匪來襲大掠奪を開始したるが右は先日石佛寺に於て公安隊さ交戰したる一團で最近同地方に横行する兵匪のうち最も優勢なる部隊である

鄉軍最初の犧牲

鷄冠山で戰死の岩瀨氏

【奉天】時局以來帝國在鄉軍人さして最初の尊い戰死者たる鷄冠山分會員豫備役步兵上等兵岩瀨光男氏は本年六月鷄冠山守備隊を滿期除隊したが今回の事變に於て在滿在鄉軍人は警備團等を編成し活動中なるに感激し本月初旬地理に通曉せる鷄冠山に來り鳳凰城に職を得て赴きたる廿六日同地の匪賊襲擊に際しては身を挺して警備團員を督勵し勇敢に應戰しつゝあつたが衆寡敵せず危殆に瀕するや單身日本刀を揮つて敵中に突入し敵の心膽を寒からしめ滿石頑强に抵抗せる敵を辟易せしめ以て辛くも同驛の危急を救つたが不幸敵彈のため胸部に貫通銃創を受け終に名譽の戰死を遂げたものである尙同氏は渡滿後鷄冠山に滯在中は屢々同地の兵隊を訪れ守備兵の勤務を援助する等獻身的に奉仕し守備隊その他各方面よりも感謝を受けつゝある

范家屯に五人組匪賊

【長春】二十七日午前一時頃范家屯綿町機織業陳某方の裏口を鐵棒で破壊し屋內に進入した五人組の匪賊は拳銃を突つけ家人を脅迫金錢の强要を迫つた、主人陳は賊の隙を窺つて逸早く屋外に脫出急を派出所に告げたが一方賊は陳の妻を捕へ、此處に金の無いことはない筈最近歸國旅費を整へゐることを聞き及んでゐる、あり金全部を提供せぬからには全家族を殺すぞさ脅迫され現大洋一千元を提供、賊はこれを受取るや主人が逃走したのは官憲に密告のためだらうさ妻に右腕上膊部及左大腿部の二ケ所に貫通銃創を負はせ悠々さ引揚げた、急報により范家屯派出所では總動員して現場にはせたが賊は遂に逃走後であつた

得利寺に强盜

【瓦房店】得利寺中央街居住雜貨商兼油房業衞子陽方にては二十七日午前七時頃例に依り朝食の準備をなすべく店員が入口戶を開きたるに表道路に待ち構へ居たる强盜五名は直に屋內に侵入し（一名は見張をなし）拳銃及棍棒を以て家人を脅迫し在金二百五十圓外毛皮其他を强奪し店員二名を人質さして拉去し龍譚山西方に向け逃走したので同地派出所勤務坂元巡査は急を本署に告ぐるさ共に自警團長飯森驛長以下團員十餘名非常集合をなし卽時追跡した一方本署よりは原警部補以下巡査十五名「サイドカー」にて出發現場より雪路を踏んで追掛けたが途中人質二名は奪回したるも賊の所在は判明しなかつた斯くて十數里に亘る强行搜査も遺憾ながら目的を遂げず午後五時半一先づ歸還した

劃期的の新編輯法を採用した

『圖解現代百科辭典』

◈新らしいものから更に新らしいものへさ、殆ご目まぐるしいまでに、急速度の歩調を續けてゐた圓本時代が、既に其の全盛期を終つて、凋落の秋のさびしさを見せた後を受けて、將に舞臺の正面に現はれたものは百科辭書時代であるかを思はしめるものがある。三省堂の圖解現代百科辭典、これさ前後して平凡社の大百科辭典、更に加へて富山房の家庭百科事彙、これが三つ巴さなつて爭覇戰を現出し、今や百科辭書出版界は時ならぬ活況を見せてゐる。

◈百科辭書さ最も緣の深いのは何さ云つても三省堂に指を屈せなければなるまい。三省堂が往年かの日本百科大辭典を發刊して當時の學界を驚倒せしめたこさは、出版界の著しい出來事さして、吾人の忘るべからざるさころであるが、日本で初めての典型的の大百科辭典を完成した功蹟は、緣でも應でも三省堂にこれを認めなければならぬこさは、恐らく誰人にも異存のないさころであらう其の三省堂が圓本時代の全盛期間を通じて、終始何物かを期待するさころあるが如く沈默を守つて、銳意編輯を續けて居た所產物を、續いて現出した百科辭書時代の先頭に立つて世に發表したこさは、誠に時機を得たものであるさ同時に、また吾人の永く期待をかけてゐたさころであつた。

◈今次發表された圖解現代百科辭典は、其の全豹を通觀すれば、往年の日本百科辭典の後を承けて十年振に發表された出版物さしては決して其の尤大を誇るに足るほごではない。否な寧ろ久方振の百科辭書さしては聊か規模の小に失するやを思はしめるものがあるが、併し他面から見て此の發刊計劃が誠に眞面目で、仕事に少しの無理がなく、小取廻しに短期間に全卷を完成するさ云ふ行き方は、兎角此種の出版物に在勝ちな中途挫折の險を完全に防止し、漸を以て將來の大百科に進展しようさする用意は、三省堂が嘗て味はつた百科辭書出版の苦き體驗に基いた結果であらうさ想像される。そして分量から云つても手頃の嵩のうちに手頃の內容を盛上げて世に問うたさころに發行者の深い注意が窺はれ小じんまりさ纏まつた編輯振りは、よく時代の趨向を握み、讀者の思ふ壺に篏つてゐる。

◈全卷五卷、毎卷各四百餘頁、五十音順によつて多く日常生活に卽した必要な語辭を採錄し、これに適切な說明を與へてゆく行き方は多く他の百科辭書さ異なるさころがないが、唯だ全卷を通じて毎頁三段組に本文を配置し、更らに各段の上欄には恰かも映畫のフイルムを展開したやうに、連續的に挿繪を配列した一種斬新な編輯方法を辭書に應用したこさは近來稀に見る最も面白い目新しい試みである。

◈要するに編者の着眼點は固苦しい舊來の辭書の極まり切つた型に近時漸く盛んになつた寫眞圖鑑、實物圖錄風の新形式を取入れて、巧みに兩者を照させ、一面には字引であり辭書であるさ同時に、他面には圖鑑であり圖錄であるさ云ふ兩面的の職能を持たせ、讀む場合役に立つは勿論單に見るだけでも津々たる興味が涌くさ云ふ風に組立てられてゐるのは百科辭書に新生命を與へたものさ見られる。

◈尤も百科辭書がかうした形式に向て進で居るのは世界的の傾向で歐米に於て最近發行される百科辭書がいづれも多方面の挿繪を入れて居るのに見ても知られる英國で出版されたアイ・シー・オールの如きは全く繪の百科さして成立つてゐるけれごこれを圖解現代百科に比すれば外形內容に於て幾多の欠陷があるさ見なければならない

◈かくて全卷を通じて新味が横溢させ、さもすれば固苦しく單調に流れようさする辭書に、あくまでも生氣を吹き込んださころに此辭書の新生命があり、またそれが寸暇をも惜むあはたゞしい現代人の要求にぴつたりさ合致してゐる。專門的の大百科辭書は、別に其職能さ活用の範圍さを異にするものであるから今は暫らくこれを問はない。少なくさも此一書は簡潔明快を尙ぶ好箇の參考書さして現代人士の座右に缺くべからざるものなるを失はない。

人質から脱走し 杉山氏歸る
九死に一生を得た奇蹟

【本溪湖】去る十二月七日匪賊に拉去された牛心臺復興公司杉山義正(三七)氏が嚴重なる拘束看視の隙に乘じ逃走して十九日目の廿五日に無事歸着したが其談話によれば匪賊團の頭目は鐵子臣と稱し牛心臺の奥地深く永年巣窟を構へたる有力なる一團なるが時局以來は張學良の別働隊も加はり今は西北司令部と稱して約六百名の大部隊となりて彼等の大半は武器を有し頗る統制ある者にして指揮者中には英語を解する者さへありてなかなか侮り難き大衆團である彼等は本溪湖を襲撃蹂躪する如きは極めて容易であると豪語してゐると云ふことである杉山氏は本溪湖を距る日本里程十七里の地點小句子と稱する處より逃れて嶮岨なる山道十七里を十二時間にて走破し九死に一生を得て歸着した事は實に奇蹟であるなほ彼の匪賊團は現に支那人質數名を引連れ居ると云ふことである

長春にまた 怪盜現る

【長春】長春の怪盜事件また一つ城内西三道街客馬車夫王魁海(二五)は二十五日午後十時二十分頃南廣場に於て一名の支那客を乘せ東三條通より曙町を左折東二條通から普通學校西側にて更に一名の乘客を乘せ十五間位を進んだとき不意に後部より鐵棒で頭部顏面を毆打重傷を負はせ乘客二名は馭車夫を車上より路上に落し逃走した、被害者は急を朝日通派出所に屆出で署員が現場に急行したときは馬車の影もなく引續き搜査中だがこれは最近長春に出現した怪盜、馬車掠奪專門の賊の仕業だと見られてゐる

安東の警備 充實を要望

【安東】安東時局市民會は目下板津中佐の指揮する大部隊が安奉線一帶の馬賊掃蕩をなしつゝある事に感謝してゐるが、官匪のうちには巧に此の討伐網を潛つて安全地帶に逃避し再び襲來の恐れありとの所より更に警備の充實を要望し二十六日午後三時半、本庄關東軍司令官並に林朝鮮軍司令官宛左の如く增兵方を電請した

最近匪賊は間斷なく安奉沿線を襲撃し今や安東は刻々危險に陷り市民の生命財産の安全を保し難きを以て新義州守備隊を至急安東に進出せしめられたし尚は曩に要請せる增兵の件も此際迅速に御手配御配慮ありたし右要請す

張海鵬軍移動

【鐵嶺】洮南の張海鵬軍は最近馬賊を懷柔して勢力を扶殖すべく計畫しつゝあるやうで八面城商務會に對し近日第二團長李樹田氏が馬賊歸順勸誘の爲め一軍を率ゐて八面城附近に赴くを以て賊團と誤認せざるやう豫じめ諒解を求めて來たと

蓋平の發展策

【熊岳城】蓋平驛が諸貨物の集散地として古來種々の特產物を輸送した事は廣く周知の處であるが近年各農園の果實類も極めて優良なものが頗る多量に產出するに至りこゝ數年を出ずして果實の名產地熊岳城を凌駕すべしと稱せらるゝに至つた程で同地の先覺者と目さるゝ人々は相謀つて蓋平自治會(附屬地)なるものを組織し大いに土地の發展を期したいといふので第一生產品の輸送方法につき研究したる結果佐竹驛長の盡力を待つて從來生果の發送に對しては運賃環拂の規定であるのを特に便宜を計つて販路の圓滑なる發展を期する爲め運賃着拂ひの恩典に浴する事となり今後果實類の販賣能率を一層高むるに至つたと

蓋平 時局委員會

【熊岳城】各地共奮ひ立つた時局善處運動に依行し蓋平にても先日發起者奔走の結果時局委員會が組織せられ、委員長に佐竹驛長、委員に若松地方委員議長、山田軍人分會長、三輪區長、木村地方委員三ケ尻事務所主任を推し逐日事業の遂行にとりかゝつた

百ケ日法要
長春で擧行

【長春】寬城子、南嶺兩戰役に於て戰死した忠勇義烈な我兵士も廿七日が百ケ日忌に相當するので長春佛教團では午前十一時から步兵第四聯隊將校集會所に於て嚴肅なる法要を營んだが軍部及び一般からも多數參加して英靈を慰むるところあつた

產業功勞者

【安東】日滿公司主金井佐次氏は今回日滿貿易功勞者として日本產業協會より表彰され此程同協會から安東領事館宛右表彰狀が到達した爲め二十六日午前十時から領事館に於て傳達式が行はれた終つて米澤領事より簡單なる挨拶ありて式を閉じた

奧村少尉遺骨

【鐵嶺】馬家寨の戰死者奧村少尉の遺骨は公葬も盛大に終れるを以て未亡人及故人の實兄等が附添ひ鄉里熊本に還る事になり二十七日午後九時十五分發列車にて離鐵した

兵隊さんに 腹卷き

【熊岳城】戰線に立つ我が忠良なる守備兵に對し內地各方面より寄せらるゝ眞心こめた御守札は續々當地守備隊にも到着してゐるが出動兵士に對し當地婦人會にては最後の奉仕として右御守袋腹卷を作製の上各兵士に贈らんものと年も押し迫つた二十七日多忙な家事の暇に赤心こめた腹卷きに針運ぶ手にも兵士の安全戰勝を祈願しつゝ作製、午後三時迄に地方事務所に各幹事取纏め持參、夕刻二名の代表者に依つて守備隊に持ち込まれたが僅か三四時の中に二百に近いお守袋の腹卷きが出來上つた事は如何に會員一同が緊張した氣分で取運んだかゞ伺はれる

滿洲里 名刺交換會

當地民會にては時局に際し國民擧つて緊張、緊縮節約の折柄虛禮廢止の主旨に基き各自の濫費を省き以て國力の伸張を圖るため年末年始の贈答を絕對に廢止する事に決議、一般に實行方を勸め、尙年頭に於ける廻禮を廢止する爲め民會主催で小學校で會費大洋五十仙で名刺交換會を行ふ事に決した

記念品を贈呈

ブラゴエに榮轉する事になつた豐原書記生は本月二十八日一先づハルビンに赴き同地で用務を辨じて來春正月二日再び歸滿し九日に當地出發チタ經由任地に赴任する豫定であるが同氏の在留民に盡せし功績に對し一般居留民は非常に感謝し居り記念品を贈呈する事になつた

長春

教化聯盟申合

長春教化聯盟支部では年末年始の申合せと新年國旗揭揚式につき左の如く協議決定した

▲新年國旗揭揚式　滿蒙新天地建設第一年の新年劈頭に際し國威宣揚皇軍の武運長久を祈るため國旗揭揚式を擧行することゝし元旦午前八時三十分長春神社境內に於て一般有志多數の參加を希望すると

▲年末年始申合　時恰も重大なる時局に際し年末年始の儀式は一切簡素を旨とし敬虔嚴肅の氣持を失はざる樣に努めませう

貧困者救助金

長春警察保安係では廿八日內地人十二名、鮮人七名の貧困者に對し歲末年始の救助金として一封づゝそれぞれ贈與した

領事館御用納

長春領事館は二十九日御用納め四日より御用始め尚元日は午前十時三十分より同十一時三十分まで拜賀式を擧行すると

鐵嶺

鐵嶺神社祭典

鐵嶺神社では來る三十一日午後四時より大祓式を執行同午後十一時より除夜祭を執行し歲旦祭は一月一日午前十時、元始祭は三日午前十時の豫定であると

安東

材木組合總會

安東材木商組合は二十六日午後二時から商議會議室に於て定時總會を開催したが昭和六年度決算報告承認並に七年度豫算の協議ありて後役員改選を行つたが理事及監事は投票に依り決定し理事長は滿場一致前理事長伊藤勘三氏を押し左く如く決定した

理事長伊藤勘三、理事武藤守一、村上四郎、阿部卓爾、濱治作、蛸子井正信、福田稔、笹內重晴、監事唐津鶴吉、和田賢太郎

消防組祝賀會

新義州消防組は明年創立二十五周年に相當するので一月中に盛大なる記念祝賀會を擧げ功勞組員並に模範組員の表彰を併せて行ふ筈である、同消防組は明治卅九年の八月義勇消防として創設され初め組員は內地人のみであつたが大正二年第二部として朝鮮人第三部として支那人の組員を設け今日に至つたものでその間防火防水等府民の生命財產保護の爲め盡瘁した功績は多大なるものがある

遼陽

鄉軍自衛協議

遼陽在鄉軍人分會では廿七日午後二時から分會員一百名を警察署樓上に招集して附屬地自衛上に關し步兵大隊坂井大尉、長山署長からそれぞれ注意するところあり萬一の場合に部署につき得るやう打合せをなし午後四時半から分會旗を先登に市中を一巡公會堂に於て冷酒をくみ散會した

沿線往來

▲宇佐美奉天事務所長　廿七日大連より歸奉
▲庵谷忱氏　廿七日ハルビンへ
▲酒本遼陽憲兵分隊長　廿七日朝歸隊同日更に北行

第二の反抗 (116)
三宅やす子
阿部金剛畫

東京へ(四)

「どうしたの？よつぽど苦さうだつたわれ。ちつとは氣分がいゝの？」

お上さんは大柄な人だつたが、みかけよりも、やさしく訊ねてくれた。

「ありがたう御座います」

「不順だからねえ」

お上さんは、何もしらず、一寸した頭痛位に思つて居るらしかつた。

だがお靜は、不意の身體の變調にすつかり驚いて居たのだ。

よくは樣子はわからないけれど、もしや流產といふのは、あれではなかつたかしら、無やみにだるくて、苦い。汽車の疲れだけでこんなになる筈はないのに。

お靜はあえぐやうにして云つた

「も少し、こゝで橫にならせて下さいまし」

「よござんすとも」

お上さんは快く云つて、

「うちは遠方なの、すつかりやすんでらつしやい。送らせてあげてもいゝんですよ」

「ありがたう、それには及びません」

お靜は禮を云ひながら、ギヨツとした。いろんな事を訊かれたらどうしやう。

默つて眼をつぶつて、またウトウトした。

フト、また氣がつくと店には二三人の客が來たらしく、少し賑やかになつて居た。

かうして、こゝで遲くなつたら宿をさがすのに困る——がまた、大儀で起き上れない。どうしたらいゝんだらう。

お靜は途方に暮れてしまつた。するとさつきは居なかつた男の聲で

「一體どこの女なのだい」

お上さんが

「さあれ、店に來たお客さんなんだよ」

二人の會話をきいて、お靜はびつくりした。

こゝの亭主なのかしらん。見ると、やさしいお上さんとはまるで似つかはしくない眼の凄い男だつた。

いよいよお靜は、早くここを出たくなつた。

思ひ切つて無理に起き上り、

「どうもいろいろお世話になりまして」

帶をしめて、お上さんに禮をいふと

「大丈夫ですか——まあ、まだひよろくして、あぶないがねえ」

不安さうにお上さんは云つた。

「大丈夫で御座います」

勘定をすませがま口を出して、勘定をすませやうとすると、男が何やらお上さんに耳打ちしてゐた、

「さうね。訊いて見てもいゝけど」

お上さんは、お靜に何か云ひたさうにもぢもぢして居たが思ひ切つたやうに

「あなた、これからどこへ行くの？旅の方らしいけど」

お靜はみすぼらしい小さなバスケットを携げて居た、

「………」

「宿はきまつてるんですか」

「イエ」

とお靜は眼くなつた。

「何なら、今晚うちに泊つてらしていゝんですよ。そんなに苦さうにして、また途中で、もしかの事があるといけないから——」

蜂ブドー酒大景品附特賣
一本で一等白金時計
空くじなし・全部大景品贈呈
景品種目（二百萬口分）
一等 白金腕時計 一個 一千本
二等 金側腕時計 一個 二千本
又は ベスト寫眞機 一個 / 絞錦紗大巾兵兒帶 一筋 / 鋼鐵製手提金庫 一個 / 美術錦型牛鍋火鉢 一個 の内一品
三等 合金製莨セット 一個 三千本
又は 旅行用化粧具組合 一個 / 吸物椀（漆器）五客一組 / 純毛合シャツ（上下）一組 / 美術銅製花瓶 一個 の内一品
四等 上等コーザン石鹸 半打 四千本
等外 正規の應募者全部へ
池部鈞岡本一平田中比左良前川千帆宮尾しげを五畫伯の
漫畫繪葉書 五枚一組 進呈
但右景品に當らぬ方は證紙書のみと御承知下さい
副賞 ライター付シャープペンシル一本
同時に（個々は無効）數口應募者には十口毎に一本宛を御贈呈
方法
蜂ブドー酒の包紙のレッテル一枚を一口とし 二千口を一組とし當籤番號各組共通 レッテルの裏面には左記條項御明記の上開封（二錢切手貼付）にして御投函下さい
一、御買入店名及月日
二、この廣告を御覽になつた新聞名
三、アナタの御住所御氏名（同居者は何方迄）
御注意—住所氏名不明瞭及包紙レッテル以外は無効
規定
募集總數 二百萬口（レッテル一枚一口）
締切 昭和七年三月十日
送り先 東京市日本橋區本町三丁目 近藤利兵衛商店懸賞係
抽籤方法 一口毎に抽籤券一枚呈上二千口を一組として抽籤 當籤番號各組共通
當籤發表 昭和七年四月五日全國有力新聞紙上
景品發送 發表後一ケ月以内
株式會社 近藤利兵衛商店
御贈答品として二重の贈り物
6—74
蜂ブドー酒
SOLE AGENTS H. KONDO & Co.
PRODUCED BY D. KAMIYA & Co. LTD
TOKYO

小兒科專門
金子醫院
醫學博士 金子甚藏
大連西通七八◆電七六六一
トキワ橋西広場電車通中間・
野津ビル
常盤橋
西広場

乳兒・幼兒・專門
大連市信濃町電車通中程
幡井醫院
電話四八五九番

二酸化チタニューム配合
クラブ白粉
女性にとつて美は生命です
クラブ白粉の生命は美です
高雅な白色
モダンな肌色
靜かな水色
明るい桃色

ヘチマヂュース入
化粧石鹸
優雅なるその香り
泡立ち肌心地
申分のない
自然美を増し
自ら貴品を備へる
ヘチマヂュース入
販賣店 小間物、化粧品店 雜貨店、藥店等
化粧石鹸
S.M & Co

通遠堡襲撃を狙つて 附近の部落に匪賊三百名が集結

安奉線高麗門附近は頻々たる匪賊の襲來で嚴重警戒中であるが二十八日午後安東署に達せる情報によれば安奉線の通遠堡を去る東方二十五支里の村落及び三十支里の部落に匪賊約三百名集合し二十八日夜通遠堡襲撃計畫中であり同地の軍隊、警官、驛員は嚴重警戒中である【安東電話】

五龍背襲撃匪賊の根據地へ討伐隊出發

五龍背を襲撃せる賊團は約百三十名で根據は湯山城北方四里の東溝にあるものゝ如く倉重中隊と高山警官隊は午前六時二十六分五龍背發同地に向つた、賊の死體には遼寧公安第十九大隊五十中隊四部隊班長陳慶福警死救國と書いた腕章を附してあつた【安東電話】

坑家屯に匪賊二百 石頭城附近にも數百名

關東軍司令部發表＝二十八日朝坑家屯（林家臺東方三里）に約二百名の匪賊現はれ安奉線を襲撃せんとせるため新に内地より到着せる歩兵第○聯隊の一ケ中隊はこれが討伐に向ひ兵匪十名を殪した、わが軍に損害なし、また獨立守備歩兵第四大隊及び歩兵第○聯隊第○大隊の主力は二十八日朝來鳳凰城東北方約三十粁の石頭城附近を掠奪中なる數百の匪賊討伐のため出動した【奉天電話】

萬歲のどよめきに勇み立つて征途へ 殘りの村井旅團麾下の將士 ゆふべ大連驛を出發

二十六日早朝より二十七日未明にかけて勇躍上陸し、それ〴〵大連に緊張の一夜を明した村井旅團は既報の如く過半の部隊は廿七日夜市民歡呼裡に奧地へ出發したが、その

殘部隊は 二十八日午後九時大連驛發の列車にて舟津歩兵少佐の輸送指揮のもとに勇氣凜々、颯爽として進發した、この日氣溫頓に下つたが四時ごろには早くも各團體、各組合や一般の見送り人陸續として詰めかけ忽ちにしてプラットホームを埋め盡くし、殊に寒風肌を裂くにもめげず小學生や婦人の多いのが目立つた、場内に醞釀される熱情は期せずして高らかな軍歌となり萬歲々々の歡聲となり日の丸の旗は波うち、高張提灯や日の丸の小提灯は搖らぐ、四時半を過ぎるや、われらの勇士は

眉宇の間 に非常の決意を見せつゝ隊伍堂々と一糸亂れず乘車した、さうさうと打出す太鼓、日の丸の旗の嵐、歡聲一時にどつとあがる、すさまじく緊張しきつた情景だ、そしてこの部隊は一夜を大連の民屋に明かし、而も二十七日、一戰友の不慮の死といふ強く市民の腦裡に刻みつけられた異常の事件が勃發したので特に親みが深いのだ、あちらにもこちらにもテープが擲られて感激した言葉が交される、時刻は迫つた、サイレン響き渡つて、汽車は最後行のうちに動きかけた、送られる者も送る者も息づまるやうな

爆發する やうな感激の言葉と氣持が取交す間もなく、萬歲々々と大きなどよめきに移つて行つた、かくてこの殘部隊を殿りに村井旅團は大半○○驛へと第一線にたつて行つた

萬歲！感激のあらし（ゆふべ勇士の大連驛出發）

外套の襟に防寒毛皮 婦人會が奉仕

大連婦人聯合會では軍部からの依頼により軍用外套の襟に防寒毛皮をつける作業を引受け廿七日から播磨町の滿鐵家事講習所で有志婦人が約百名參集して第一回分千五百着の襟付けを行つてゐるが、軍部の希望としては今後引續き婦人聯合會に依頼したい模樣なので現在の參加人員のみでは手不足でもあり一般より更に多數の有志婦人が奮つてこの仕事に參加せんことを婦人聯合會で各方面に要望してゐるなほ參加者は鋏、針は主催者側で準備してゐるから指環、上衣の二品を携帶されたいと

鑛産事業調査

奉天實業廳では省内各縣の秩序恢復に從ひ鑛産業者の事業開始せんとするもの漸く多くなつたので廿六日各縣に對し鑛産業者は從前通り鑛産業令に基き從業すべく、違反者は處罰する旨を各當業者に通達方を申送ると共に當業者の今回の事變に依る損失並に各種稅金を調査報告かた命令した【奉天電話】

明年のお正月には盛んな祝賀を行ふ 奉天省政府が前途を祝福して 提灯行列をも行ふ

奉天省政府において東北新國家建設のためこれが準備に多忙を極めつゝあるとは既報の通りであるが來る民國二十一年正月元旦は特に省政府において省政府内大禮堂に内外の大官、紳士來賀の準備を進めつゝあり、また臧省長の發意にて盛大なる提灯行列を催し奉天各官民機關一同の參加を内達した【奉天電話】

航空母艦能登呂けふ大連に入港 耐寒航空演習のため

わが海軍においては耐寒演習の目的で近く關東州上空において航空演習を舉行するが、これがため青島に待機中であつた航空母艦能登呂（一萬五千噸）は廿九日旅順を經て大連に入港する事となり、その旨當地滿鐵埠頭側に繋留品その他諸般の打合せを通告して來た、同艦は午後一時頃入港直に十四區に繋留すべく當地埠頭側においても手配を整へてゐる、尚これが打合せの爲第二遣外艦隊參謀川畑少佐が廿八日入港大連丸にて來連した

在支我海軍將士に御慰問使を御差遣 山内大佐聖旨を傳達

【東京特電二十八日發】天皇陛下には長江一帶及支那沿岸警備の任に當つてゐる第一、第二遣外艦隊將士及び旅順海軍無線電信所員御慰問且つ狀況視察の爲二十八日山内大佐を御差遣の御沙汰あらせられた、よつて同武官は卷煙草、酒肴料その他御下賜品を携帶、一月八日東京發、神戸から乘艦約一ケ月に亘り慰問聖旨を傳達二月十日歸京復命する筈

われらの勇士へ 感謝のお印しに 成績品と小遣の中から獻金 大廣場校兒童自治會

大廣場尋常小學校兒童自治會にては時局に關して種々協議した結果軍隊慰問の成績品作成と獻金の醵出とを決議して、その第一回として金十八圓二十一錢也に兵隊さん宛の生徒代表の手紙四通を同封して本社に寄託して來た、右生徒代表より兵隊さん宛の手紙の中二通を左に紹介する。

◇

御國の爲めに又滿蒙平和のために活躍される兵隊さん。

愈々酷寒の冬が滿蒙の空をおそつて來ました。南方の大連でさへも近頃は大變な寒さです。まして北滿の地の寒さは私達の想像以上のことであらうとおもひます。

又それだけ皆樣の御苦勞は大變なる事と御察し致します。只酷寒のみではありません。北滿の各地には私達の同胞の利權や、又尊き生命をさへ奪はうとする鬼の如き匪賊が到る所に暴動を致して居ます。それに對して命を的にて北滿の同胞を御守り下さる皆樣の御勤勞を思ふ時、私達は何と申してよいかわからない位に感謝して居ます。

毎日新聞や、號外を見、又先生の御話をうかがつたりして、この寒いのに、匪賊の多い中を、斥候に歩哨に、或は賊の不意討ちに、身を切るやうな北滿の地にどうして居られるだらう。さう思ふ時私達は全身を捧げてもまだ足らない位に感謝する心で胸一杯です。

それでどうかして皆樣の御心を御慰めしたいと思つて、此度私等の少い小遣ひの中から少しづつ貯へたお金を皆樣に御送りすることに致しました。これは誠に少う御座いますが、私達の心をくみ取られて、御受取り下さい。

私等は皆樣の御苦勞を御慰めすると共に皆樣の後の心殘りのない樣に學生としての本分を盡してゐます。どうか皆樣も元氣で正義のために御活躍下さい。そして支那の暴慢を縮めて東洋平和をもたらして下さい、御願ひ申します

さやうなら

◇

兵隊樣へ

戰場の皆樣、さぞかし連日の戰ひにお疲れのことと思ひます。事變勃發以來の皆樣の御心勞、何とも御禮申してよいかわかりません。私共大連に住む多くの人々は、ただ感謝の念に滿ちあふれてゐます。皆樣にはどんなにかお辛く、又恐ろしい事がありませうに、私達はあなた方のおかげで其の日〳〵何の障りもなく、くらして居ります。之も皆、皆樣方の御勤勞、御努力の賜もので御座います。けれども私達は皆樣方の萬分の一も御奉仕が出來ないことを、どう考へても、すまなくて〳〵なりません。それで私達の學校では、先生方の御考へで、陛下に獻金を戴いて下さいました。そして其の中には小使や、節約してためたお金等を入れることにしました。中にはお父樣やお母樣からいたゞいたお小使を全部なげいれるものもありました。又賣店で何か買つて其のおつり錢を皆獻金する人もありました。そして、それがつもりつもつて、わづかではありますが、十圓ばかりになりました。元より大勢の皆樣方を、お慰め申す事はとても及びませんが、唯小さな少年、少女の心持と思召して、何かのたしにもなりましたならば、大へんうれしく思ひます。皆樣はきつと、この私達の眞心を受けて下さるでせう。そしてあなた方の御力で一日も早く平和の日の近づきます樣、日支親善の喜びを得られますよう心からお祈りして居ります。私共は東洋の平和のため、又は世界平和の爲に働いて下さる皆樣方に心から感謝致して居ります。では寒さはます〳〵つのりますが、此上とも御體を御大切にして、御國の爲に、お盡し下さるやうお願ひ致します。

さやうなら

日華紡職工遂に罷業 會社側閉鎖決心

【上海二十八日發】日華紡は二十五日から賃銀値下げを實行したに反對した不良分子十五名を解雇したところ、二十八日に至り浦口第一工場機械部職工五百名はストライキを決行した、會社側は工場閉

一家七人の親子心中

【名古屋二十八日發】名古屋市東區十飯田町雜貨文房具商高橋正作（三一）は妻と出産兒の病氣を悲觀し妻ブン（二七）長女スズコ（九）二女シゲ（六）三女ミドリ（四）四女ミチ（二）及び幼兒一家七人猫いらず心中を圖り二十八日朝附近の者に發見され應急手當中であるが何れも重態である

支那人慘殺體

廿八日午前十一時ごろ沙河口管内沙河會踢高底猫道滿谷間に年齡三十歳前後の遊人風の支那人が頭部を石にて毆打され慘殺されてゐるのを附近通行中の支那人が發見沙河口署に届出でたので井關檢察官外同署より小野司法主任等現場に赴き實地檢證を行つたが死後約十時間を經過して居り犯行は物取りではなく怨恨か痴情らしく被害者加害者共不明にて目下極力捜査中であるが犯人は二、三名らしいと

小野上等兵の慰靈祭

廿七日白鷺城下に訣別して大連上陸のその夜兇暴な錦州軍便衣隊の狙撃を受け戰死した小野上等兵の遺骨は死を誓つた戰友の續々戰雲渦卷く中に進む時只一人殘され大連憲兵分隊員の手によつて二十八日假慰靈祭が行はれた後關東倉庫別館の一室に移された、英靈の面前には本庄軍司令官を始め贈られた花環が飾られ市内各寺院の僧侶が交々禮拜すれば同倉庫前を通りかゝる人達も立寄つて燒香し香煙縷々として立ち籠めてゐた【寫眞はきのふ遺骨安置の室にて】

櫻桃園採礦所で自警團と交戰中 鞍山署から警官急行

二十八日午後二時ごろ鞍山製鐵所櫻桃園採礦所北方約一里の地點龍堡嶺に約十五名の匪賊現はれ櫻桃園自警團と交戰中との櫻桃園派出所より急報に接し鞍山署員は即時非番員を召集なし松木署長以下三十名が運鑛電車に便乘出動した【鞍山電話】

赤十字で施與

鎮の肚をきめて居る

日本赤十字社大連支部は例年の通り市内外の細民戸數百二十六戸、その人員四百六十三名に對し各方面委員の手を經て正月餅を施與したと

カ社作業停止 注文皆無のため

【ベルリン二十七日發】世界有數の機關車工場たるカッセル會社は注文皆無のため十二月三十一日より作業を停止する事となつた、但織工場だけは閉鎖しないが失業者多數を出した

關東廳の拜賀式

關東廳の新年拜賀式は一日午前十時から會議室において長官代理三浦内務局長以下在旅各官衙學校職員一同參列の上執行の筈で、式後は千歲俱樂部において過般時局慰勞として拓相より贈呈されたる清酒を酌んで祝宴を開き天皇、皇后兩陛下の萬歲を三唱すると

自動車で重傷

二十八日午後零時三十分市内初音町警官派出所附近で市内明治町七番地小長谷政治方雇人茶谷一夫（三〇）が自轉車に乘つて疾走中、老虎灘方面から進行して來た實用タクシー韓三栄（三二）の自動車と正面衝突し茶谷は路上に投げ出され頭部その他數ケ所に重傷を負ひ生命危篤、自轉車は滅茶々々に破壞、自動車は一部分破損した

スペインとアフリカ無着陸飛行成功

【マドリッド二十六日發】スペイン飛行家ハヤ、ロドリゲス兩氏は二十四日午前十時四十一分セヴィル發二十五日午後二時アフリカスペイン領ギネアに到着スペイン、アフリカ無着陸連絡に成功した

伊東家挨拶

曩に支那正規兵のため狙撃され殉職した滿鐵社員故伊東萬次氏の未亡人は去る十九日香港丸で鄕里に引揚げたが二十七日の忌明に當つて大連里勝妙寺同中津小學校に金子若干を送り二十八日令兄貞次氏と共に本社宛挨拶狀を寄せた

●●●支那料理法無代進呈●●● 扶桑仙館主の武田氏が滿鐵家事講習所其他で講習した「支那料理法三十種」を小册子に編纂し無料進呈する、希望者は滿鐵家事講習所又は扶桑仙館に申込まれたしと

安樂椅子

姫路旅團の大連上陸で一番に入つたのは逢坂町遊廓とタクシー業者である

今年は歳暮の書き入れ時でも時節柄忘年會は遠慮しようといふので、一流どころは勿論三流どころの宴會屋まで一齊に悲鳴を揚げこのあほりを喰つた美濃町筋、逢坂町といふ色里まで例年の賑さに比べてさつぱり意氣が揚らなかつた。

……◇……

ところ、姫路の兵隊さんが上陸した二十六日夜から廿七日にかけての逢廓は一齊雪崩を受け八百の娼妓さん達が日頃鍛えた腕によりかけて應戰したが遂に衆寡敵せず全部占領された。

……◇……

こゝ數年來、廓の繁盛昌婦八百名が全部縫切れといふ景氣のいゝ話は耳にしたこともなかつたが思ひもよらぬ日本軍の救援に歳の瀬に直面してホッと一息。

……◇……

次がタクシー屋さん「戰地に金を持つて行つても仕方ない」といふ氣前のいゝ兵隊さんを乘せて走る〳〵、一臺のタクシーが一日數十回、多いのになると八十回から運轉したさうである。

旅行中に付年末年始缺禮仕り候 在東京 石田吟松

喪中に付年末年始の禮を缺く 井上輝夫

喪中に付年末年始缺禮致します 大連市信濃町 景山忠夫

曙の鐘 (153)

倉田潮 作
河野想多 畫

決心(二)

あけみを送り出した後、たえ子は床についたが、春木のことが心配になつて何うしても眠れなかつた。仕方なくまた起き出して、湯につかりながら、夜のあけるのを待つた。

浴室の窓を開くと、隣りの山が霧につゝまれて、寢ぼけたやうな姿に見えた。が、その奥に鋭い雉子の聲が曉を呼んでゐた。宿の前には雨足の音を立てゝ流れる谷川が、白いもやをあげて、終りの夜を送つてゐる。

たえ子は急いで湯からあがつて旅支度に取かゝつた。僅かな逗留でしかないのに、宿の人は道の曲るところまで送つて來て別れを惜んでくれた。そこから駕で彼女は山を下り初めた。

陽はまだ出なかつたが、山の朝靄はあけ放れてゐた。東の山のへりがやがて其處に現れる太陽を約束して、赤熱した針金のやうな一線に輝いてゐる。小鳥の囀もその「大空の朝の口紅」をたゝへるもののやうに、靄につゝまれた繁みの中で、喧騒の喜びを交してゐた。

たえ子は別れて又逢ふ時の知れない山の自然に、駕の窓から名殘を惜んだ。

東京についたのはその日の夜だつた。汽車の驛から程近い淺草へ彼女は歩いて行つた。何時來ても賑やかな淺草だつた。街燈は蜜柑やジャボンやレモンや……いろいろな果物を空につるしたやうに、多くのジャズバンドはその譜を空間に交錯し衝突させて、新しい反響の音樂を空に釀してゐた。

離れて來た山の景色には自然の靜寂があつた。夕に逢つた都會の憤懣には人工の喧騒が狂つてゐる。自然はたくまないで爽快を與へるが、都會はたくんでもなほたえ子には不快を與へた。しかし、人間よもぎ夫婦の回想は、自然にあつても都會にあつても彼女に溫かいなつかしさを與へる。たえ子は吸ひこまれるやうにOKチヤリネの裏木戸を這入つた。

たえ子が來たと聞くと、二階からよもぎがかけおりて來て

「待つてたわよ。電報が行つたでせう」

と驚愕の色を浮べて云つた「今朝駒太郎もよばれて行つたのよ」

「まあ」

とたえ子は色をかへて、よもぎの後について二階にいそいだ。

部屋に這入ると、よもぎは元氣の去らない面持に、取つてつけたやうな微笑を浮べて、無事な歸京を喜んだが

「今朝急に駒太郎が警察に連れて行かれたのよ」と直ぐ話を戻した

「今迄は駒太郎のことは別あつかひにしてゐたのか、一度も呼び出されなかつたのですが、急に模樣が變つて來たやうだわれ」

「では、今朝あけみさんが東京に歸つてすぐ、警察へ云つて出たのかも知れないわ」

と、たえ子は山の宿にあけみが訪れて來たことを詳しくよもぎに打ちあけた。すると、よもぎは膝を叩いて

「それだわよ」と眼を輝かした。

「何だか私も違つたことが起つたやうに思つたわ。では、そのあけみと云ふ長女が東京に歸るとすぐ決心して、事件の全部を警察に云つて出たのに違ひないわ」

「私が云ひすぎたんですわ」

「いゝえ、そんなことはないわよ。それに駒太郎は何度もかう云ふ經驗に逢つてゐるんだし、呼び出された方がさつぱりしていゝてことも前から云つてたのよ。でも、春木さんはさうあんなことになつて、御氣の毒だわれ」

「春木が何うかしたんですか」とたえ子はまた驚いた「私、今日の新聞はまだ讀んでゐないのですが……」

「まだ讀まないの。ぢや、知らないんだわれ。大變なことになつてしまつたわ。私、それで今迄心配してたのよ」

と云ひながら、よもぎは狼狽へて新聞を探さうとするやうに、部屋の中をうろうろと歩き出した。

けふの放送

大連 JQAK 十二月二十九日

▲午後三時三十分 ニュース
▲午後六時十分 ニュース
(以下內地中繼六時三十分)
▲滿蒙特別講座「滿蒙視察談」參謀次長陸軍中將二宮治重
(忘年會の夕)
▲俚謠(廣島より)「酒造りの唄」廣島縣西條町有志一「餅搗唄」島根縣益田町有志
▲年末情景(熊本より)「勘定日」職工熊一(榮和)同猪の吉(幸和)猪の吉の父重兵衛(祐成)同妹お花(たつ子)近所の娘おさよ(涙子)同お婆さん(おさよ)
▲博多歳末點景(福岡より)「起上り寶」福岡放送描寫研究會
▲新民謠(名古屋より)「金澤小唄」東の席唄松榮、三味線一松、かづえ町唄染子、三味線金子「ラヂオ音頭」西の席唄濱子、三味線大助「百萬石小唄と金澤音頭」北の席唄久龍、三味線丸子、同一若
▲ラヂオレビュー(仙臺より)「藝づくし」すゞめ座
(以下大連放送局より)
▲天氣豫報
▲ニュース

在滿鮮人救濟義捐金
大連市役所扱

▲五百三圓四十八錢常盤青年訓練所▲二百四十八圓五十錢人類愛善會大連支部長木原鐵之助▲二百七圓沙河口北區社員會沙河口聯合會沙河口在鄕軍人分會青年聯盟沙河口支部、修養團沙河口支部▲二百圓紅卍字會大連分會▲百七十六圓六十錢大連醫院一同▲百六十五圓六十錢大連在鄕軍人會東公園町分會▲百五十圓滿洲土木建築業協會員有志▲百二十圓五十錢關東廳土木課出張所員一同▲百圓大連市濱速町三丁目町內會▲同南滿洲電氣株式會社大連滿電倶樂部員一同▲同瓜谷長造▲七十圓伊勢町區▲六十二圓十錢大連民政署員一同▲六十二圓大連在鄕軍人會東公園分會大連機車區班▲六十圓日本組合大連基督教會婦人會▲五十圓吉野町區有志一同▲四十八圓五十錢國際運輸株式會社社員一同▲四十六圓七十六錢大連市役所吏員一同▲四十五圓正隆銀行本店有志▲四十四圓朝鮮銀行大連支店有志▲四十一圓五十錢大劉區及附近居住者▲四十一圓大連一中學校職員▲同譚家屯西區▲卅九圓三十錢大連在鄕軍人會第三分會▲三十七圓三十錢昌光硝子株式會社有志一同▲三十一圓五十錢金光教大連教會所信徒一同▲三十二圓南滿洲工業專門學校職員一同▲三十一圓大連神明高等女學校職員▲三十圓磐城町區有志一同▲同霧島町區▲同大連西廣場區民一同▲同聖德區▲同山縣通區▲同大連市濱速町一丁目町內會▲同紀淡町區▲同大連市濱速町二區▲同伏見臺西區町內會▲二十六圓五十錢南滿洲瓦斯株式會社々員一同▲二十五圓五十錢三菱商事株式會社大連支店一同▲二十五圓若狹町區▲同大連彌生高等女學校職員一同▲二十四圓五十錢大連第二中學校職員一同▲二十三圓五十錢大連在鄕軍人會埠頭分會▲二十三圓正金銀行大連支店有志▲二十四圓大連機械製作所々員有志▲二十圓九十二錢大連百合會▲廿圓明治町區會▲同金光教沙河口教會婦人會▲同近江町滿鐵社宅一同▲同嶺前南區▲同監部通東鄕町內會▲同大連市工場地區一同▲同春日町區▲同豆信社員會▲同沙河口西區▲同滿洲輸入組合聯合會▲同濱町區▲同大連市產婆會▲十九圓五十錢日本橋區有志一同▲同關東廳海務局員一同▲十八圓十八錢神明高等女學校生徒有志▲十五圓古河電氣工業株式會社大連販賣店員一同▲同大連組合教會(敷島町、双葉、星ケ浦)日曜學校▲十四圓五十錢大連警察署有志▲十四圓二十錢大連在鄕軍人會第一分會▲十三圓五十錢關東廳專賣局員一同▲十三圓西崗南區▲十二圓大連在鄕軍人會衛生研究所班有志▲十一圓五十錢同東公園分會員▲十一圓東洋拓殖株式會社大連支店有志▲十圓大和染料株式會社▲同關東廳地方法院いわほ會▲同株式會社進和商會社員一同▲同滿洲綿花株式會社社員一同▲同御嶽教關東大教會▲同大連希望社聯盟▲同大連火災海上保險株式會社內互助會▲同嶺前有志▲同高橋保太郎▲同村田懿麿▲同山口啓二▲同福昌華工株式會社▲同金州婦人會▲同下村三四郎▲同大連組合教會附屬双葉幼稚園々兒一同▲同濱村善吉▲同大連メソジスト教會▲同相生逐子▲九圓八十錢大連汽船株式會社船渠工場從事員▲九圓三十錢荻原明正外二十二名▲八圓九十七錢大連取引所有志一同▲九圓大連在鄕軍人會東公園分會滿鐵電氣課班▲七圓滿洲製麻株式會社員一同▲六圓三十錢大連在鄕軍人會第二分會有志▲五圓三宅亮三郎▲同村井啓次郎▲石田貞藏▲同大連工業株式會社有志一同▲同濱村幾次郎▲同埠頭船客待合所營業者共榮會▲同市立商工學校職員一同▲同市立商工學校生徒一同▲同森川莊吉▲同社會館內滿洲美婦人會▲同石田榮造▲三圓五十七錢日本基督教會嶺前日曜學校一同▲三圓地方法院檢察局一同▲同山崎元幹▲同金三民▲同恩田熊壽郎▲二圓埠頭六階食堂▲同渡邊正太郎▲同中堂トメ▲同石田卯吉郎▲同兼田乙治▲同島田喜太郎▲同北田松次郎▲同濱田藤七▲同聖公會▲同稻葉好延▲同梶田宗貞▲同小林敬次郎▲一圓五十錢塚本龍藏▲一圓中溝新一▲同河津純吉▲同河島成光▲同荻原明倫▲同高木彌一▲同太田壽代▲同原鐵太郎▲同原ツル▲同阿久井ユウ▲同阿久井高子▲同鈴木榮藏▲同田中勘助▲同中島國雄▲同飼猪政太郎▲同高橋孝千代▲同河內山武雄▲同田中健藏▲同杉山梅子▲同會田東二▲同村井隆治▲同赤池肇▲同黑田善八▲同山崎良樹▲同密甚助▲同中村松之助▲同宮崎利則▲五十六錢中田卯雄▲五十錢鈴木卯平▲同藤井清平▲同田中美智子▲同沙河口幼稚園代表鈴木フミ▲同竹田武男▲同小玉榮▲同美濃谷博之▲同伊藤順次郎▲同加山誠一▲同堀內初馬▲同手塚義雄▲同森本辰治▲同三好政次▲同白石利夫▲同菊池六郎▲同中原茂子▲同山中靜江▲同中川左太郎▲同李文權▲同金鑑人▲同奧村義信▲同北原古市▲同武田豐市▲同富田充▲同藤原歌子▲同北條嘉衛▲同木下元次郎▲同高橋良治▲同沼本誠二郎▲同前島長政▲同岩崎寬▲同木谷甚兵衛▲七圓修養團埠頭支部

累計四千二百四十八圓九十四錢

雄辯(新年號) 菊池寬氏の「多難なりしわが學生時代」加藤武雄、高島米峰、山川秀豐其他が「彼は斯くして今日を獲たり」と題する物語りは見のがせない名篇だ

婦人倶樂部(新年號) 創作、實用記事、讀物、附錄の全體に互つて美事な內容充實のものだ「各界人氣花形座談會」「一太郎やあい母子を圍む座談會」「小兒婦人の豫防衛生」美容術、料理法其他創作讀物澤山で附錄は美事なものを添へてゐる

滿洲日報

今曉四時進擊令下り 我軍田庄臺から北進

多門師團長は今曉四時田庄臺、營口の麾下各部隊に遼西匪賊大討伐のため總進擊命令を下すや第○師團の一部隊は勇躍して營口、田庄臺より一齊に○○方面に向つて進軍を開始した

數里に亙る長蛇の陣 寒氣凜烈、將士の意氣昂る

廿八日田庄臺にて 神藏重勝特派員發

田庄臺のわが軍は二十八日午前九時當地を出發し鐵道右側を行進し、騎兵隊を先頭に歩兵、野砲兵、山砲、工兵の各部隊及び大行李など數里を連ねたる長蛇の陣を遣つて盤山方面に向つて行進、寒氣凜烈なるも將士の意氣天を衝き士氣旺盛なり

師團主力北進を開始 師團司令部田庄臺へ

匪賊の大々的討伐のため進發命令を受けた水源地守備部隊は二十八日早曉から遼河の氷上渡河を開始して田庄臺に入り田庄臺部隊と合し○師團の主力を擧げて師團司令部の到着を待ち午前八時田庄臺發北進した

麾下全部隊に對し出發命令を下した多門師團長は午前四時二十分司令部たる營口武藏野を出で自動車にて第三埠頭に向つた、秘密裡に出發したことゝて沿道には一人の見送りもなく、まだ明け切らぬ營口の街には蒼白い月光を浴びて立つ警戒の憲兵の姿ばかりで無氣味な靜けさだ、同三十分碎氷船率天丸に乘込み流氷を蹴つて河北に向ひ河北にて裝甲列車に移乘し司令部を田庄臺に進めた【營口電話】

飛機掩護の下に激戰 新屯にて二千の敵と遭遇

田庄臺を進發して○○に向つた○師團の先鋒○○騎兵隊は午前九時半頃より田庄臺の北方一里の新屯において約二千の敵と遭遇し愈々戰ひの火蓋は切つて落され十時頃より野砲隊加はり砲聲盛んに聞こゆ、わが飛行隊は之れを掩護して盛んに○○を加ふ、結果は未だ不明である、田庄臺は公安隊が守備してゐる、又同地北方約一里鄭家屯にある榮實山の匪賊一千餘名が田庄臺水源地を襲ふ形勢があるので嚴重警戒中である

鐵道守備配置

田庄臺及北寧支線の鐵道守備に當るため大石橋獨立守備隊の○個中隊は廿八日午前十一時率天丸にて河北に渡り守備配置に就いた【營口電話】

增派部隊 天津入

【天津二十七日發】第○師團より派遣の後續部隊は昨日大沽沖着御用船上で一夜を明かし本日午前五時[illegible]ご降る雪を冒して白河を遡江し英租界埠頭より上陸、佛租界を經て午後零時半歩武堂々晴れの租界入りをなした、派遣隊が長蛇の列を我租界に現はすや折柄の朝風と酷寒にかゝはらず沿道を埋めた官民は爆發的に歡呼して迎へ、國旗の波と怒濤の如き萬歳の聲は租界を震はせた、派遣隊は租界西北隅の我兵營に入り昨日先着の部隊と合して香椎軍司令官の檢閲を受けた

姫路部隊 奉天着

在滿同胞と東北三千萬民衆の待望を双肩に擔ひ朝風吹きまくる滿洲の曠野に出動を命ぜられた姫路第○混成旅團、大連に上陸しその先頭部隊は二十八日午前八時と九時四十分着の軍用列車で到着し、また○部隊は二十七日午後一時四十分着安奉線の軍用列車で奉天着、驛には官民多數の出迎へあり、萬歳を浴びせられつゝ市内に入つた

朝鮮旅團はけふ進發 夜を徹して準備を完成し

【京城二十八日發】＝朝鮮軍司令部發表 朝鮮軍は第○○師團司令部及第○○師團依田少將の率ゐる混成○個旅團を滿洲に派遣を命じたり

出動命令に勇躍せる第○○師團司令部は直に全員の非常召集をなすと共に徹宵出發準備を整へつゝあり

水源地逆襲の形勢 敵の一部隊が虚に乘じ

情報によれば我軍は新屯にある敵を擊退し敵は大房身方面に向つて退却し我軍はこれを追擊中、我軍は二十八日中に大窪攻略する計畫の由、新屯にて逃走したる敵の一部は我軍の虚に乘じて遼河を渡り田庄臺及び水源地を逆襲する形勢あり、田庄臺及び水源地は營口から派遣の公安隊にて護つて居るが警備力は極めて手薄につき警備方法を當局において協議中【營口電話】

南大將南下 長春方面視察後

軍事參議官南大將は二十五日午後五時十五分着列車で奉天より來長ヤマトホテルに一泊、二十六日午前八時二十分發にて赴吉、二十七日午後六時四十九分着臨時列車で歸長ヤマトホテルに投宿したが二十八日は午前八時より第三旅團司令部、第四聯隊及び衛戍病院を訪問後南嶺、寛城子の戰蹟を視察、同十一時ホテル歸着、正午より在長記者團と會見、十二時三十五分發列車で南下した【長春電話】

師團首腦部 一路滿洲へ向ふ 萬歳聲裡に京城出發

【京城二十八日發】突如として下つた出動命令に緊張せる一夜を明かした第○○師團司令部は徹宵準備を急ぎ今曉迄に全く整つた、先發する室師團長以下幕僚の司令部首腦部を送る京城驛頭は突然の出動にも拘らず早曉から續々詰めかける熱誠なる府民に身動きもならぬ有樣である、斯くて間もなく征途に上る室師團長が幕僚を從へて緊張した面持ちに朗かな微笑を湛えて自動車を乘りつけると、見送りの宇垣總督、林軍司令官、兒玉參謀長等在城軍將星連が一行を取り圍んで景氣の宜いシャンペンに暫しの別れの歡談がはづむ、午前九時五分前乘車室師團長一行の姿がプラットホームに現れると突如として起る萬歳の喊聲が揚る、斯くて定刻を遲るゝ事十五分室師團長以下幕僚の師團首腦○○名を乘せた第一列車は午前九時二十分萬歳々々の歡呼に送られて意氣沖天一路滿洲に向け北行した

うんと働く覺悟 室師團長決意を語る

【京城二十八日發】出動命令の報を齎し第○○師團長室兼次中將を訪へば莞爾として語る

突然の出動命令に驚いてゐる次第だ、しかし命令に依ると滿洲の形勢は非常に切迫してゐる模樣であるから取敢ず自分は幕僚と共に今朝出發する豫定である彼の地へ行けば勿論うんと働いて國民の期待に副ふやう努める覺悟だ(寫眞は室中將)

出發時刻發表

【京城二十八日發】朝鮮軍司令部二十八日午前一時五十五分發表＝第○○師團司令部の出發時刻左の如し

師團長室中將及び師團司令部主力の大部は二十八日午前九時五分京城驛發、殘餘の師團司令部一部は同日午後四時二十分龍山發

錦州軍撤退說は欺瞞策に過ぎぬ 我駐屯軍問題にせず

【天津二十七日發】學良は南京政府より錦州死守の嚴命に接したが日本側が英、米、佛三國の警告なども意に介せず既定方針に向つて邁進するを知り首腦部會議の結果于學忠、榮臻等の主戰論者を退けて張作相の意見に從ひ、戰つて潰滅するより不面目を忍んで實力を保全するに如かずとなし一昨夜我矢野參事官に對し錦州軍を自發的に撤退せしむることを言明し同時に錦州軍に撤退命令を發したといふが駐屯軍首腦部は食言常習犯の學良の約束など信頼出來ぬ、殊に形勢切迫したので撤兵問題で攻擊を運延させその間戰備を充實せんとするペテン手段と對外宣傳の口實に過ぎぬとなし益々戰備を嚴にした

松江部隊の我勇士 けさ大連に上陸 零下八度の寒天下に 多數市民の歡呼埠頭を壓す

相つぐ派遣部隊の到着に今や大連市民は感激と興奮の極に達し遼西方面時局の急迫と共に更にその熱度をたかめつゝある、既報の如く松江部隊○○名の來滿の日、二十八日は早曉よりグッと加はつた寒氣にかてゝ北風が肌を劈く、午前八時御用船平仁丸は甲埠頭九番バースに横付けられる、かくて輸送指揮官北蘭輜重兵少佐に引率指揮され勇み切つた○○部隊は手際よく瞬く間に甲埠頭廣場に整列する、林立する町内歡迎旗、殺到した市民の群、いつに變らぬ熱誠と感激は埠頭を壓倒してしまつて零下八度の寒氣も物の數ではない、先づ小川市長立つて熱のある語調で選ばれた勇士に歡迎の辭を贈る、そして最後に

自分達は國家百年の大計をはかる意味で選ばれた諸勇士の奮闘努力されん事を切望します

と結び代つて北蘭少佐はメガホンを通じて潑剌たる感謝の辭をのべ終るや堤の切れた樣にドッと喊聲が揚り萬歳の聲が爆發する、かくて一同は待合所内に設けられた休憩室に小憩、滿鐵寄贈の酒樽の鏡を拔き技藝女學校、女子職業學校等の手厚いもてなしを受ける【寫眞上は上陸した部隊、下は謝辭を述べる指揮官】

我等の決心愈よ固し 北蘭指揮官談

輸送指揮の任に當り無事大任を果した松江○○部隊引率の北蘭少佐は語る

今でも廿四日故國を離る時の國民の熱狂ぶりは忘れられません、そして同じ樣にこのきびしい寒さにもかゝはらず盛んな出迎へを受け、自分達の決心はハッキリつきました、滿洲への第一歩を印すと共にもうこの身體は御國のものです、諸君の期待にそむかない樣にやつて見せますよ、幸ひ航海中何等事故もなく無事ついた事を喜こんで居ります

安達氏復黨問題 九州團體加はり擴大

【東京二十八日發】民政黨内における安達前内相の復黨運動は漸次内面的に擴大し九州團體では鹿兒島、沖繩、宮崎、熊本、佐賀が加はつた

地方官異動

【東京二十八日發】地方官異動左の如く決定二十八日正式に發令された

任石川縣内務部長 岩手縣内務部長 中村忠充
任岩手縣内務部長 石川縣内務部長 中谷秀
任埼玉縣警察部長 内務省事務官 副見喬雄
埼玉縣警察部長 出石於菟彦
任岐阜縣警察部長 岐阜縣警察部長 山内義文
任熊本縣警察部長 熊本縣警察部長 麻生[illegible]
任宮崎縣内務部長 樺太廳警察部長 小山三郎
任長崎縣學務部長 岐阜縣地方事務官 山崎隆義
任樺太廳警察部長 長崎縣學務部長 尾池秀雄
依願免官 宮崎縣内務部長 歌川貞忠
文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職を命ず

前閣僚の處置 民政黨内に非難

【東京二十八日發】最近民政黨では前閣僚が若槻總裁の威令行はれざるに乘じて常に黨の人事問題その他に容喙し來つた、即ち議長問題及院内總務問題がそれであるがその多くは實現せず徒らに黨内に紛亂の種を蒔いたにとゞまつてゐる、又安達前内相等の復黨問題に關しては目下黨内に贊否兩論を生ずるに至つたが、元來協力内閣問題は若槻前首相を初め前閣僚にその共同責任あるにかゝはらずその責任を回避し今日黨内に喧しくなつた復黨論の對立に周章狼狽して對策に苦しんでゐる狀勢に在る、斯くて前閣僚が黨内に自己の勢力を扶植せんとし黨の正式機關を無視して愈々秘密裡に會合して重要政策や人事問題等につき協議してゐる、その行動に對しては頗る不可解であるとて黨内に非難が高い

南京新政府の陣容 主席以下人選意見一致

【南京二十八日發】波瀾を極めた全體會議も全夜孫科氏等の歸京に依り颱風一過主席以下の人選問題も左の通り意見一致を見、明日最後の會議で正式決定し、新政府を成立せしめ開會式を擧行する事となつた

主席 林森
行政院長兼財政部長 孫科
立法院長 胡漢民
監察院長 蔣介石
司法院長 王寵惠
考試院長 居正
外交部長 陳友仁
鐵道部長 吳鐵城
交通部長 王伯群
教育部長 顧孟餘
實行部長 陳果夫
内務部長 李文範
航空部長 張繼
國民政府常務委員 汪精衛 蔣介石 胡漢民
國防委員會主席 蔣介石

なほ蔣、汪、胡三氏が受諾するか否やは疑問とされてゐるが財政難の爲め新政府は短命ならんと見られる

蛇角

◇ 關東軍兵力增加の件、二十七日御裁可、滿洲各方面匪賊跳梁の際滿洲全民之れによりて安堵。

◇ 吉黑熱四省及び蒙古政權聯合會議漸く具體化し來り、年内に新國家を作らんとす、但前途難關あり一段の努力を要す。

◇ 張學良、錦州軍の自發的撤退を我矢野參事官に通告した、かと思ふに錦軍司令榮臻は總攻擊の手筈を終つて日本軍を殲滅せんと豪語す。

◇ 暫く雌伏してゐた馮玉祥、好敵蔣介石の雌伏と行違ひに南京に出かけた、雄飛の目算出來たか。

◇ 安達前内相復黨の談應頭、時節柄選擧の神樣は矢張り必要。

人事

▲吉武堯雨師(明照寺淨土宗總監)北滿各地軍隊慰問を終つて二十七日夜急行にて歸連
▲首藤正壽氏(滿鐵理事)廿七日夜奉天へ
▲宮本通治氏(滿鐵調査課情報係主任)永明莊五番地に轉居
▲篠原重太郎氏(帝國海軍協會檢査人)廿八日出帆うらる丸にて内地へ
▲山中德二氏(大連民政署地方課長)同上
▲小玉香象氏 同上

芳澤大使出發

【パリ二十七日發】外相に決定した芳澤大使は愈々本日午後三時二十五分當地出發シベリア經由で歸國の途に就いた、驛頭にはブリアン外相代理ド・フーキエール氏、日本大使館員其他見送つた

馮玉祥南京へ

【天津二十七日發】馮玉祥氏は本日午後零時半天津通過津浦線で南下した

内田總裁着京

【東京二十八日發】内田滿鐵總裁は廿八日午前八時三十分東京驛着大久保の自邸に入つた、午後三時秦拓相、荒木陸相と會見の筈

香港丸 二十九日午後一時大連港外着の豫定

東亞の謎 (162)

國枝史郎 挿畫 伊藤顧三

黄帶の巣窟 (二)

東亞の謎を解くに際し、絶對唯一に必要なもの●●、どうして發見することが出來るか？

それは小夜子を犯すことであつた。

さういふ秘密が一昨夜解つた、武村も知つてゐる。

その武村が小夜子を奪つて、今走つて行くのである。

武村にも謎を解くことが出來る實に易々として解くことが出來る。

だから何うしても武村と小夜子とを、一緒に何處へもやつては不可ない。

どうあらうと小夜子を取り返さなければならない。

伯は馬を煽りに煽つた。

さういふ伯のずつと背後から、これも馬を煽りに煽つて、追つかけて來る一騎があつた。それは南部正雄であつた。

南部は遙かの前方にあたつて、馳せて行く一騎の姿を認め、伯であらうとさう思つた。

(追ひついて加勢しなければならない)

で、馬を煽りに煽つた。

三里の沙漠の沙漠とした道を、かうして三騎は走らせて行つた。

と、やがて武村の眼へ、燈火の光が散見して映つた。

(有難いぞう／＼帽兒營へ來た)

彼は其處が黄帶の巣窟、帽兒營であることを知つてゐた。

(旨くあそこへ行き着きさへしたら、一切此方が勝利を得る)

いよ／＼馬を急がせた。

間もなく猛々しい獰古犬の、凄じい吠聲が聞えて來、蒙古包の姿が點在して見えた。

事實其處は帽兒營であつた。

帽兒營は元音車顏城の、擺陶城砦の一つであつて、立派な小城であつたのであるが、永い永い年月の間に、すつかり滅びて廢墟となり、音車顏城よりより以上、全く原形をとゞめなくなり、僅に石柱や石窟や、數個の部屋や礎などが點在してゐるばかりとなつた。

が、どうしたのか此處にばかりは、沙漠に珍しく樹木が繁り、泉も湧き出て河も流れてゐたので、人の住むにはよい土地として、この地方の人々には知られてゐた。

そこへ黄帶の蒙古人達が、物騒な巣窟を形成つたのは、大して古いことではなく、寧ろ最近のことであつた。

武村が近づくと蒙古犬どもは、いよ／＼猛々しく吠え立てた。

と、包の垂をかゝげて、五六人の蒙古人が現はれた。

「俺だ俺だ、知つてゐるだらう」

武村は流暢な蒙古語で云つた。

で、笑つて挨拶をし、犬どもを叱つて追ひやつた。

そこで武村は包の間を駈け拔けすぐに大岩の前まで來た。

大岩はさながら城門かのやうに高く廣く蟠居してゐたが、その左右には樹木が繁つてゐて、それが城壁の代用物のやうに、行手を遮つてゐた。

武村はそこで馬を下り、氣絶してゐる小夜子を引つ抱え、樹木の間へ分け入つたが、やがて姿が解らなくなつた。

蒙古人達も包の中へ引つ込み、犬どもゝ穩しくなり、四邊はしばらくひつそりとなつた。

包の隙から獸油の燈火が、赤黄色く洩れてゐるばかりであつた。

が、間もなく又犬どもは、その殺伐な唸り聲を上げた。

伯爵が乘りつけたからである。

伯は馬から飛び下りて、しばらく行手を眺めやつた。

(此處は一體何處なんだらう？曾ての部落か、それとも何か？)

伯はちよつと思案した。

今曉約百名の匪賊が 五龍背溫泉襲擊

安東署から應援の松井巡査 左肩に重傷を負ふ

二十八日午前三時四十分ごろ約百名の匪賊五龍背驛、守備隊分遣所溫泉ホテルを襲擊したるため守備兵、警官隊、在鄕軍人これぞ應戰彼我銃火を交へ同四時ごろこれを擊退せるが、賊は死體四、長銃二挙二を遺棄し逃走、この交戰にて安東署より應援の松井忠男巡査は左肩に負傷重態である、安東署より高山署長以下應援に出動した【安東電話】

各地から續々と救援 賊は西方の山中に敗退

二十八日午前三時三十分匪賊約百三十名が五龍背驛及び守備隊分遣所、駐在所を同時に襲擊しわが方は守備兵十二名、安東在鄕軍人九名、警察官六名、驛員五名を以て應戰した、急報により湯山城より警官八名を乘せた臨時列車が三時四十五分到着し、高麗門よりの裝甲列車は五時十分安東よりの急援列車は五時十一分到着した、匪賊は交戰三十分の後西方山中に逃走した、守備兵は屋上より射擊し賊五名を射殺した【安東電話】

關東軍司令部發表

二十八日午前三時半ころ匪賊百卅名は安奉線五龍背驛を襲擊し來りたるため同地守備兵、警官、驛員及び安東より派遣されたる自警團之に應戰す、急報に接し救援のため湯山城の警官は臨時列車にて午前四時五分高麗門より守備兵は裝甲列車にて午前五時十分にまた安東より守備兵は臨時列車にて午前五時十一分にそれぐ五龍背に到着したるも賊は既に西方山中に逃走したれり、目下判明せる彼我損害は我軍は警官一名重傷、敵の死者四名なり【奉天電話】

東支線米沙子驛に匪賊迫り來る

支那官兵と交戰開始

二十七日寬城子驛北方十五支里呂家店に二百名の匪賊現れ附近部落の掠奪中なるが同日午後二時ごろ東支線米沙子驛に迫つた匪賊二百名餘は既に支那官兵と交戰を開始したるも附近住民は日本軍の應援をしきりに待望してゐる【長春電話】

第四聯隊から本社長に禮狀

曩に本社の山口特派員が撮影した塘地、三間房附近の戰鬪寫眞は得難き記念寫眞であり士兵の教育資料として尊重すべきものであるといふので當時奮鬪した歩兵第四聯隊より寄與の申出であり本社は快諾してこれを複製し直に贈呈送附の手續きをとりたるに對し二十七日松山本社長宛に左の如き丁寧な禮狀が來た

拜啓嚴寒の砌愈々御活躍の段奉賀候、扨今度は甚だ御迷惑なる御願ひを申せし所御快諾下され早速澤山の寫眞を御送附に預り誠に有難く厚く御禮申上候、お陰様にて將來のため得難き教育資料を得申候、當地目下平穩、來るべき時を待ち居候、新年を迎へんとして滿蒙の天地今尚暗澹遼遠に逆睹し難き形勢に有之、貴社の御活躍も亦大なるものこれあるべく候、君國のため御奮鬪の程禱上候、先は右御禮申上候　敬具

十二月二十五日　歩兵第四聯隊

重傷に屈せず急を知らす

遭難當時の模樣を語る 勇敢な松井巡査

五龍背にて匪賊のため負傷せる松井忠男巡査は二十八日午前七時安東より急行せる並松警部その他につき添はれ安東着、直に擔架にて壽仙堂醫院に運ばれ手當を受けたが第一番に見舞つた記者に語る

二十八日午前三時過ぎ驛立番交替のため派出所に入らんとせる時突然暗闇の中から狙擊せしものあり左手を擊たれましたが、その時は腕がされたような感じがしました、私は直に派出所員に急を告げ五龍閣にある在鄕軍人に急報に行く途中氷溜りの氷の中に墮ち込みましたが這ひあがるに却々苦心しました、左手が全然利かないものですから五龍閣で暫らく休養して居る中安東より出動した守備兵の一隊に竹内軍醫が居つて應急手當を受けました、最初やられなかつたなら匪賊を擊ち殺すのでしたが殘念です

なほ同氏の射擊されたのは左腕中央から骨を通し肋骨の横を通り背中の皮下でとまつて居つた

匪賊に襲擊された五龍背溫泉附近の全景

興隆山から移動し卡倫驛附近で交戰

吉長沿線も依然不安

二十六日吉長線興隆山驛襲擊の匪賊百五十餘名は附近部落に於て自警團と衝突激戰遂に目的を達せず公安隊の出動で退却したが我等は更に二十八日午前四時半ごろ吉長線卡倫驛を襲擊の目的で移動した賊三百餘名（其後增加）は同驛附近に於て長春縣公安局より出動の討伐隊百八十餘名と衝突目下交戰中である、なほ卡倫驛には我守備兵〇兵ありしも吉長鐵路では應援のため裝甲列車及びモーターカーを出動せしめた【長春電話】

故小野上等兵假慰靈祭執行

大連において戰死した故小野上等兵の遺骨は二十七日混成旅團出發後大連憲兵分隊に引取りれんごろに關東倉庫別館にて、二十八日內田曹長以下憲兵隊員により假慰靈祭を執行、本遺骨は當分別館に安置し不日奉天方面より送還されて來る遺骨と合し一月十六日午前八時より埠頭において慰靈祭を行ひ同日發ばいかる丸で送還の豫定

排日ポスター寫眞帖

定價一部金參拾五錢

發行以來續々と注文殺到し部數に限りありますから至急左記にて求められたい

取扱店　大連…本社、各販賣店、大阪屋號滿書堂各書店、地方…支社、支局各販賣店

高麗營子でも衝突

匪賊約六百名を擊退

わが獨立守備隊第〇〇大隊は廿七日牛心臺の北方高麗營子において約六百名の匪賊と交戰し匪賊は數十名の死傷者を遺棄して敗走した、わが軍に損害無し【本溪湖電話】

鳳凰城の被害

上圖匪賊のため切倒された電柱の復舊工事、下左圖襲擊放火された警官駐在所、下右圖安奉沿線の治安を案ず匪賊を指揮する前鳳凰城縣公安大隊長の徐文海

芝罘の排日 最近惡化

撫順炭を壓迫

廿八日入港福壽丸で歸連した政記公司于民山氏の語るところによると芝罘方面の排日狀況は最近頓に惡化の兆を示してゐる、その原因の一つはさきに撫順炭販賣業者十餘名の協議の結果抗日會に大洋二千元を納めて販賣を黜らんとし芝罘煤業公會溫會長に依賴したところ溫がそれを着服した事に端を發し同人は公安局に監禁されると共に撫順炭販賣に對しては一層壓迫の手が延びたと

定期旅客機が新義州寄航

大連から運賃十九圓

日本航空會社では東京、大連間の定期航空線一部變更し朝鮮新義州を寄航地に加へ二十八日から同地にも着陸する事となつた、旅客運賃は平壤新義州間十二圓、新義州大連間十九圓で平壤大連間は從來通り二十七圓である

松竹映畫を繞り報酬金請求訴訟

また映畫界に一波瀾

市內西廣場活動常設館中央館々主一南信次氏は法律時報主幹上原進氏に相手取られ報酬金一千圓の請求民事訴訟を二十八日大連地方法院に提出された

理由は今夏松竹映畫上映館たる帝國館の改築を命ぜられた際、被告南氏は原告上原氏の盡力によつて常盤橋横の空地を滿電會社から借受け假興行場を設置したが、これは取も直さず松竹上映權の餘命をつなぎ今日在る基礎を成したもので上映權利を一萬圓に見積つてもその一割一千圓の報酬支拂ひは當然であり、又當時大日活の長氏、常盤座の小泉氏は原告に對し南座から手を引くなら一千圓の報酬を出すと交涉あつたに徵しても本訴の請求は合理的なものであるといふにある

海城南臺の人心動搖

匪賊出沒

牛莊附近に派遣されたわが部隊は二十四日牛莊を撤退するや牛莊西方に蟠居してゐる義勇軍第一路の主力約二千五百名は二十六日牛莊を占領しその一部約一千三百名は同日夕更に進んでその東方約十粁の土臺子、三臺子、四臺子附近に進出しまた兵匪一二百名は海城及び南臺附近に出沒しつゝありために海城及び南臺の人心非常に動搖してゐる【奉天電話】

公主嶺の守備隊引揚げ來る

懷德縣方面の匪賊討伐に出動中なりし公主嶺守備隊芹澤大尉の率ゆる〇〇〇名は二十七日午後四時三十分公主嶺に引揚げた【長春電話】

デ杯戰候補者

【東京二十八日發】日本庭球協會は二十七日夜協議の結果來年度デ杯出場の歐洲ゾーン候補者五名は桑原孝夫、佐藤次郎、三木龍喜、布井良助、原田武一に決定した

官廳御用納め

大連地方法院、檢察局及び市內四警察署は二十八日御用納めとなり正月四日は仕事始め六日から平常通り事務を開始するさ

海員協會出張所

日本海員協會では新たに大連に出張所を開設する事となつたがこれが所長には小泉正二郎氏が就任した

滿鐵の新年祝賀式

滿鐵においては元日午前十時より大連滿鐵社員クラブ大食堂において新年祝賀式を擧行するが在連社員擧つて參列され度いさ

故藤內氏遺族挨拶

林家臺襲擊で匪賊の襲擊をうけ殉職したる故藤內巡査部長の實兄藤內晃氏は二十八日御禮挨拶のため市內各方面を歷訪す

安藤家不幸

小崗子署保安係安藤祿氏夫人さく子氏(二八)は病氣のためかれて赤十字病院に入院治療中であつたが廿七日午後十一時五十分遂に死去した葬儀は廿八日午後三時より常安寺にて執行するさ

天氣豫報

廿九日　北西の風　晴一時曇

各地溫度

	廿八日午前十一時	廿七日最低
大連	零下六、三	零下五、五
旅順	同四、八	同四、七
營口	同九、一	同九、四
奉天	同一〇、一	同一〇、六
長春	同一二、一	同一七、〇

けふの小洋相場(正午)

金百圓は一五八圓一〇錢

武門血笑記 (10)

下村悅夫作　布施長春挿畫

女妖(一)

太郎左衛門の屋敷に、斯うした不思議な事件が突發した――それと、殆ど同じ時分のことである。城下外れの在所から、山路を十町餘り、人里離れた山と山の峡にある天照院と云ふ、古い山伏寺の山門の前に現はれた、七八個の黑い人影があつた。

その眞先には、何時の間に追附いたのか、お蘭の夜目にも美しい顔が――續いて、乾分の中には、源之丞を背負つてゐるもの、源之丞に手傷を受けた仲間を肩に掛けてゐる者も交つてゐた。云ふ迄もなく、彼等は荒馬ケ原の仕置場から、引上げて來たのである。

と、女は通用門をとんとんと叩いて、

「龍圓さん、今戻つたよ、開けておくれ」

すると、中で、おゝと答へる聲がし、ギーとくゞり戸を開けて、首を出したのは、龍圓と呼ばれたその寺の主で、眉の太い、眼のギヨロッとした、中年男――。

「お、姐御、お歸りなせえ、首尾は？」

「うまくいつたが、一寸いざこざがあつてね、お客樣を連れて來たよ、オホヽヽ」

とお蘭は艶かに笑ふ。

龍圓は手負の樣子に眼を止めて怪訝さうに。

「へえ、どうなすつたんで……」

「まあ、いゝぢやないの」

と無造作に云つて、お蘭はずいと中へはいる。乾分の者もぞろぞろと、後に續く。と、ギイパタンくゞり戸が固く閉つて、人影を大きな家の中に呑み込んでしまふと、山は又、森と靜まり返つてしまう……。

源之丞は冷たい夜氣と、燒き附くやうな肩の傷の痛さに、何時となく意識を回復してゐた。が、彼はじつと、手荒く藍の上に投げ出された時にも、ぢつと、歯を喰ひ縛つて、觀念の眼を閉ぢてゐた。虜囚者としての、自分自身の慘めな樣子を、見まいとするかのやうだつた。女の命令で、無造作に乾分の者がするらしい、肩の傷の手當てにも、彼等の爲すまゝに任せてゐた。

と、プーンと、艶めかしい白粉の香と共に、温かい女の息が、顔にかゝつた。

「お侍さん、御氣が附きなすつたかえ」

（あの女だ！仕置場で、俺の頬に短銃をピタリと當てた、あの怪しい女に、美しい女だ！）かう思ふと、源之丞は、無理矢理に閉ぢた眼を、烈しい憎悪と、何とも知れない好奇との氣持との混亂した意識の中で、見開いた。

「まあ、随分凄い顔をなさるのね。別にお前さんを煮て喰ひはしないから、安心なさいな」

「むむ、貴樣は何者だ？」

「妾や女さ、可哀さうな女ですよ、ホホヽヽ」

相手を馬鹿にしきつた返事である。源之丞はむつとして、唇を閉ぢると、女の顔から瞳を外らして、ぢろりと、四邊を眺めた。高い欄間、破れて、處々雨漏りの跡はあるが、襖の樣子、どうやら寺だと云ふ事だけは、源之丞にも見當がつく。そうして、隣りの部屋であらう、大勢で、酒盛りをしてゐるらしい物音も、彼の耳に入つて來る。

と、女は、惡戯らしく眼で笑ひながら、源之丞の眼を追かけて、

「おや、おこつたの、さう、ヒンシャンするものぢやありませんよ。何うせ、御前さんは、私達の囚人ぢやないか」

源之丞は、默つて、怒りに燃えた瞳を屹ッと女に向けた。

お斷り 武門血笑記の挿畫は工藤義正畫伯が突然病氣となり絶對靜養を要し執筆不可能となつたので已むを得ず第十回から布施長春畫伯が代つて執筆することになりましたから惡からず御諒承下さい

キネマと演藝

大連劇場 新春興行 明石潮が出演

元旦から大連劇場の初春興行に出演する明石潮一座は北村黒男、岬重郎、吉本多歡彌、服部與志雄、松島隆司、松本德三郎、村越喜三郎、三田村雄介、石川笑太郎に衣川阿佐路、石川小浪、林夏目、加茂京子らの女優一行三十餘名で、大連興行は十日間に五の替り上演の豫定で御目見得狂言は明石潮劇化「寒濱人の辰」二幕三場、栗島狹衣作「鷄鳴出世駕」五幕八場、二の替りは大明一陽作「平手造酒」三幕六場、門脇陽一郎作「江藤新平」三幕六場である

東活撮影隊 あす來連 香港丸にて

在滿將士慰問と「北滿の落花」改題「大和櫻」ロケーションのため來滿する東活撮影實演隊一行三十名は若木總務に引率され明廿九日入港の香港丸で來連、年内濟連打合せ休養をなし元旦から大日活にて「出征夜話」を實演する

凍原に咲く戀 東活滿洲ロケ

東活ではカチユーシヤで有名なトルストイの「復活」を支那劇に脚案して「凍原に咲く戀」の題名で映畫化することに決定、岡田靜江のカチユーシヤ、藤間林太郎のドミトリのベストスタッフにて「大和櫻」の撮影と同時に滿洲にてロケーションすることになつた主なるキヤストは左の如し

花沖沙(岡田靜江)洞美梨(藤間林太郎)漢智金(南光明)派里阿(川島奈美子)譚明浩(大井正夫)

東活實演「出征夜話」

明日來連する東活慰問撮影隊は元旦から大日活で吉岡貞明原作「出征夜話」を實演するが、配役は南光明の主人、武林新の失業者、石川秀道の社長、東和久義の壯士、大井正夫のコック、龍門正二郎、小笠原隆の客岡田靜江、安城直枝、大内純子、若松愛子、森喜久枝の女給、川島奈美子の失業者の妻で東活現代劇部オールスターキヤストで期待されてゐる。

大江美智子 沿線へ 傷病兵慰問

(蘇李伯(本田純子)周中尉(石川秀道)李蓮紅(大内純子)洪少尉(龍門正二郎)裁判長(中野信近)看守(小笠原隆)楽間蘇(豐岡金太郎)

大江美智子一行は二十七日自動車三臺に分乘午後二時十分旅順衛戍病院を訪ひ慰問の言葉を述べ各病室を廻り自分と勝井淺枝冬木麗子三名のブロマイドと中央映畫館からの菓子折を贈つた、それより戰跡を見學し四時半歸連したが、今朝大連驛發急行で奥地の衛戍病院見舞ひに出發した

噂話

正月興行を控へて最も氣の毒なのは常盤館になつてゴテツイた映樂館がまだ蓋のあかぬ事と▲常盤座が途中でプロを變更したので宣傳材料その他に手違ひを生じ宣傳不足の憾みがあるのは惜い▲大日活が第二週にやる「アフリカを語る」がけふ檢閲されたが▲動物映畫のトーキーとして最初の大連上映で物珍しいだけに興行成績が期待されてゐる▲明日の香港丸で東活の連中が大擧來連するが、常盤座の小泉友男氏も同船で歸連する▲大江美智子と大連會館はタイアップで愈々宣傳戰に乘出し卅一日の夜、大連會館で一行が挨拶するとのこと

本社特選 新棋戰 (其四)

平香交香落番　四段△建部和歌夫　三段▲加藤富久

▲加藤氏「持駒」桂歩

【圖は八九成香迄の局面】

△建部氏「持駒」步步步

△二二角　▲同銀
△六三角　▲同銀
△同步成　▲四二金寄
△九三步　▲八二飛
△五三銀　▲三一銀

【土居八段講評】△建部君の六三角は餘りに重い攻めである五四銀と進み形の悪い銀を利用する方が良い。斯の如き急激な手段で仲々成功するものでない▲加藤君は同銀以下輕く四二金と體を躱じ敵の鉾鋒を避けたのは良策である。次に三一銀と姿を整へ敵を指切り模樣にしようとの意味で防戰に努めたのは好い。

【萩原六段解説】上手の六三角は強い攻めであるが五四銀と出るのも一策である。下手同銀は已むを得ない處であつて次に四二金と寄つたのも敵は銀一枚で攻められる樣な順もない故に至當な手である上手九三步は敵飛車の横利きを消す意味で此處五四銀と出ても五二步と受けられると攻め難いのである下手の八二飛は九三同飛と指しては飛車の橫利きがなくなるので、八二飛と指したのは一旦飛車を防禦に用ひ、その間持角の利用を窺つてゐるのである。續いて三一銀は玉を廣くしてこの場合至當な受け手である。

女心は斯くも變るか 貞女も姦婦となる 男子の性的缺陷

圖は飛行士の愛人か、深夜に水垢離をして晴れの無事航空をいのつて居るところである。女性はかく献身的に男を思ふ一念もあるが、他の一面には、連添ふ夫でも見限つたり、夫に反逆を企て、三角關係に脈線することも世間に多いが、其の本は多くの場合男の性的缺陥にあるのが、悲し世の中の眞相である、性的缺陥の男子は夫たるべき第一の資格を缺いで居るから妻の心の離れるのは已むを得ないことである、此の悲しむべき男子生殖器發育不完全機能障害は從來內服藥や其他に數百圓の治療費を使つても失望する人が多かつたが、最新醫學の尖端たる物理療法の代表的發明品と云はれて海外にまで有名なる **專賣特許眞空水治療法器**を、自分で祕密に直接局部へ使用して簡便安全に治療を施こすと、最初の第一回月より日前直ちに、巧妙なる理學的裝置の吸引力によりグングン發育する寸法が一回毎に本器のメートルへ數字的に現はれ、同時に神秘極まりなきエンツンデユング作用により、手淫、過房の害、肺病神經衰弱、遺精、夢精、早漏、陰萎等起勃力減退を回復し、機能ますます健全となり、金と時を省き超スピード的に矮小が強大發育し男性の資格を完成すること、誰云ふとなく實驗界の好評湧くが如し。

醫學博士十二大家實驗證明推奬 專賣特許眞空水治療法器 一具金四圓五十錢(送料內地二十錢植民地五十錢)

又**包莖**が切らずに自分で容易く立派に成形する 專賣特許包莖安全自療器は一具金三圓八十錢(送料內地十五錢)です、御注文次第匿名郵送します(代金引替御注文は送料十五錢增)です、

⦿非賣品 圖入說明書(多數實驗者告白實例付)は全部無料で匿名送呈しますから直ぐおハガキを御出し下さい、御申込は東京芝區神谷町十八東京新療法研究所(振替東京七七三九番)又は大阪堂島中二丁目三十二新療法研究所大阪支部宛に御出し下さい。

淋病、消渴は世評の如く不治なるや？

妙藥「ナイセル」新發見 急性三日、慢性一週間で全快

今まで淋病は絶對根治できないものと世人は勿論專門家も往々信じてゐたものです、處が決して全治せないと言ふ事はありません。只この病は他病に比して特に攝生如何に依り治療上非常に關係があります、依つて一意專心根絶に向つて攝生宜しきを得、且つ信頼すべき妙藥を信念のもとに服用すれば治癒する事は顯微鏡檢査に依つて證明が出來ます。

然るに此の病氣は他の病氣の樣なりがちで治癒せない內に服藥を止めて終ふので中々根絶が困難であります、然らば淋病妙藥を服用し攝生宜しきを得ば百パーセントの全治をするかと申しますと此れは淋病に限らず他病の妙藥でも決して百パーセントの全治をさせる妙藥はないのであります。然して理想的妙藥とは如何なるものであるかと言へば其全治率の最も多きものを以て妙藥とせねばなりません然かも巷間販賣せらるゝ此種藥劑は數百種を以て數ふるも一つとして如上の目的に適ふ淋病消渴藥は絶無と言つてよいのであります

そこに至ると「ナイセル」の如きは服藥者の總てが其効果の的確なるに激賞をおしまざる妙藥で目下專門家の間に問題となつて居る色素療法などは疾く以前より配劑し該療法の元祖とも言ふべく、其他南洋植物性靈藥を數種配合せるもので本藥服用者のひとしく賞讃を博せる所以であります。

この藥が何故一般から其名を知られてゐないかと申しますと誇大廣告で一時的の暴利を貪る樣な主義でなく奉仕的家傳藥として効力本意を標語に全快者の宣傳により分譲してゐたからで服用者以外には知られない譯であります。

尚服藥全快の方々から斯樣な國宝病とも言ふべき性病妙藥を世人に知らせないのは國家的損失であるから人助けに全國的に公開せよとの多大の勸めにより如何にも最もな事と感じ此の度奉仕的に一般へ頒藥する事にした次第であります。營利主義でなく價格も頗る低廉他の淋病藥の追隨を許さないものであります。

奉仕主義の家傳妙藥と言ふ事を信用して各種の誇大廣告に迷はず本病になやむ方々には一時も早く御試藥お勧め申上ます。

高價藥必ずしも良藥にあらず廉價藥必ずしも不良藥にあらざる事を併て申添ます。

定價 三日分一圓、八日分二圓、十三日分三圓、廿五日分五圓

淋病妙藥ナイセル本舗 松井濟民堂製藥所 福岡縣直方市殿町(振替福岡六三五九番)

(全國有名藥店にあり)

大連港を中心とする昭和六年の海運界 (上)

わが政變と金輸出再禁止により俄然活況の近海市況

大連港を中心とする昭和六年の海運界を概觀するに先づ近海市況は客臘來引續き社外臨時船の割込と内地不冴のため極端なる不況裡に推移し一般定期船腹でさへ前年末の阪神豆粕五六錢京濱六錢五厘見當を唱へ尚且つ集荷に困難を告ぐる悲況にあつたが、此の間濠洲小麥歐洲向輸出の商談漸く活況を呈し自然社外船は同方面に配船増加の傾向を辿つたのと内地硫安問題を移して豆粕の荷動き好轉で一月下旬漸次好調を入れ阪神九錢京濱十錢處に昂騰した、かくて二月になつても引續き大型船の遠洋進出のため近海船腹減退の傾向は逐日濃厚となり加ふるに折柄の市價低落による特産物の内地輸送比較的に活況を呈したるため運賃市場も漸次硬化したが下旬に入り舊正明後の特産相場の見直りで荷動きも稍減少して賃率も幾分反落氣配をみせた

……◇……

三月の近海就航船腹は約百二十萬噸内外に増加したが北洋材の成約期に入つたのと特産物の出廻り期に當面し居りたるため若濱石炭運賃の昂騰を始め市況は全般的に順調で社外船の割込みも何等賃率に影響なく堅かり商狀を呈したが只下旬に入りて滿鹽の割安に押され稍軟弱氣配を見せた、四月になつても濠洲小麥の輸出活況を傳へ他方アメリカ小麥三千五百萬ブッセル積取豫想や近來の入渠船增加の傾向に加へ西貢米、臺灣砂糖、北洋材積取並に北海漁業出動見越等強材揃ひのため市況は俄然好調に轉向した、然るに月半以後先行好轉を豫想された財界が案外おもはしくないために一服商狀を辿り特産運賃もまた軟弱氣配を免れなかつた、越えて五月ロシア側の傭船契約の好調や北洋沿海州方面の出動增加等相當の強材をみたが時恰も夏枯期を控へて一般荷動きも減退の折柄北米小麥、印度棉花、蘭貢への折柄近海就航船腹は遂に百五十五萬噸に達したので市況は愈々鈍狀化し大連特産運賃も折柄の季節的荷動きの減退と相俟つて約二錢方の軟化をみた

……◇……

六月に這入ると北洋材に活氣なく北洋漁業もまた目覺ましき進展をみず擔て加へて濠洲小麥積取船の歸航をみたので中旬末の就航船腹は更に二十萬噸を増加し折柄の近海一般の荷動き不振と相俟つて市況は必然的に軟化した、一方大連特産物も愈々夏枯期に入り銀相場の昂騰による取引見送り等で市場は常に閑寂となり運賃率は更に二錢方低落し月末には阪神豆粕五錢京濱六錢となつた、七月になつても夏枯氣分は愈々濃厚であつたが長江一帶水害のためはやくも濠洲小麥の對支商談擡頭しこれが引當船腹準備で大型船腹の需要が復活すると共に一方北洋材積取りの最盛期に當面し居る關係上臨時大型船の廻航殆どなきため閑散期にも拘らず運賃率は却て好調を辿つた八月は例年の夏枯期であるが内地の米價昂騰を移して特産物の需要も案外好調を續け一方過剩船腹の消化もまた比較的良好なりしと且は營口輸出旺盛を傳へて社外臨時船の大部分が同港に集中する傾向濃厚となつた結果大連出入船腹は著るしく調節せられて市況は何等の變化をみなかつた

……◇……

九月に入れば端境商狀は益々濃厚となり惡材料續出のため氣配愈々軟弱の折柄下旬に至り滿洲事變突發後の銀價の猛騰及内地株式暴落による財界不振のため滿洲特産物の需要は一段と減少し内地向輸出市況を逆に不利ならしめた、越えて十月時局發生以來支那各地排日の影響は益々甚だしく就中南支方面の貿易は殆ど停止の狀態に陷り北洋方面また船腹需要一段落を告げ加ふるに社外大型船の遠洋配船は外國船に壓倒される等惡材料續出し、近海一般は極度の不振を示し大連内地間は愈々惡化するに至つた、十一月に這入ると時局影響も特産物の出廻りには殆ど關係なく新穀到着數量も例年と變りはないが内地筋の買見送りと時局發生以來近海の浮動船腹が新穀積取りを目的として續々來航したため運賃市況は前月に比して更に軟化し阪神豆粕四錢五厘、京濱五錢五厘に低落した

……◇……

十二月になつても打續く不振材料のため内地、濠洲九州方面は何れも極端に軟化ししかもポンド相場の惡化による大型船の配船不採算は愈々近海方面の前途を暗黑ならしめたが突如捲き起つた政變と金輸出再禁止に意外の好轉をみせ活況裡に越年せんとしてゐる、今豆粕阪神運賃を各月別に前年と比較せば左の如くである(單位錢)

月	本年	昨年
一月	七、〇	五、五
二月	九、〇	五、五
三月	一一、〇	六、〇
四月	九、〇	七、〇
五月	七、〇	六、五
六月	六、〇	六、五
七月	六、〇	六、五
八月	六、〇	六、〇
九月	五、〇	六、五
十月	五、〇	六、五
十一月	四、〇	七、〇
十二月	五、〇	六、五

消費組合問題は爲政者に期待

中村輸組聯合會常務理事談

輸入組合理事を中心とする關係方面の消費組合問題協議に參加するため赴寮中の中村輸組聯合會常務理事は二十七日歸任したが、該問題に關し左の如く語る

解決具體案だつて?そんなに早急に出來るものではない、自分は折柄、開催中の地方組合理事有志の

懇談會 に同席し、消費組合問題の協議にも加はつた、ところで消費組合は各方面から非常に關心をもたれてゐるが、たゞ一二紙上の報道、例へば輸入組合が率先して運動を開始したとか、輸入組合が消費組合を買收することに決定してゐるといふやうなことは全然ない、無論在滿小賣邦商が存續上、消費組合問題を種々考慮し、その多數が輸入組合員である事實に基いて、組合理事並に私共がその職分に顧みて善處せんとしつゝあるのは當然なことゝ思ふが、率先して

烽火を あげたといふやうなことは輸入組合なる機關の性質上當らないことである、輸入組合が消費組合を買收出來れば甚だ結構だが、販賣年額一千萬圓に上る組合は買收するやうなことは一寸考へられぬことである、また單に買收することで解決がつくと考へるものがあるならばそれは認識不足の誹を免れぬものであると思ふ、現に消費組合撤廢を叫んでゐる人達の聲は極めて單一で太くして短く、そして力強く國家爲政者の

裁斷を 待つ底のものであり、その裁斷如何はまた國家が今日以後の滿蒙新經營方策の根幹を植民主義に置くか經濟主義に置くかの指針を爲すものと見るべきであつて輸入組合そのものゝ業務方針の上にも重大な係はりを有するものとして緊張した氣持を持つてゐるわけである從つて私共の立場に於ては彼等の眞實に對して十二分に之を支持し後詰の役として問題落着後の用意に專念しつゝあり理事今回の會合もその一つの現れである、その用意のために如何なる案を持つてゐるかの質問は吾々の組合員からしても之有るべきを豫期し得るが、未だ熟しても居らず熟し居るにしても此の

機會に 發表することは却つて第二義に位すべき案の檢討に禍ひされて彼等の至純にして正調された第一義的な運動を阻害し印象を不鮮明ならしむる恐れがあるので差控へたい、本問題は植民地に於ける商民の生存權に關するものなりや否や或はそれが滿蒙國策の根底に觸るゝや否やの國家爲政者の判斷に期待さるべき絶對のもので解決點は自然そこに繋つて居り、今回の運動の方向も亦自ら其處に對照が求められて居るのであつて決して從來の如き消費組合の經營方針そのものに容喙せんとするが如き形は現はれても居らず旁々所謂案の良否が解決の鍵とはならない、寧ろそれは滿蒙植民政策の大局的見解として消費組合存在の是非や撤廢の

可否の 決定に從つて必要を生ずべき性質のものである、こゝが從來の運動と意識的にも判然と區別さるべき緊點である故にその必要の時に當つて原案となるべき具體案が商民の支持者たる私共輸入組合當事者に依つても今より用意さるべきなりとするならばそれは前にも述べた通り當然の事と考へてゐる

七十三圓臺に鈔票爆發す

當市鈔票は時局懸念が日々に擴大されてゆき銀春高見越も有力に行はれるので最近一途に騰勢を辿つてゐたところ、今朝遂に高値は七十三圓四十五錢まで爆發するに至つた、卽ち材料として右の人氣が主因であるが今朝日米爲替三十九弗丁度と一弗安、米日四十弗一厘と五十仙安を入れたのも與つて力があつた、その他の海外材料は紐育銀塊同事、倫敦、孟買とも休會にて米英クロスは二分の一安を入れ、上海標金も亦却て強かりであつた、而して場況は高値は利喰急ぎ現れて下押し七十二圓六十錢まで崩れ七十二圓九十錢に引け出來高も一千八十一萬圓に上つた、なほ明日前場を以て大納會するので一般に手仕舞氣分濃厚であるが當市マバラ筋は最近大體において當り續けてゐる

特產各品とも一氣に奔騰

二十八日前場の特産市場では時局による一般出廻り懸念で先高氣構への折柄、年末年始を控へて大豆は現物の買氣あり豆油もまた南支筋の買氣等で銀價は七十三圓臺乘せと一段高を示したに拘らず全然無關心に各品とも一氣に奔騰した卽ち大豆は八錢乃至十錢方の暴騰を辿り、豆粕は一錢乃至三錢五厘高、豆油は三十錢乃至四十錢高の昂騰を示し、高粱はまた七錢乃至十二錢方の暴騰を演じた、かくて相場の波瀾重疊と共に出合も多く大豆は四百十八車、豆粕は十九萬四千枚、豆油二萬二千箱、高粱七十八車の出來高で事變發生以來出廻り期に向ひながらもポンド相場の惡化や銀價の猛騰による買氣手控へで沈滯しつゝあつた市場は近來になき活況を呈した

1931年の大連經濟界を顧る……(8)

多事多端だつた今年の株式市場 悲觀から一陽來復へ (中)

フーヴァー大統領のモラ案提議を動機として俄然樂觀氣分に轉換した株式市場は騰勢を續け七月六日には新東株は百五十圓擶み、當所株十四圓擶みに一齊高を示し大盛況を呈した。翌八日新東株の反動安を入れながら市場は延取引制度改正に人氣を繋ぎ地場株は案外堅かり商狀を辿り、十三日に延取引の開始を見るや内地株の暴落を入れたるも地場株は氣丈を示した。その後絲安の影響をうけて再度の新東株低落となり、そこへ英蘭銀行利上げの報を入れ新東株を筆頭に諸株一齊崩落し市況混沌として氣迷ひ商狀を辿り月末綿糸の續落に半恐慌氣分を呈するに至つた八月に入つても相變らず不味閑散の場面を續け、八月十日米棉大豐作の入電に綿糸の大暴落を見たが新東株は案外堅り商狀を呈し三品市場の反騰につれて益々昂騰したその後再度の綿糸安により反落商狀に轉じ、當地定期市場は地場材料乏しきためヂリ安を續け商内寥々として振はず氣業薄閑散裡に推移し爾來九、十、十一月にかけて定期市場の閑散不振は革まるに由なく僅かに延取引の手合により定期取引の不振を補つて來た、斯うした現實悲觀の人氣により當所株は落調漸々遂に十圓臺を割つて七圓臺にまで崩落した、内地株も九十月の交にかけて落調を辿り殊に九月下旬日支衝突事件の勃發、英國の金本位制停止等の弱材料續出に氣配頓に惡化したので市場の混亂を恐れて增證を徵收し、東西株式市場に倣つて九月二十一、二兩日間休會し、翌二十三日に蓋明けしたるに新東株百七圓、當所株七圓七十錢の安値をつけ内地市場の惡化に氣配益々不穩となつた爲め二十五、六の兩日も内地市場と同樣休市し、二十八日より立會を再開した、處が撈物續出して新東株九十八圓擶みに慘落し翌二十九日に至つて漸く落付模樣となつた爾來十月初旬にかけて不安人氣去らず十月三日には鐘紡新株五十三圓五十錢と云ふ記錄的新安値をつけ、日銀利上げ發表を見るや新東株も九十三圓擶みまで叩き込まれた、その後惡材料殆ど出盡せると金輸出禁止及び平價切下げは早晩免れ難しとの見方よりして買方堅持となり綿糸の急反騰も手傳つて相場は稍灰汁拔けの觀を呈し十月七八日頃より市況は常態に復歸し百圓を中心に上下往來の保合狀態を續けつゝあつたが十二月に入り安達前内相の投じた一石によつて突如政變を招來し、若槻内閣瓦解、犬養内閣の成立となり引續いて金輸出禁止の斷行を見たので市場は俄然沸騰し東西兩市場を首め内地株式市場は再度の立會停止を行ふに至つたゝめ當市も内地株を除いて地場株のみにて取引を續けたがその後内地株式市場における解合成立せるを以て當市も新東株の解け合を行つて内地株の立會を再開した、この突發材料により當市の商内は俄に旺盛となり毎日出來高六千枚を下らず一萬株に垂んとする出來高を見た日もあるなど一陽來復の兆顯著なるに至つた、今本年一月以降十二月下旬に至る當所株及新東株の高低相場表を示すと左表の如くである(單位圓)

月別		五品株	新東株
一月	高	一七・九〇	一一四・三〇
	低	一六・九〇	一〇四・二〇
二月	高	一七・五〇	一一七・三〇
	低	一五・六〇	一一一・九〇
三月	高	一七・九〇	一二九・八〇
	低	一六・六〇	一一三・八〇
四月	高	一六・八〇	一二五・九〇
	低	一三・六〇	一一四・四〇
五月	高	一四・八〇	一二五・〇〇
	低	一二・八〇	一一五・三〇
六月	高	一三・三〇	一四〇・七〇
	低	一一・〇〇	一二〇・〇〇
七月	高	一三・九〇	一四九・二〇
	低	一一・〇〇	一二八・二〇
八月	高	一一・三〇	一三四・九〇
	低	一〇・四〇	一二八・九〇
九月	高	一〇・四〇	一三六・〇〇
	低	七・八〇	九七・八〇
十月	高	九・一〇	一〇六・八〇
	低	七・九〇	九二・六〇
十一月	高	八・六〇	一二二・〇〇
	低	八・二〇	一〇二・七〇
十二月	高	一五・四〇	一六八・五〇
	低	八・三〇	一一六・三〇

舊奉天政權に對する邦商の債權問題

漸く解決の段取り

舊奉天政權の失脚に伴ひ舊遼寧省政府に對する邦商の三百四十萬圓債權問題は事件以來數次に亘り此が解決方に奔走中であつた奉天商議に於ては去る廿六日野添書記長が關東軍統治部を訪ひ右問題につき協議を重ねる處あつたが之れに就し野添氏は語る

債權者になつて見ると實に

氣の毒 である殊に年關を控へての今日何れも四苦八苦の狀態で何んとか解決を告げたいと思ひ軍部と協議をしたが、軍部としては其の當時本問題につき責任者の出來る迄待つて呉れ責任者が出來れば何とかするからとの事で今日迄殆んど放置されてゐたが、最早遼寧省主席臧氏の就任も見又同省内に債權、債務に關する整理委員會も出來たので近く軍統治部と整理委員會と折衝し協議される筈で、これにより年内には債務の

履行は 出來ずともある一定の支拂期間を附し正式の回答さへ得さへすれば卸商として其れを確證に金融方法を講じ歳末決濟をつける事が出來るので或は斯うした條件付きの下に二三日の中には解決が出來るかも知れない【奉天電話】

塵

◇…昭和六年の歳正に暮れんとす顧みれば波瀾重疊變化に富んだ年であつたが悲觀から樂觀に轉換して行つた歳晩の情勢は我財界の前途に對する暗示として慶すべきことである。

◇…昨年金解禁斷行以來引續くデフレーション政策と内外情勢の惡化に財界は底なしの沼に陷落し人氣は極度に萎縮して仕舞つた。

◇…加之資金の偏在は經濟界の情勢を益々窮地に陷らしめてこの儘行つたら不測の禍を醸さないとは云へない憂慮すべき有樣になつた。

◇…殊に滔々たる正貨流出の勢ひは人爲策を以ては防ぎ止められさうもない狀態に立至つた。

◇…無理に無理押しを重ねた前内閣の矛盾した政策が愈々清算される時が來た。

◇…政變と金輸出再禁止によつて斯うした不自然と無理が矯正されて財界は往くべきところに落着かんとするに至り財界の前途に一脈の光明が認められるやうになつた。

◇…來るべき新年の株式界には相當大きな波瀾が期待されるが情勢さへ副ふて來れば漸次に上り行く相場の前途を豫想することはまんざら無稽の觀測ではないであらう。

市場電報

銀塊及爲替

倫敦銀塊 —
同 先物 —
紐育銀塊 —
孟買銀塊 —
スチール —
アナコンダ —
英米爲替 三弗三十三仙四分三
米日爲替 四十弗〇〇仙
米支爲替 二十四弗二分一

棉花

●米棉 現物 — 十二月 — 一月 — 三月 — 五月 — 七月 — 十月 —
●印棉 ベンゴール — ブローチ —

大阪期米 (前場寄 前場引)
當限 — 中限 — 先限 —

東京期米 (前場寄 前場引)
當限 — 中限 — 先限 —

神戸期米 (前場寄 前場引)
當限 — 中限 — 先限 —

大阪株式 (前場寄 前場引)

銘柄	前場寄	前場引
大株	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日糖	—	[illegible]

東京株式 (前場寄 前場引)

郵船 [illegible]　東株 [illegible]　東新 [illegible]
(短期) 大新 東新
寄値 [illegible]　引値 [illegible]　高値 [illegible]　安値 [illegible]

銘柄	前場寄	前場引
東株	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
五品 當	[illegible]	[illegible]
中	—	—
先	[illegible]	[illegible]
豆新 當	[illegible]	[illegible]
中	—	—
先	[illegible]	[illegible]

(短期) 東新 滿鐵新
寄値 [illegible]　引値 [illegible]　高値 [illegible]　安値 [illegible]

大阪綿糸 (前場寄 前場引)
限月 [illegible]

大阪棉花 (寄付 大引)

限月	寄付	大引
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]
四月	[illegible]	[illegible]
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

橫濱生糸 (前一節 前二節)

限月	前一節	前二節
十二月	[illegible]	—
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]
四月	[illegible]	[illegible]
五月	[illegible]	[illegible]

印度麻袋
鐵筋直積 —　背筋直積 —　爲替相場 —

市況 (廿八日)

特產

先高を氣構へ大豆暴騰

今朝の定期は出廻懸念に先高を見込み銀高も無關心に大豆は暴騰を廻り豆粕豆油は昂騰高粱も暴騰を演じ活況を呈した

◇定期前場(乗直)

▲大豆(暴騰)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 四百十八車

▲三等大豆出來不申

▲豆粕(強調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 十九萬四千枚

▲豆油(昂騰)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 二萬二千箱

▲高粱(暴騰)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 九十八車

▲包米 出來不申

◇現物前場(銀建)

	寄付	大引
混保大豆(袋物/裸物)	四六八〇	四七六〇
出來高	二百車	
普通大豆(袋込/裸物)	四七〇〇	四六八〇
出來高	五車	
豆粕	一六四五	一六七〇
出來高	七萬一千枚	
豆油	一二八〇	一三〇〇
出來高	一萬二千箱	
高粱	二八〇〇	二八三〇
出來高	十車	
包米	二九五〇	三〇〇〇
出來高	七車	

定期喫合高 (廿六日帳入)

品目	喫合高	前日對比
大豆	五四三六車	△印減 八七車
高粱	一〇七六車	△一一車
豆粕	四一四三千枚	八二千枚
豆油	四五三〇百箱	九〇百箱

豆

年末休日を控へて大豆は現物買物あり豆油は南方筋の買進みがあり▲加ふるに一般出廻懸念に先高見越しで銀價の一般高なも無關心に各品共に上伸し▲殊に大豆高粱は暴騰を演ず豆粕、豆油は昂騰を辿り出來高もそれぐに彈み近來にない活況を呈した▲現物は大豆油房九十車邦華商百十車で二百車の手合、永行が依然六十車の賣物▲普通大豆は五車で成發東の賣りに三井の買物、こゝ許普通品はさして振はない

銀

一般に銀高見越しが濃厚に行はれてゐるところに▲滿洲各地でいろいろのざわめきが榊の商をひくやうに傳はるのだからたまらない▲彈が上にも人氣硬化して今朝七十二圓八十錢と二圓八十錢一氣に離れて寄付き▲高値は七十三圓四十五錢まで吹上げる有樣であつた▲あさ利喰急ぎ現はれたゝめ一圓臺に押し二圓九十錢に引けた▲そして今朝は爲替安も材料となつたが矢張り主因は時局懸念による人氣と見るべきであらう

錢鈔

時局懸念で七十三圓臺

今朝日米爲替は第一回第二回とも三十九弗丁度にて一弗安、米日五十仙安の四十弗を入れ、時局懸念益々擴大し人氣にて七十三圓臺まで爆發した、紐育銀塊同事、倫敦孟買休會、上海標金小硬り、米英クロス四十三仙二分の一(二分の一安)滬申七十四兩二七五、滬烟七十兩四〇、大洋百圓九十錢

◇定期前場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	七二八〇	七三四五	七二六五	七二九〇

出來高 期近一千八十一萬圓

◇現物前場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	七三〇〇	一二三九〇	一六九〇

株式

春高見越 當市强調

今朝北濱定期の前場寄は大株三十錢高、大新一圓高、鐘紡一圓六十錢高、鐘新二圓三十錢、短期も大新一圓七十錢高、鐘新一圓九十錢東新二圓十錢高を入れ、一方東京短期も東新一圓二十錢高、鐘新一圓六十錢高と一齊に硬りを入れたので當市は春高見越旺盛にて内地より一段と上廻り定期において五品三十錢乃至六十錢高、新豆五十錢乃至八十錢高、東新三十錢高を呈し、延も五品十錢乃至五十錢高新豆三十錢乃至五十錢高、錢鈔二十錢高、東新一圓五十錢乃至二圓七十錢高、滿鐵新十錢高に大盛況裡に大納會した

	時	銀對金	銀對洋
十時		七三一〇	一二三八五
十一時		七三三〇	一二三九五
十二時		七三〇〇	一二三六〇

出來高 (銀對金 百十一萬七千圓 / 銀對洋 三萬一千圓)

◇延取引(單位十錢)

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
氷新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	—	—	—	—
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

○爲替及受渡日步

銘柄	爲替	受渡	代引 代渡	日步
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	八
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	六
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	六
氷新	[illegible]	[illegible]	—	—

鐘新 寄 引 九六〇
大新 寄 引 七五一
東新 寄 引 一六〇〇
五品 寄 引 步 四五四・九〇七

滿鐵株(强調)

▲東短前場 滿鐵新株 三十二圓丁度
▲大阪現物 滿鐵舊株 六十二圓五十錢

前場

◇定期●當期●

銘柄		當限	先限
新豆	寄 引	—	一八一 一八四
錢鈔	寄 引	—	二〇三 二〇五
氷舊		—	六一〇
氷新	寄 引	—	二〇四
豆信	寄 引	—	五〇〇
滿鐵	寄 引	—	六三〇
新滿鐵	寄 引	—	三一九

株

今朝内地主力株は東京、大阪とも一齊に强調を入れた▲それに當市は内地より一層、春高見越しが旺盛なるため買進み盛んに行はれ東新の如き大阪短期前場引は百五十八圓五十錢であつたが當市は二圓内外上廻つた▲その他の株も一齊に買はれて硬りを呈し商内彈んだ▲そして今年の大納會は單なる御祝儀商内とは少し趣を異にし▲人氣を反映した商内にて新春を迎ふに適はしい大納會振りであつた

商品

綿糸布强調 麻袋强保合

●綿糸布● 休日前紐育は銀塊同事ながら米日五十仙安、本朝神戸日米は三十弗と軟調なりしため三品は小一圓高に寄付きたるも利喰にあさ反落、當市は綿糸布とも鈔票高に刺戟されて買氣旺盛、場面活況を呈した

●麻袋● 產地休會ながら當市は鈔票高に好感し春高見越人氣に買氣旺盛、活況裡に大納會した、氣配現物二十五錢五厘、一月、二月、三月とも二十五錢、四月二十四錢七厘、五月二十四錢五厘

▲麻袋定期

銘柄	約定期	値段	數量
鐵筋	一月限	二五、〇	二
同	二月限	二五、〇	七〇
同	三月限	二四、九	二
同	同	二五、〇	三〇
同	四月限	二四、七	二
同	五月限	二四、五	二

出來高 十萬八千枚

▲綿糸定期

銘柄	約定期	値段	數量
福助	三月限	一三五、四	一〇
同	四月限	一三八、〇	一〇
同	五月限	一三九、七	五〇

出來高 七十梱

▲綿布延取引

銘柄	約定期	値段	數量
三輪A	二月限	一、五二	二〇
同	同	一、六〇	一〇
同	三月限	一、五三	二〇
同	同	一、五六	二五
軍人	二月限	五、二五	一五
同	三月限	五、二五	二〇

出來高 百十俵

▲銀建絹糸定期

銘柄	約定期	値段	數量
仙桃源	五月限	一九三、四	五〇

出來高 五十梱

各地特產發送高

地名	大豆	高粱	豆粕	雜穀
▲開原	五三車	一車	—	九車
▲四平街	二〇車	—	—	九車
▲公主嶺	—	—	—	—
▲長春	一二五車	四車	—	一二車

主動的措置にあらず已むを得ぬ匪賊討伐
日支衝突を豫防し隱忍自重
帝國政府聲明要旨

【東京二十七日發】犬養内閣の滿洲事變に對する第一次帝國政府聲明書は本日午後發表された要旨左の如し

一、滿蒙に於ける治安の維持は帝國政府の常に最も重要視するところにして政府に於ては從來各般の機會に同地方の康寧を保持し且つこれが軍閥爭亂の巷と化するを防ぐため百方適法の手段を講じ來れり

二、錦州方面に於ける第三國武官中支那側にて何等攻撃の準備をなし居る證左爲しとの報告をなし居る者あるも錦州軍憲が打虎山以西北寧線上及その附近の奥地に巨大なる兵力を養ひ居るは明かにして我軍の周密なる偵察によればこれ等軍隊が錦州其他に着々兵備を整へ居る證跡顯著なるものあるのみならずその前衛部隊を錦州より遙かに東方に在る田庄臺、泰安、白旗堡等遼河右岸の各地を貫く線に配置し居ること確實なり、而して右事態が滿鐵沿線その他數地に分散駐屯せる我滿洲部隊に對する不斷の脅威たるは何人も首肯し得べく殊に北寧線を利用するにおいては打虎山、奉天間及溝幇子、河北間は近々三、四時間内に到着し得べき近距離に在るの事實は該脅威の甚大なるを示すものなり 一方前記馬賊等は近時錦州軍多數將卒の改編せられたるものを含みその活動の規模急速に増大し居り馬賊等不逞分子の跳梁に對し我軍討伐を行へば馬賊は逸早く遼西に遁入し我軍を奔命に疲らしむるものあり、而して我軍これを追跡せざりしは錦州正規軍との衝突を避けんがためなり

三、然るに偶々十一月二十四日顧維鈞外交部長より在支列國公使に支那側は山海關以西に撤退するの用意ある旨告げたり、よつて帝國政府は主義上賛成すると共に帝國公使及北平の帝國代表者をして顧部長、張學良にその話合を進めんとせるも顧部長は途中より申出を翻へしたり又學良は十二月七日自發的に撤退すべしと聲明したるもこれを實行せず却つて同方面の兵備を嚴にし居る實狀なり

四、錦州地方撤兵問題に關する交渉開始せられて以來既に約一ケ月に及べるも支那の不誠意なる態度により何等效果を擧げ得べき前途の見透さへつかざる間に前記の如く賊團の活躍益々猖獗を極め來り遂には南滿洲に於ける全般的治安の根底的破綻を招來するの惧れある時代を現出せるにより最近我軍は一齊に出動して從來より比較的大規模の賊團討伐に着手するの止むを得ざるに至れる處我軍に於いて賊團討伐の徹底を期せんがためにはその根據たる遼西方面に進出せざるを得ざる事前述の事情に徵し瞭かなり素より我軍は九月三十日及び十二月十日理事會決議の趣旨に反し好んで支那正規兵に對し攻撃を加ふるが如き主動的措置に出て居るものに非ざること勿論なるも他面匪賊等の討伐に至りては滿蒙現下の特殊狀況に鑑み日本軍に於て引續きこれを行はざるを得ざるところにして右は十二月十日理事會決議採擇の際我代表に於て明確に保留せるところなり

五、帝國政府は聯盟規約、不戰條約その他各種條約及び今次事件に關する理事會兩度の決議を忠實に遵守せむことを期するものにして錦州軍憲の組織的治安攪亂に對する本國民の憤激は甚だしきものありたるにかゝはらず一ケ月の永きに亘り帝國軍に於て該方面に對する匪賊討伐の自由を抑制しその間政府に於いてあらゆる手段を盡し右討伐實行の際惹起することあるべき日支兩軍の衝突を豫防するに努めたる精神誠意と隱忍自重とは全く前記諸條約及び決議に基く義務に忠實ならむとする精神に出てたるものなること必ず世界輿論の認識を得べきを信ず

偵察機の掩護の下に我軍は朱家舖に進擊
水筒凍り、路傍の雪を含みつゝ
二十八日正午朱家舖にて鳩便 藤井特派員發

二十八日午前九時田庄臺を發した我第〇師團は騎兵〇個中隊を先頭とし大興、チチハルにおいて一番乘りの殊勳を樹てた第〇〇聯隊を先頭に隊伍堂々兵匪討伐のため北進した、午前十時わが偵察機一臺後方より來り十時半頭行手に北方の南大房身の一部落に於て盛んに砲聲が聞えるので、見ればわが偵察機は部落の低空を旋回して敵に空から應酬しつゝあり、わが先頭騎兵〇隊は直に進擊し約百名の敵を擊退した、わが部隊はなほ偵察機に護られ北進し正午朱家舖に達した、水筒の水は凍つて飲めず、われらは路傍の雪を含みつゝ前進す

活氣づく師團司令部
田庄臺との間はトラックで連絡

多門第〇〇師團司令部が出征前のあわたゞしい營舍を營口の目抜きの通り千代田街においた、二十七日夜は營口全市にくつきりと戰亂を生む街の刻印を押した、司令部に當られた料亭武藏野には夜を籠めてあかくと灯影がゆらぐ門前の衛兵は研ぎすました銃劍の先を寒夜の暗に無氣味にひらめかしながら來往する車馬に鋭い眼射しを送り、煌々たるヘッドライトを連ねてつく街路に投げてトラックがひつきりなしに司令部の前に往來する、田庄臺と往復する唯一の聯絡機關は此トラックだ、六里半二時間の恐怖に包まれた惡道路を疾驅するトラックの上にモーゼル拳銃を構へた決死の聯絡員が肌をつんざく寒氣と烈風に惱まされ乍ら銃把を固く握つて突つ立つて居た、營口驛はやがて來るべき軍用列車のダイヤグラムを作り我輸送に夜を徹して蟻の群の樣に孜々として立働く驛員の姿が暗の中に勇ましい【營口電話】

學生軍二千四百
一部は白旗堡に進出

支那側諸要人の言に依れば目下關内方面より學生隊多數錦州に來りつゝあり、これまで既に錦州に到着せるものは、瀋海義勇軍（代表熊飛）上海青年團（代表何章榮）濟南鐵血團（代表熊仲）等十七個團體にて彼等義勇軍は最も過激なる分子を以て構成しその總數二千四百餘名あり、目下榮臻指揮の下に青年義勇隊を編成中であるが右學生隊の一部は白旗堡附近に進出したと【奉天電話】

百姓に變裝し潜伏
蔡寶山の一隊

わが軍に追はれた田庄臺の馬賊の頭目蔡寶山の一隊は百姓の姿に變裝し新屯及び二道溝附近に潜伏し日本軍が前進して田庄臺を去れば其の機に乘じて再び田庄臺を襲ふ恐れあり【營口電話】

遼河々中の葦を燒拂ふ

田庄臺西北方遼河々中に葦原十町餘ありて葦が一丈以上も密生してをり田庄臺附近を荒す馬賊の隱れ場所となつてゐるのであるが、二十三日も匪賊は葦原から氷凍地のわが部隊に向つて山砲を以て砲擊を加へたもので田庄臺部落の治安維持には大きな障碍となつてゐたが廿六日午前十一時高橋小尉の率ゐる一個小隊の手によつて燒き拂はれた【營口電話】

學良沒落後の對策

劉翼飛および王以哲方面よりの情報に依れば學良は蔣介石の下野直後要人會議を開いたがその際左記三意見が出た、即ち

一、平津地方を棄てざる可らざるに至れば飽くまで山西及び綏遠を攻略し西北に根據を得んとする案

二、湯玉麟を驅逐して熱河に退却せんとする案

三、軍隊を萬福麟に與へて下野せんとする案

にして新人等は飽くまで第一案を固守し居ると【奉天電話】

帝國政府の眞意は平和と秩序の强化
パリ出發に際し 芳澤大使聲明

【パリ二十七日發】芳澤駐佛大使は二十七日午後三時二十五分パリ發シベリア經由歸國の途に就いた、驛頭にはヅーメ大統領代理外交儀禮部長フーキエール氏、駐佛オランダ公使を初め多數官民の盛大な見送りがあつた、出發に際し芳澤大使はフランス政府からレジヨン・ドノール大十字勳章を贈られたことを感謝し、なほ左のステートメントを發表した

日支紛爭の特異性が明かにされ喜ぶべき解決策に到達し得た事は一にブリアン議長の卓越せる腕前と權威との御陰だ、理事會の結果により成立した**調査委員會は凡ゆる情報を完全に利用する事に依つて現在の困難なる狀態を緩和**するに大なる貢獻をなすだらう、余は此等の事情を知悉してゐる積りだから歸國の上本國民にフランス及び聯盟が平和に撓まざる努力を拂つてゐる事を極力說明する積りだ、余は今やフランス及びその他の國が熟知せらるゝ如く**日本の眞意は極東平和と秩序を强化する以外他意なき事を確言し**フランスを去るものだ、經濟的に歐亞關係は緊密を持續し且つ進展して行かねばならぬ、而して日佛關係もこの意味で非常な進展を觀た、余は今後もこの方面に努力する

御裁可を仰いで發令
二宮參謀次長が參內

【東京二十七日發】陸軍では兵匪の暴虐その度を加へ關東軍現在の兵力では軍本來の目的遂行不可能の狀態に陷つたので二十七日午前十時二宮參謀次長は建川作戰部長以下各部長、關係課長等と鳩首熟議の結果增兵に一決取敢ず朝鮮部隊を充當することゝなり荒木陸相は閣議の承認を經たので二宮參謀次長は午後六時參謀總長代理として宮中に參內左の如く御裁可を經て發令された

關東軍兵力增加の件
十二月二十七日陸軍省發表

最近滿洲に於ける支那正規軍及兵匪は錦州政權の統制指導の下に義勇軍及救國軍に改編せられその勢力强大にして戰鬪能力頓に激增し滿鐵本線を脅威し安奉線を襲擊して鐵道橋を破壞し從業員を殺戮するの暴擧を敢てせり、これ等不安の情勢は日を逐ふて熾烈を加ふるに至るべきを以て今に於て鐵道の守備を嚴ならしむると共に他面速かに遼西方面の匪賊掃蕩を敢行するにあらざれば全滿洲の治安は困難を加へるは明かなり、よつてこの際速かに朝鮮軍より師團司令部及混成約一旅團を一時關東軍に增加せしむることゝなり本日午後六時上奏御裁可の上發令せられたり

條約履行を望むのみ
犬養首相の西下車中談

【東京廿七日發】犬養首相は廿七日午後十時十七分東京驛發列車で伊勢神宮に新任奉告のため西下したが途中左の如く語つた

過般駐日米大使が自分と會見して錦州攻擊について懇談したがこれは三國干涉などと言ふが如きものでない、勿論米大使は我軍の錦州の正規兵を攻擊する事は人心を刺戟すると思ふ旨の事であつたので自分は正規兵と土賊の說明をした、即ち支那の土匪と正規兵の區別は紙一重の相違で判然しない從つて日本は正規兵攻擊の意思はないが土匪を討伐して行くと正規軍との區別がわからなくなる事を述べた、これは諒解されたと思つて居る更に列國が誤解して居ると思ふ事は日本が滿洲の門戶閉鎖をやりはせぬかと考へて居るらしい又支那人中にも日本が滿洲を占領して第二の朝鮮とする考へではないかとみてゐる誤解も甚だしい日本は決して滿洲に對し領土的野心は毛頭持つて居ない、滿洲の如き曠野の多い處を與へると言つても斷りたい位だ、要は條約の履行を望むだけである政府は政綱政策につき事新しく聲明する必要はない、在野時代から發表した政策を實行するだけである議會を解散する事は誰しも嫌ひである、然しこの議會で反對がぶつかつて來れば仕方ない、なぐられて禮を言ふ馬鹿はあるまいからその時はその時の覺悟である

外交委員會對策協議

【南京二十七日發】二十七日の特別外交委員會は日曜にも係はらず今朝緊急會議を開き錦州問題對策を協議し政府より理事會に對し滿洲における事態を詳報すると共に日本軍の錦州進擊を阻止するに有効なる措置を執ることを要求せしめかつアメリカを動かして不戰條約適用を發動せしめて我軍事行動を阻止さすことを決定した

滿蒙問題の解決は今後の努力に俟つ
第三國の介入は絕對に許さぬ
長春にて 南大將語る

軍事參議官南大將は在長春記者團と二十八日十二時二十分よりヤマトホテルにて會見した、大將は非常な上機嫌で大要次の如く語る

本日は南嶺、寛城子の戰跡、飛行場、衛戍病院、在長軍隊を訪問し、傷病兵には親しく面接して懇問の辭を述べ軍隊には訓辭を與へたが、十二時三十五分發で奉天に歸るから十二分の話しか出來ない、然し僕の話は既に幾度も報ぜられてゐる通りだから話よりも僕は南滿最北端に

不眠不休 報國のため活躍してゐる諸君の健在な顏をみればもう滿足である

と先づ記者團をすつかり感激せしめたのち莊重なる語調で縷々と今回の事件が迅速にその行動が全國に紹介されたとはいへ、その裏面的報道は全國的でなかつた感もある、自分は當時、當局にあつた關係から細心の注意を拂つてゐたが、官民指導のもとに協同一致、突發事件に最善の努力をされたことの如何に大であつたかを今度の視察で適確に認識し得た、最先端にあつて日本の立場を理解してゐる居留民諸君が一身を忘れ、帝國臣民といふ信念に基き最善の活動をなしたことは

全く至誠 のあらはれである 新聞の活躍、滿鐵の活動、特務……の治安維持等、物質的にまた精神的に不斷の援助をなしたことは軍部をして後顧なからしめたことで、この大なる支援が軍の活動を敏速ならしめ且つ好結果を得しめたのである、一面內地の國民に呼びかけた努力は今日を築きあげたことで、現地に來て一層その感を深くした、而も在滿邦人は何處へ行つて誰に聞いても事件に對する自慢らしいことを一度も聞かぬ、これは共同動作が當然だといふ現はれで、その精神は自分が最も嬉しいと思つた一つである、軍事行動も既に終了し、たゞ

錦州に殘 つてゐるやうなものだが、これは吹けば飛ぶやうなもので、いづれは自然消滅するであらう、從つてこれよりも今後の建設が必要であり急務である、滿洲は今日までではなく今後にある、日本人の缺點として建設持久は向かない、然し全面積が日本の十數倍もある國家の建設は大事業である、この大事業に對して援助することに就いては日本は百年の基礎において滿蒙を各國民の安全樂土になすの大理想の下に邁進せなければならぬと思ふ、然し滿蒙事變に對しては絕對に

第三國の 介入を許さず斷乎として既定方針により邁進するが長春は今後益々多忙であり而も南滿最西端といふ大切な地域であるから何卒宜しく、君はその責務の重大を自覺して善處されんことを切に望むものである尚幾度も申すやうに滿蒙問題は國民の協力が今後にあることを忘れず大いに輿論喚起に努めて貰ひたいと切望する

因に南大將は南嶺、寛城子戰跡視察中石黑少佐、芳賀大尉、南嶺の殊勳者大島大佐、武田小尉（寛城子の殊勳者）の說明を熱心に聞き雪に埋まる戰歿者の墓標に一々跪づきその遺靈を慰めたが部下を思ふ大將の心情に感激せぬものはなかつた【長春電話】

正副總裁の恒久性
大隈侯らが首相に進言

【東京二十七日發】貴族院議員大隈信常侯、同坂本俊篤男、陸軍中將筑紫熊七三氏は二十七日午前九時四十分首相官邸に犬養首相を訪問滿洲事件善後處置その他時局問題に就き意見の交換を行つた後滿鐵正副總裁首腦部の更迭問題に關し之までの例に徵するに內閣が更る每に正副總裁も更迭してゐるが滿鐵は政黨政派によつて支配すべき性質のものでない、殊に滿洲事變に關し滿鐵は極めて重要諸問題が控へてゐる際であるから濫りに更迭せず恒久性を有せしめるやう御考慮を煩はしたい旨を進言し十時十五分辭去した

張學良に對し速に撤兵すべしと通電
三千萬民衆代表から

滿蒙三千萬民衆代表の名を以て學良に撤兵を促す左の如き通電を二十八日發した

（前略）日本側は既に決議案を遵守し命令を下して撤兵せしめたり、われ人を侮らずば誰かそれわれを侮らんや、茲にいへるあり、人は必ず自ら侮り而して後人これを侮る、國は必ず自ら膺ち而して後、人これを膺つと、今や公のためにはかるに若し古邦に對する顏向立たずんば宜しく早く自決の計をなすべきなり若し爭鬪果してそれ成算ありとせば、また奚んぞ中立地帶を設くる言を用ゐ、首鼠兩端を持して威を失ひ信を措かんや、若しただ自身のために打算するとせば十萬の强兵を擁しながら馬賊を以て腹臣となすは、その無智を徵するに足り、人民を以て土芥となすは最も不仁とすべし（中略）請ふ速かに關內に撤兵を決行されたし、この上更に馬賊や義勇隊等を放つて虐殺的戰鬪を行ふ勿れ、斯くせば諸公の陰德は必ず天佑を蒙らん、若し然らずんば名は破れ身は割かれ、即ち生命の危ふきに遭はざれば天幸なり【奉天電話】

錦州義勇軍の編成
滿鐵沿線と奉天を狙ふ

最近來奉せる支那側要人の談によれば錦州軍は義勇軍十路の編成終り、遼中、大官附近より以西にある義勇軍は馬賊多く北寧線上の義勇軍は敗殘兵及び講武堂の學生を基幹としこれに約千數の匪賊を收編せるものである、而して北寧沿線を除く義勇軍はわが軍の遼西における匪賊討伐に際してはわが滿鐵沿線及び奉天を衝く方針であると【奉天電話】

遼西一帶の兵匪を

遼西一帶の地區並に新民白旗堡方面遼中、牛莊に跳梁跋扈せる兵匪別働隊、義勇軍等は所在の土民に對して日本軍は無暗矢鱈良民を虐殺し掠奪を恣にしてゐる等あられもない虛僞の宣傳をなしために一般土民は人心著るしく動搖し安全地帶に避難するもの激增して來たこの影響を最も甚だしく受けてゐるのは白旗堡新民等の北寧沿線である、支那側は斯くの如く兵匪の跳梁ばかりでなく一般民衆を動搖せしめその結果南滿一帶の地をあげて逐日不安の狀態に陷れつゝあり地方の治安を紊すこと甚だしきためいよ〳〵これが掃滅をなす筈である【奉天電話】

多量の武器等を錦州に輸送
學良軍各部隊に補給

遼河以北の馬賊團は日本軍の掃蕩と豪匪の壓迫を受け正規軍收編の希望を抱いてゐると、また學良政府官米春延はモーゼル拳銃五千、彈丸九百五十萬發、防寒服、軍資二十萬元を去る二十二日錦州に輸送せしめ收編せる各部隊に補給した【奉天電話】

關東廳昇給發令

關東廳では二十六日附高等官級五十人判任官以下四百餘人計約五百人の定期昇給を發令した

交通事業援助
奉天省當局が

目下特産物の出廻り旺盛期なるに拘らず各地における兵匪、土匪、馬賊の橫行甚だしきに禍ひされ鐵道沿線への出廻り澁滯し金融意の如くならざる爲省民の生計はますます窮乏し各鐵路の收入も減收を免れざる憂慮すべき事態に瀕しつゝある現狀に鑑み奉天省長臧式毅氏は省政府最高顧問金井章次氏、秘書長趙孟興、交通委員會武委事等がこれが救濟策に關し二十六日省政府長官室において極めて重要なる協議を爲し列車の運行並に物資運搬等を援助する爲め有効適切なる方法を講ずる事となつた【奉天電話】

社説

錦州問題と匪賊討伐權
三國の通告と我政府の回答

錦州を焦點として日支兩國間に低迷する暗雲は、最近歐米諸國に於て、日軍の行動に關する疑惑を生ぜしめ、若し之が爲に支那正規軍と衝突した場合、世界の輿論に對して不幸なる影響を與ふるに至るべしとの意味の警告が、三大國から發せられた。この種の疑惑は滿蒙の現狀に無理解の結果であるが故であるは勿論、日本が曩に國際聯盟理事會で宣言した匪賊討伐權を曲解した結果である。表面の理窟からいへば、錦州軍と匪賊とは全然別物である。併し事の起りは錦州軍の指揮者たる張學良氏の失政に崩し、日本をして遂に干……

由來滿蒙の匪賊はこの地特有の存在であつて、事ある毎に蜂起して良民を苦しめる。彼等はこれを一種の職業となし、勢の赴く所に追從して猖獗を逞うする……

……唯私勢力維持の爲めの陰謀あるのみと云ふ實狀だ。この險象に直面して、自衞權を行使する日本軍である。支那の領土權に就いては、既に屢々中外に聲明した通りで、今更渝はる所はない只滿蒙の秩序を一日も速かに回復し、其處に永遠の平和基礎が確立されん爲の討伐權行使に過ぎない。若し之を思はずして依然對抗態度を改めない者があるならば、我軍から見て、匪團と……

正規軍との間に、何等……ない。況んや支那側の……過して、日本の義務の……せんとする第三者の容……は、之れを齒牙に懸くる……ぬ。日本政府は既に二十……三國大使に我回答書を手交し、且つ匪賊討伐の已むを得ざる理由の聲明書を發表した。是れによりて錦州が匪賊の策源地たる事並びに正規軍と匪賊との區別明瞭ならざる事を知らしめて居……擴大した。而して更に擴大せんとする。吾人は切に、我國官民が一致協力して、萬遺算なきを期すべき時機に直面してゐる事を強調して已まない。

七年度歲入出豫算
廿七日の閣議にて承認

【東京二十七日發】昭和七年度歲入歲出豫算は二十七日の閣議で承認された

▲歲　入

經常部	一、二三八、四〇九、七四八
臨時部	一五八、六六五、七五〇
普通歲入	三五、一五五、九三三
公債	一三三、五二九、八一八

▲歲　出

經常部	二四、一三四、四一四
臨時部	二五、七五二、〇八四

各省別(單位千圓)

省別	經常部	臨時部
皇室	四、五〇〇	—
外務	一四、八二七	二、四〇三
內務	四五、八五五	五一、七四二
大藏	二八九、〇八三	一四、四七二
陸軍	一六〇、七三四	三二、九二六
海軍	一四〇、七一四	七〇、九八五
司法	三一、一一四	四一
文部	一三七、三九五	五、九六〇
農林	二七、七七〇	二、八八二
商工	四、四一七	五、四〇〇
遞信	二九一、七九〇	三、四〇五
拓務	二、一三九	二〇、二二四
計	一、一四一、三四四	二五、七五一

各種公債發行高

【東京二十七日發】昭和七年度公債發行額は左の如し(單位千圓)

一般會計

電話事業公債	一七、五一〇
震災善後公債	七、六七〇

特別會計

道路公債	一、〇〇〇
電信事業公債	九、二二五
歲入補塡公債	九六、四二四
計	一二三、五二九
鐵道公債	四九、〇〇〇
朝鮮事業公債	一四、九四〇
臺灣事業公債	三、〇〇〇
關東州事業公債	六〇〇
計	一九一、〇七〇

にして一般會計は全部新規、特別會計で鐵道公債九百萬圓、臺灣事業公債三百萬圓は新規發行のものである

鐵道事業公債
四千九百萬圓

【東京二十八日發】明年度帝國鐵道事業公債は前內閣は四千萬圓と……ゐる

鐵道公債額
八百萬圓減少

【東京二十八日發】遲延……昭和七年度鐵道豫算は二……刻決定した公債發行額は……費を通じ四千九百萬圓と……閣の時より八百萬圓の減……さいふ奇現象を呈してゐ……の減債基金繰入れ停止に……特別會計獨自の立場から……が高い私設鐵道補助費が……例年通り七百五十萬圓の……を見たのも注目されてゐる……改良費は六年度豫算七千……に對し一千二百萬圓の減……

一、建設費公債　四……
一、改良費は
(イ)公債
(ロ)減債基金繰入れ中……
財源
(ハ)その他益金　二……

半歲繼續して開く
一般國際軍縮會議
六十四ケ國參加して

【ジュネーヴ二十七日發】二月二日より當地に開かれる一般國際軍縮會議は八月二日に終るべく滿六ケ月繼續の豫定である、本會議は最初の一週間連續開會され、七月七日から八月二日まで再び開かれる豫定である、初めの本會議では約六十名の代表の演說で大體各國の方針が判る、今回の會議に參加するものは六十四ケ國政府で會議は政治、陸軍、海軍、空軍、豫算の五委員會に別れる、又十五名よりなる幹部會が設けられるがその構成は前記各委員會の議長五名の外に五大國と米、露代表七名及びギリシヤのポリテッシ駐佛公使及びチェッコスロバキアのベネシュ外相の外一名であつて總會議々場は聯盟の總會場で參加國代表部員合計千三百名、新聞記者六百名に達してゐる

佐藤全權
けふ出發

【東京二十八日發】政府は二十七日の臨時閣議で軍縮會議全權に……

閣議決定事項

【東京廿七日發】本年最終の閣議は廿七日午後一時半から永田町の首相官邸に開會犬養首相以下各閣僚出席昭和七年度一般豫算案を決定し次いで滿洲派兵を決定したが植民地長官の異動は來春に讓る事となり午後三時十五分散會した

對米爲替暴落

【東京二十八日發】廿八日午前の東京爲替市場は前日入電のニューヨーク日本向爲替相場が三十セント安の四十ドル丁度に續落したので對米爲替は二十六日に比し一ドル方暴落した

懷德縣城貧民に
麥粉を與へる
森司令官の溫情に神人の仁政と感泣

懷德縣立守備司令官は過般來新政府の縣長に反抗し兵匪を糾合附近の治安を亂し縛つさへわが軍に對抗するのみならず滿鐵線を脅かすの態度に出でしかもその勢ひ侮り難い狀態であつたのでわが軍では附屬地の治安維持上去る十七日驛に懷德に巢喰ふ兵匪を總攻撃しこれを殲滅して十八日入城したが彼等兵匪のため無辜の良民が悉く暴行掠奪されたのでその慘狀を憐れみ廿六日新懷德縣長馬春田氏を通じ麥粉二千五百袋を懷德縣城貧民に惠與するところあり、森司令官のこの擧は懷德縣城居住民に非常な感激を與へ貧窮に次ぐに貧窮の擾亂以外何物も知らぬ支那軍閥の苛斂誅求に苦んだ彼等は日本の軍隊は物品を買つてもその代價を立派に支拂ふのみか二千五百袋の麥粉を民衆のため惠與する等神人のほか敢てせぬ仁政だと今更の如く感泣してゐる【長春電話】

愈よ廿八日から實施
後方連絡の定期飛行

かねて計畫中の軍後方連絡定期航空は諸般の準備漸く整ひいよ〳〵廿八日より實施することゝなつたがその發着時間並に料金は左の如く決定した

一、奉天新義州間(一週火、木、土の三往復)奉天發午前七時十分新義州着午前八時半新義州發午前十一時半奉天着午後零時五十分、但し當分の內は臨時に日曜を除き毎日發着

二、奉天チチハル間(一週三往復)

奉天發(月、水、金)午前八時長春着午前九時四十分長春發九時五十分ハルビン着十一時十七分同發十一時四十分チチハル着(火、木、土)午前十時、ハルビン着十一時一時半、同發十一時十分長春着午後一時同發一時十分奉天着二時四十五分但し當分の內ハルビン、チチハル間は中止し(月、水、金)右時間表通りハルビンより奉天に折り返し飛行

三、奉天大連間(定期毎週木曜日一回)奉天發午前八時半大連着午前十時半大連發午後一時、奉天着午後三時十分(但し當分の間火、木、土一週の往復を飛行す)

なほその料金は奉天新義州間十四圓ハルビン、チチハル間十八圓、長春、ハルビン間二十圓、奉天、長春間十五圓、奉天、大連間二十圓、郵便物搭載及び後日決定し軍において使用せざる座席は求めに應ずる由【奉天電話】

剿匪一段落後に
滿洲新政權確立
滿鐵の社業も愈々多忙
入京せる 內田滿鐵總裁談

【東京特電二十八日發】內田滿鐵總裁はまさ子夫人及び松本秘書帶同二十八日朝八時半東京驛着列車で入京した、驛頭には伊室、十河大森、木村各理事、新版長衞局長水谷中將、大瀧安社長その他多數の出迎へがあり、挨拶の後總裁は直に西大久保の自邸に向つた、これより總裁は語る

今度の上京は豫定の行動で政府があつたから特別に急いで來たのではない、滿鐵沿線を脅してたつた匪賊、馬賊の討伐が一段落つけば愈々滿洲の政治機構が確立し滿鐵としてなすべき多くの問題があるのでそれらの事柄を中央政府に充分報告、打合せをする必要があるので來たわけである、また自分は貴族院議員であるから議會が始まれば出席せねばならぬと思ふ、然し若し議會が早く濟めば成可く早く歸任したいと思ひ……

關東廳特別會計
歲入出豫算決定
一千八百七十九萬圓

【東京二十七日發】二十七日の豫算閣議にて決定された昭和七年度關東廳特別會計歲入歲出豫算左の如し

歲入經常部	一二、三六二、四六八	
臨時部	六、四二九、三四七	
公債金	六〇〇、〇〇〇	
補充金	四、〇〇〇、〇〇〇	
前年度剩餘金繰入	一、三二二、一九一	
その他	五一七、一五六	
合計	一八、七九一、八一五	
歲出經常部	一五、七三四、八二七	
臨時部	三、〇五六、九八八	
合計	一八、七九一、八一五	

關東長官更迭期
一月六、七日頃の見込

【東京二十八日發】豫て辭表提出中の塚本關東長官は二十八日午前十一時から一時間に亘り拓相官邸で秦拓相と會見したが、長官任問題は明春に持越される事になつたので當日は現在の滿蒙情勢につき懇談後今後の方針の打合せを遂げたが同長官の更迭は一月六、七日頃の見込みである

安達氏復黨は
贊否纒らず
表面的討議は來春か

【東京二十七日發】民政黨內では安達氏の復黨は廿六日九州團體の希望したことにより俄然表面化し廿日頃となり贊成反對の兩論對立の形勢となつた近畿團體は全代議士會を開き反對を決議し又關東團體も協議したが意見纒まらず未だその時期に非ずとして反對氣勢が濃厚であり更に同十時十五分……

野黨對策協議

【東京二十七日發】民政黨前閣僚らは廿七日午後四時若槻男邸に會合對政友會策を協議し對選擧策を協議した、なほ安達氏復黨問題も話に上るべしと見らる

豫算委員長は
川崎克氏當選

【東京廿七日發】衆議院豫算總會第一回は午後零時二十分開會豫算委員長の選擧を行ひ……

三五票	川崎　克(民)
二〇票	兒玉　右二(政)
一票	片山　哲(社民)

川崎氏當選委員長席につき左の九氏を豫算委員會理事に指名同四十分散會した

一、工藤鐵男、坂東幸太郎、山田毅一、定塚門次郎、田中貢(以上民政)原惣兵衞、川島正次郎、倉元要一(以上政友)風間禮章(以上第一控室)

三委員長決る

【東京二十七日發】衆議院三委員長理事互選の結果左の如し

▲懲罰委員長藤田若水、理事春島東四郎、古島義英、小林錡、理事三田村甚三郎、土屋寬、後藤民一……

政友會の委員

【東京廿六日發】政友會は二十七日正午幹部會の結果左の如く決定發表した

▲全院委員長土居權大……

拓務大臣

……

特産市況(廿八日)

錢鈔

日米一弗安
當市急騰

奥地市況

音羽屋の舞台化粧

◇其鮮かさに感心したのが始り

喜多村緑郎丈

私は暇さへあれば音羽屋の芝居を欠かさずに見に行きます。さうして何時も其うまさに敬服してゐます。それが去年の春頃から、技藝ばかりで無く舞臺化粧の美しさにも感心するやうに成りました。何うしたら彼んなにも、白粉が艶よく冴えて綺麗に附くのだらうと考へさせられた位でしたが、後で聞けば、それは最近の發明に成つたチタニウム主劑のサーワ白粉と云ふのを使用して居るのだと云ふ事が分りました。

偖追々に話を聞いて見ると、サーワ白粉は絶對の無鉛製であつて然も在來の無鉛白粉とは全然材料を異にしたもので、主劑の二酸化チタニウムなるものが性質上鉛とは共存しないものなる事が分りまして、成程それならば眞實の無鉛製に違ひ無いと思つたのですが、音羽屋は此サーワ白粉の創製者である三木元子女史に力を添へて、發明當時のサーワ白粉を、より良く眞の化粧料として完成させる事に就ては、全く多大な後援者と成つて、一箇年有餘に渉つて改善の實を擧げるべく、自分の顔を手習草紙にしてまで、缺點といふ缺點を悉く除去つて音羽屋が四十何年來の舞臺生活の中、初めて自分の理想に適つた白粉を作り上げさせた譯なので、學問上二酸化チタニウム白粉に仕上げた三木女史の功績の上に、更に六代目尾上菊五郎丈と云ふ名優が、實際多年の化粧法の經驗から、化粧料としての完成を援助して、唯一無二の完全な白粉が出來上つたと云ふ事は、一般の化粧界に取つて此上の福音は無いと云つて宜しいと信じます其中に私も勿論舞臺化粧にはサーワ白粉專用者となつた譯なのですが、事實サーワ白粉が在來のものに比べて、實地の化粧法の上に偉大な効果を擧げ得る事は、全く驚くほどです。

以上言ひました通り、サーワ白粉及びサーワ化粧品の一式は、化粧の實際家である名優の試驗を經て完成された品、イヤ單に化粧の實際家計りで無く、何事にも舞臺同樣周到細密な用意を持つて掛かる音羽屋の熱心から、仔細に研究された化粧料である事に依つても夫が尋常一樣の品で無いと言ひ得ます。私は斷然さう言ひ得ると信じて疑ひません。

私がサーワ白粉及びサーワ化粧品一式の專用者となつて以來、自分の經驗だけでもサーワ白粉の特長に就ては、左の通りの實證を廣言する事が出來ます。

それは何かと云へば、先づ今迄に見る事のできなかつた附着と伸びのよい事、使用分量が在來のもの、半量以下で然も十二分の効果を擧げ得る事、水刷毛を使へば使ふだけ艶が冴えて來る事、一度仕上げた化粧振は長時間を保つて化粧崩れのしない事、濃くも薄くも自由に調子の取れる事、二重塗をして際立たず、如何に厚化粧を續けても白粉燒のしない事、紫外線を吸收するので日焦を防ぐ事、極めて分子が細かいので塗刷毛を撰ばないこと、白粉がピッタリと皮膚に附いて浮かないので衣裳や半襟を汚さない事、萬一誤つて衣類に垂らしても乾いた跡を叩けば粉末となり飛散つて了ふ事、硫黄の温泉に入つても變色變質しない事、永き保存に堪へて固まつても水で溶きさへすれば、何時でも初めの通りに使へる事等、一々枚擧に暇の無い程に眞の化粧料の使命を盡して居る事は、一度サーワ白粉を使つて見れば私の言ふのが嘘で無いのが分ります。

まだ〳〵事實の證據として、サーワ白粉で化粧をして寫した寫眞と、外の化粧の寫眞とを比べて見ると、サーワ化粧の寫眞に限つて目鼻立がクッキリと鮮かに寫る事などが、如何に其化粧料としての眞價を物語るものであるかは、一般の御婦人方に於かれても、御試寫の上で比較して御覽に成つても面白からうと思つて居ります。

(ミツワ文庫) 音羽屋の富樫と三木女史

白粉はサーワ

梅島昇丈

多年舞臺生活をして居ます俳優が如何にして役の人柄を現さうかな研究する事は、一般觀客の思ひ及ばない苦勞があるものです。尤も歌舞伎劇のやうに、赤面が敵役で白塗が立役と云ふやうな、象徴的な化粧法も傳はつて居ますけれども、是等は特殊のもので、寧ろ古典藝術として尊重すべき彼の隈取などの化粧法に近い位のもので、勿論一般の化粧に結付けてお話すべきものでは有りません。

私共新派俳優の扮する役の上には、實在性のある人格を現す化粧が必要だと思ひます。つまり化粧法に依つて役の人格を表す事が必要なのです。

昔は俳優と云へば、頭の頂邊から足の爪先まで綺麗な人の樣に思はれて居た時代がありました。

其後新派俳優が出現し、近年映畫俳優が出現しました。そして歌舞伎俳優のやうな綺麗的な顔立は少くなりましたが、其替り人間味は豐富になりました。即ち役柄に依る其人らしさを現して居ます。又其人らしさを自然に現す事に努力もして居るのです。

さて爰へ私の言はうとする所は新派劇は寫實に見せる藝に苦心をして居るだけ、其化粧法の如きも餘り誇張ではありません。何れも實際に近い化粧法の研究を怠らないのです。然し是を一般の化粧界に比べて見れば、新派とても演劇ですから、單なる實在の寫實だけでは藝に成りません。多少の誇張は藝にも化粧にも許されるのが當然ですから

私は新派の化粧法を以て直に之を一般に當箝める者ではありませんけれども、只俳優は藝の別無く、化粧に苦心を重ねて來て居る事だけは、正に爭はれない事實なのですから、此化粧法の中のよき物を一般の化粧界にお傳へする事に於てそれは多年の經驗が持つ、參考資料であらう事を申上げ度いのです。化粧の理法に至つては全く同じ譯なのですから。

よき物と云へば最近完成された化粧品、サーワ白粉及びサーワ化粧品の一式は、我が一般化粧界に取つて恐らく是程良きものは無いと思ひます。即ち其良きもの、證據として、一般の化粧界が、その存在を知れる限りは殆んど之に風靡されて居る事は、手近く歌舞伎劇も新派劇も等しく、舞臺化粧が悉くサーワ白粉の世界となつた事でも察せられます。

何故にサーワ白粉が斯くも迅速に化粧界に行渡つたかと云へば、此白粉で化粧をした作りは、他の化粧に比べて鮮かに生きた艶が冴えて居るからです。從來是程生々とした化粧榮えのするものは無かつたと思ひます。然もチタニウムを主劑として絶對に無鉛であり、更に白粉の使命である附着がよく伸びがよく、水刷毛を使ふ程艶が一層冴える事では全く空前の成績を擧げ得るものであり、半量以下で以上の白さに仕上り、又永く保つて化粧崩れがしないのに至つては、今後と雖も是以上に望む事は無いのです。

中でサーワ固煉白粉は煉白粉に比べて幾倍濃く煉り固められてある品ですから、此れの一箇を濃化粧は勿論薄化粧にまでも薄めて用ひれば、經濟的にも更に德用の上に德用な譯です。

さうして化粧法に就ては、先輩の名優諸君が多年實際の經驗上から、微細に入つての化粧談を發表せられて居ますのも、サーワ白粉の愛用者に取つて鬼に金棒とも云ふべきで、私は又他日に改めて私丈の研究を發表させて貰ひますが今日は只サーワ白粉が確實に良き物である事と、名優諸氏の化粧談が此サーワ白粉の使用者を、より以上の美しい化粧榮に導くものである事の證言を述べて見た次第であります。

(右)喜多村丈の[illegible] (左)梅島丈の寫山

三木女史創製の此サーワ白粉は他の色々のチタニウム白粉とは全く性質を異にして居ます。混同なさいませぬ樣御注意を願ふ

滿日各地版

今年は駄目ですが仕方がありません

商人の述懷に特殊性をみせて　今年も暮れて行く

【奉天】例年なら不景氣ながらも年の瀨が押し詰ると歲末氣分が橫溢し商店街は師走のかき入れに一家總動員の多忙さであるが今年は事變の眞只中に年關迫り正月を迎へやうといふ有樣であと三日に迫つた歲末も軒每に樹てられる門松も立てられなければ〆飾りも見られず又赤鉢卷に杵をかつぐ威勢のよい餅搗き屋も稀に街頭で見るだけである、殊に歲末の氣分を如實に現はす各商店の大賣出しも本年は例年にない寂しさでたゞ市場會社あたりで蜜柑、林檎、柿等の果物その他蒲鉾、鱈たら、鮭等每日の如く到着し買手もポツ〱あるのみで幾分ながら歲末らしい景氣を見せてゐる、春日町あたりの商店では何れも師走の空を仰いで今年はだめです、だが仕方がありませんと嘆息しながら時局で諦めてゐるのも心淋しい氣がすると

有力なる匪賊團　鞍山附近に接近

各地匪賊の橫行振り

【鞍山】遼陽縣西方遼中縣臺安縣方面に於ける匪賊行動及び頭目人數等につき鞍山警察署刑事隊の內偵する處によれば最近新に鞍山西方に移動し來る匪賊は何れも張學良の命を受けたる老北風が指揮し居る如くにて現在遼陽、海城、太子河、遼河流域附近の匪賊は双山好三軍の六〇〇名、侵子の部下八〇〇名、老人義七〇〇名、會友蒙古人二〇〇〇名、老北風祭小疙一〇、〇〇〇名等にて右の中侵子及び會友の率ゐる匪賊は目下遼中縣高家窩棚と稱する部落に於て老北風と連絡を取り東方鞍山附屬地方面に向け襲擊する計畫中とのことで老北風及祭小疙の率ゆる一萬の匪賊は營口海城牛莊方面に進出し會友及蒙古人の率ゆる二千の匪賊は遼陽縣方面に向け襲擊すべく計畫中であるが遼陽縣第八區唐馬寨には既に匪賊侵入したので區官王金緯區長杜鼎階其の他有力者馬佰全、田階仁、王亞監等は何れも行方不明である、匪賊は漸次鞍山方面に接近し近く襲擊の計畫中であると

趙前懷德縣長　近く銃殺の刑

【長春】附近の兵匪を糾合して排日抗日侮日の態度に出で新縣長馬春田の命を奉ぜず自ら縣長の椅子にありとし馬縣長暗殺團とへ組織してゐた趙前懷德縣長は十八日皇軍の討伐によつて逸早く逃走行方を晦ましたが我討伐軍は廿一日一部を殘して懷德城を引揚げ某方面に出動するところありこれがため趙は更に懷德を奪回せんと城外に接近機を窺ひゐることを我軍が探知し廿四日小數部下と共にこれを逮捕した、日支人とも怨み骨髓に徹してゐたことゝて趙は近く公主嶺に押送銃殺の刑に處する筈だといふが惡鬼趙の運命も此處數日の後には片附くことにならう

愛國彈

【奉天】事變以來軍警慰問に努力して來た本派本願寺婦人會は先に聯合婦人會より脫退獨自の立場に依り慰問事業に專心して來たが先日來滿鐵各地の會員に檄を飛ばし砲彈形の貯金箱を製作し愛國彈と名付けて各戶を歷訪した、廿七日これを締切つて奉天公會堂に集め廿一個の砲彈を破つて計算した結果金額千五百圓に達し之を軍司令部に軍隊慰問金の一部として寄贈した【寫眞は愛國彈を破つて計算する本願寺婦人會員】

太子河流域　住民動搖

【鞍山】匪賊頭目三勝は目下自衛團と自稱遼陽遼中縣界太子河流域に在りて一千名の部下を各方面部落に分駐せしめ指揮し居るが部下は經費の關係上偶々個人的に三勝に秘し掠奪を敢行し居る、三勝は以前遼陽縣內第八區第七區及び海城縣騰鰲堡住民と土地一天地につき大洋三元づゝを提供する契約條件を以て外部より侵入する匪賊を絕對討伐に當りつゝありしも最近西方に大部隊の匪賊ありて東方に向け襲擊せんとする計畫中なるを知つた三勝は若し大部隊が自己警戒管內を襲擊せば自己契約條件を變滅する狀態となるので三勝は如何なる態度に變化するやもはかり知れず故に同部落民は戰々恟々として警戒中であると

鄉軍最初の犧牲

鷄冠山で戰死の岩瀨氏

【奉天】時局以來帝國在鄉軍人として最初の尊い戰死者たる鷄冠山分會員豫備役步兵上等兵岩瀨光男氏は本年六月鷄冠山守備隊が滿期除隊したが今回の事變に於て在滿在鄉軍人は守備隊等を編成し活動中なるに感激し本月初旬地理に通曉せる鷄冠山に來り鳳凰城に職を得て赴き去る廿六日同地の匪賊襲擊に際しては身を挺して警備隊員を督勵し勇敢に應戰しつゝあつたが衆寡敵せず危急に瀕するや單身日本刀を揮つて敵中に突入し敵の心膽を寒からしめ流石頑强に抵抗せる敵を辟易せしめ以て辛くも同驛の危急を救つたが不幸敵彈のため胸部に貫通銃創を受け終に名譽の戰死を遂げたものである尚同氏渡滿後鷄冠山に滯在中は屢々同地の母隊を訪れ守備兵の勤務を援助する等獻身的に奉仕し守備隊その他各方面よりも感謝を受けつゝある

范家屯に　五人組匪賊

【長春】二十七日午前一時頃范家屯線町機織業陳某方の裏口を鐵棒で破壞し屋內に進入した五人組の匪賊は拳銃を突つけ家人を脅迫金錢の强要を迫つた、主人陳は賊の隙を窺つて逸早く屋外に脫出急を派出所に告げたが一方賊は陳の妻を捕へ、此處に金の無いことは無い筈最近歸國旅費を蓄へゐることとて聞き及んでゐる、あり金全部を提供せぬからには全家族を殺すぞと脅迫され現大洋一千元を提供、賊はこれを受取るや主人が逃走したのは官憲に密告のためだらうと妻に右腕上膊部及左大腿部の二ケ所に貫通銃創を負はせ悠々と引揚げた、急報により范家屯派出所では總動員して現場にはせたが賊は遂に逃走後であつた

馬賊團の垂涎

【鐵嶺】鐵嶺縣下大甸子は事變勃發當時鮮人の虐殺事件で社會の視聽を集めたが同地には敗殘兵が隱匿せる長銃五、六十挺と輕機關銃十二挺が今尚其儘となつてゐるやうで各地の匪賊はこれを掠取せんと機を窺ひつゝあるらしく先日馬家寨で我軍に擊破されたる一團も實は此銃器を强奪せん目的の爲めに行動しつゝあつたものだと言はれてゐるが各馬賊團は此銃器に對し少からず垂涎してゐるやうであると

遼陽附近匪賊

【遼陽】頭目要的好以下步騎百二十餘名の匪賊は二十五日午後三時頃遼陽縣第十區管內三家子村（城西北約五十支里）を包圍し村民及び自衛團と交戰中であるとの情報あり當時沈旦堡に駐在中であつた公安騎兵中隊と赫第十區警察署長部下三百餘名を率ゐて討伐に向ひ交戰約四時間の後賊團を擊退したと

武器を强奪

【鐵嶺】二十七日午前六時頃縣下非米峪部落に二十八名の步騎兵匪襲來し同村公所より長銃七挺實包四百發を强奪した上村長及村民一名を人質として拉去撫順縣下に逃走した

烏巴海に兵匪

【鐵嶺】二十六日正午頃縣下第八區烏巴海（當地西南約四十支里）に百七八十名の兵匪來襲大掠奪を開始したるが右は先日石佛寺に於て公安隊と交戰したる一團で最近同地方に橫行する兵匪のうち最も優勢なる部隊である

得利寺に强盜

【瓦房店】得利寺中央街居住雜貨商兼油房業衛子陽方にては二十七日午前七時頃例に依り朝食の準備をなすべく店員が入口戶を開きたるに表道路に待ち構へ居たる强盜五名は直に屋內に侵入し（一名は見張をなし）拳銃及棍棒を以て家人を脅迫し在金二百五十圓外毛皮其他を强奪し店員二名を人質として拉去し龍識山西方に向け逃走したので同地派出所勤務坂元巡査は急を本署に告ぐると共に自警團長飯森驛長以下團員十餘名非常集合をなし卽時追跡した一方本署よりは原警部補以下巡査十五名「サイドカー」にて出發現場より雪路を蹈んで追掛けたが途中人質二名は奪回したるも賊の所在は判明しなかつた斯くて十數里に亘る强行搜査も遂に目的を達せず午後五時半一先づ歸還した

劃期的の新編輯法を採用した『圖解現代百科辭典』

◈新らしいものから更に新らしいものへと、殆ど目まぐるしいまでに、急速度の步調を續けてゐた圓本時代が、既に其の全盛期を終つて、凋落の秋のさびしさを見せた後を受けて、將に舞臺の正面に現はれたものは百科辭書時代であるかを思はしめるものがある。三省堂の圖解現代百科辭典、これと前後して平凡社の大百科辭典、更に加へて冨山房の家庭百科事彙、これが三つ巴となつて爭覇戰を現出し、今や百科辭書出版界は時ならぬ活況を見せてゐる。

◈百科辭書と最も緣の深いのは何と云つても三省堂に指を屈せなければなるまい。三省堂が往年かの日本百科大辭典を發刊して當時の學界を驚倒せしめたことは、出版界の著しい出來事として、吾人の忘るべからざるところであるが、日本で初めての典型的の大百科辭典を完成した功績は、嫌でも應でも三省堂にこれを認めなければならぬことは、恐らく誰人にも異存のないところであらう其の三省堂が圓本時代の全盛期間を通じて、終始何物かを期待するところあるが如く沈默を守つて、鋭意編輯を續けて居た所產物を、續いて現出した百科辭書時代の先頭に立つて世に發表したことは、誠に時機を得たものであると同時に、また吾人の永く期待をかけてゐたところであつた。

◈今次發表された圖解現代百科辭典は、其の全豹を通觀すれば、往年の日本百科辭典の後を承けて十年振に發表された出版物としては決して其の尤大を誇るに足るほどではない。否な寧ろ久方振の百科辭書としては聊か規模の小に失するやを思はしめるものがあるが、併し他面から見て此の發刊計劃が誠に眞面目で、仕事に少しの無理がなく、小取廻しに短期間に全卷を完成すると云ふ行き方は、兎角此種の出版物に在勝ちな中途挫折の險を完全に防止し、漸を以て將來の大百科に進展しようとする用意は、三省堂が嘗てはつた百科辭書出版の苦き體驗に基いた結果であらうと想像される。そして分量から云つても手頃の嵩のうちに手頃の內容を盛上げて世に問うたところに發行者の深い注意が窺はれ小じんまりと纏まつた編輯振りは、よく時代の趨向を把み、讀者の思ふ壺に嵌つてゐる。

◈全卷五卷、每卷各四百餘頁、五十音順によつて多く日常生活に卽した必要な語辭を採錄し、これに適切な說明を與へてゆく行き方は多く他の百科辭書と異なるところがないが、唯だ全卷を通じて每頁三段組に本文を配置し、更らに各段の上欄には恰かも映畫のフイルムを展開したやうに、連續的に挿繪を配列した一種斬新な編輯方法を辭書に應用したことは近來稀に見る最も面白い目新しい試みである。

◈要するに編者の着眼點は固苦しい舊來の辭書の極まり切つた型に近時漸く盛んになつた寫眞圖鑑、實物圖錄風の新形式を取入れて、巧みに兩者を照させ、一面には字引であり辭書であると同時に、他面には圖鑑であり圖錄であると云ふ兩面的の職能を持たせ、讀む場合役に立つは勿論單に見るだけでも津々たる興味が涌くと云ふ風に組立てられてゐるのは百科辭書に新生命を與へたものと見られる。

◈尤も百科辭書がかうした形式に向て進で居るのは世界的の傾向で歐米に於て最近發行される百科辭書がいづれも多方面の挿繪を入れて居るのに見ても知られる英國で出版されたアイ・シー・オールの如きは全く繪の百科として成立つてゐるけれどこれを圖解現代百科に比すれば外形內容に於て幾多の欠陷があると見なければならない

◈かくて全卷を通じて新味を橫溢させ、ともすれば固苦しく單調に流れようとする辭書に、あくまでも生氣を吹き込んだところに此辭書の新生命があり、またそれが寸暇をも惜むあはたゞしい現代人の要求にぴつたりと合致してゐる。專門的の大百科辭書は、別に其職能と活用の範圍とを異にするものであるから今は暫らくこれを問はない。少なくとも此一書は簡潔明快を尚ぶ好箇の參考書として現代人士の座右に缺くべからざるものなるを失はない。

人質から脫走し 杉山氏歸る
九死に一生を得た奇蹟

【本溪湖】去る十二月七日匪賊に拉去されたる牛心臺復興公司杉山義正(四七)氏が嚴重なる拘束看視の隙に乘じ逃走して十九日目の廿五日に無事歸着したが其談話によれば匪賊團の頭目は鐵子臣と稱し牛心臺の奧地深く永年巢窟を構へたる有力なる一團なるが時局以來は張學良の別働隊も加はり今は西北司令部と稱して約六百名の大部隊となりて彼等の大半は武器を有し頗る統制ある者にして指揮者中には英語を解する者さへありてなかく侮り難き大衆團である如きは極めて本溪湖を襲擊蹂躙する彼等は極めて容易であると豪語してゐると云ふことである杉山氏は本溪湖を距る日本里程十七里の地點小句子と稱する處より逃れて嶮岨なる山道十七里を十二時間にて走破し九死に一生を得て歸着した事は實に奇蹟であるなほ彼の匪賊團は現に支那人質數名を引連れ居ると云ふことである

長春にまた 怪盜現る

【長春】長春の怪盜事件また一つ城內西三道街客馬車夫王魁海(五〇)は二十五日午後十時二十分頃南廣場に於て一名の支那客を乘せ東三條通より曙町を左折東二條通から普通學校西側にて更に一名の乘客を乘せ十五間位を進んださき不意に後部より鐵棒で頭部顏面を毆打重傷を負はせ乘客二名は馭車夫を車上より路上に落し逃走した、被害者は急を朝日通派出所に屆出で署員が現場に急行したときは馬車の影もなく引續き搜査中だがこれは最近長春に出現した怪盜、馬車掠奪專門の賊の仕業だと見られてゐる

安東の警備 充實を要望

【安東】安東時局市民會は目下板津中佐の指揮する大部隊が安奉線一帶の馬賊掃蕩をなしつゝある事に感謝してゐるが、官匪のうちには巧に此の討伐網を潛つて安全地帶に逃避し再び襲來の恐れありとの所より更に警備の充實を要望し二十六日午後三時半、本庄關東軍司令官並に林朝鮮軍司令官宛左の如く增兵方を電請した

最近匪賊は間斷なく安奉沿線を襲擊し今や安東は刻々危險に陷り市民の生命財產の安全を保し難きを以て新義州守備隊を至急安東に進出せしめられたし尚ほ曩に要請せる增兵の件も此際迅速に御手配御配慮ありたし右要請す

張海鵬軍移動

【鐵嶺】洮南の張海鵬軍は最近馬賊を懷柔して勢力を扶殖すべく計畫しつゝあるやうで八面城商務會に對し近日第一團長李樹田氏が馬賊歸順勸誘の爲め一軍を率ゐて八面城附近に赴くを以て賊團と誤認せざるやう豫じめ諒解を求めて來たと

蓋平の發展策

【熊岳城】蓋平驛が蒐貨物の集散地として古來種々の特產物を輸送した事は廣く周知の處であるが近年各農園の果實類も極めて優良なるものが頗る多數に產出するに至りこゝ數年を出ずして果實の名產地熊岳城を凌駕すべしと稱せらるゝに至つた程で同地の先覺者と目さるゝ人々は相謀つて蓋平自治會(附屬地)なるものを組織し大いに土地の發展を期したいといふので第一生產品の輸送方法につき研究したる結果佐竹驛長の盡力を待つて從來生果の發送に對しては運賃現拂の規定であるのを特に便宜を計つて販路の圓滑なる發展を期する爲め運賃着拂ひの恩典に浴する事となり今後果實類の販賣能率を數等高むるに至つたと

蓋平 時局委員會

【熊岳城】各地共奮ひ立つた時局善處運動に併行し蓋平にても先日發起者奔走の結果時局委員會が組織せられ、委員長に佐竹驛長、委員に若松地方委員議長、山田軍人分會長、三輪區長、木村地方委員三ケ尻事務所主任を推し逐日事業の遂行にとりかゝつた

百ケ日法要 長春で擧行

【長春】寬城子、南嶺兩戰役に於て戰死した忠勇義烈な我兵士も廿七日が百ケ日忌に相當するので長春佛教團では午前十一時から步兵第四聯隊將校集會所に於て嚴肅なる法要を營んだが軍部及び一般からも多數參加して英靈を慰むるところあつた

產業功勞者

【安東】日陞公司主金井佐次氏は今回日滿貿易功勞者として日本產業協會より表彰され此程同協會から安東領事館宛右表彰狀が到達した爲め二十六日午前十時から領事館に於て傳達式が行はれた終つて米澤領事より簡單なる挨拶ありて式を閉ぢた

奧村少尉遺骨

【鐵嶺】馬家寨の戰死者奧村少尉の遺骨は公葬も盛大に終れるを以て未亡人及故人の實兄等が附添ひ鄕里熊本に還る事になり二十七日午後九時十五分發列車にて離鐵した

兵隊さんに 腹卷き

【熊岳城】戰線に立つ我が忠良なる守備兵に對し內地各方面より寄せらるゝ眞心こめた御守札は續々當地守備隊にも到着してゐるが出動兵士に對し當地婦人會にては最後の奉仕として右御守袋腹卷作製の上各兵士に贈らんものと年も押し迫つた二十七日多忙な家事の暇に赤心こめた腹卷きに針運ぶ手にも兵士の安全戰勝を祈願しつゝ作製、午後三時迄に地方事務所に各幹事取纏め持參、夕刻二名の代表者に依つて守備隊に持ち込まれたが僅か三四時の中に二百に近いお守袋の腹卷きが出來上つた事は如何に會員一同が緊張した氣分で取運んだかゞ伺はれる

滿洲里 名刺交換會

當地民會にては時局に際し國民擧つて緊張、緊縮節約の折柄虛禮廢止の主旨に基き各自の濫費を省き以て國力の伸張を圖るため年末年始の贈答を絕對に廢止する事決議、一般に此行方を勸め、例年賑に於ける廻禮を廢止する爲め民會主催で小學校で會費大洋五十仙で名刺交換會を行ふ事に決した

記念品を贈呈

ブラゴエに榮轉する事になつた豐原書記生は本月二十八日一先づハルビンに赴き同地で用務を辦じて來春正月二日再び歸滿し九日に當地出發チタ經由任地に赴任する豫定であるが同氏の在留民に盡せし功績に對し一般居留民は非常に感謝し居り記念品を贈呈する事になつた

長春 教化聯盟申合

長春教化聯盟支部では年末年始の申合せと新年國旗揭揚式につき左の如く協議決定した

▲新年國旗揭揚式　滿蒙新天地建設第一年の新年劈頭に際し國威宣揚皇軍の武運長久を祈るため國旗揭揚式を擧行することゝし元旦午前八時三十分長春神社境內に於て一般有志多數の參加を希望すると

▲年末年始申合　時恰も重大なる時局に際し年末年始の儀式は一切簡素を旨とし敬虔嚴肅の氣持を失はざる樣に努めませう

貧困者救助金

長春警察保安係では廿八日內地人十二名、鮮人七名の貧困者に對し歲末年始の救助金として一封づゝそれ〴〵贈與した

領事館御用納

長春領事館は二十九日御用納め四日より御用始め尚元日は午前十時三十分より同十一時三十分まで拜賀式を擧行すると

鐵嶺 鐵嶺神社祭典

鐵嶺神社では來る三十一日午後四時より大祓式を執行同午後十一時より除夜祭を執行し歲旦祭は一月一日午前十時、元始祭は三日午前十時の豫定であると

安東 材木組合總會

安東材木商組合は二十六日午後二時から商業會議所に於て定時總會を開催したが昭和六年度決算報告承認並に七年度豫算の協議ありて後役員改選を行つたが理事及監事は投票に依り決定し理事長は滿場一致前理事長伊藤勘三氏を推し左の如く決定した

理事長伊藤勘三、理事武藤守一、村上四郎、阿部卓爾、濱治作、蛸子井正信、福田稔、笹內重晴　監事唐津鶴吉、和田賢太郎

消防組祝賀會

新義州消防組は明年創立二十五周年に相當するので一月中に盛大なる記念祝賀會を擧げ功勞組員並に模範組員の表彰を併せて行ふ筈である、同消防組は明治卅九年の八月義勇消防として創設され初め組員は內地人のみであつたが大正二年第二部として朝鮮人第三部として支那人の組員を設け今日に至つたものでその間防火防水等府民の生命財產保護の爲め盡瘁した功績は多大なるものがある

遼陽 鄕軍自衛協議

遼陽在鄕軍人分會では廿七日午後二時から分會員一百名を警察署樓上に招集して附屬地自衛上に關し步兵聯隊坂井大尉、長山署長からそれ〴〵注意するところあり萬一の場合に部署につき得るやう打合せをなし午後四時半から分會旗を先登に市中を一巡公會堂に於て冷酒をくみ散會した

沿線往來

▲宇佐美奉天事務所長　廿七日大連より歸奉
▲庵谷忱氏　廿七日ハルピンへ
▲酒本遼陽憲兵分隊長　廿七日朝歸隊同日更に北行

第二の反抗 (116)

三宅やす子
阿部金剛畫

東京へ(四)

「どうしたの?よつぽど苦さうだつたわれ。ちつとは氣分がいゝの?」

お上さんは大柄な人だつたが、みかけよりも、やさしく訊れてくれた。

「ありがたう御座います」

「不順だからねえ」

お上さんは、何もしらず、一寸した頭痛位に思つて居るらしかつた。

だがお靜は、不意の身體の變調にすつかり驚いて居たのだ。

よくは樣子はわからないけれど、もしや流產といふのは、あれではなかつたかしら、無やみにだるくて、苦い。汽車の疲れだけでこんなになる筈はないのに。

お靜はあえぐやうにして云つた

「も少し、こゝで橫にならせて下さいまし」

「よござんすとも」

お上さんは快く云つて、

「うちは遠方なの、すつかりやすんでらつしやい。送らせてあげてもいゝんですよ」

「ありがたう、それには及びません」

お靜は禮を云ひながら、ギヨツとした。いろんな事を訊かれたらどうしやう。

默つて眼をつぶつて、またウトウトした。

フト、また氣がつくと店には二三人の客が來たらしく、少し賑やかになつて居た。

かうして、こゝで遲くなつたら宿をさがすのに困る――がまた、大儀で起き上れない。どうしたらいゝんだらう。

すると、さつきは居なかつた男の聲で

「一體どこの女なのだい」

お上さんが

「さあね、店に來たお客さんなんだよ」

二人の會話をきいて、お靜はびつくりした。

こゝの亭主なのかしらん。見ると、やさしいお上さんとはまるで似つかはしくない眼の凄い男だつた。

いよいよお靜は、早くこゝを出たくなつた。

思ひ切つて無理に起き上り、

「どうもいろいろお世話になりまして」

帶をしめて、お上さんに禮をいふと

「大丈夫ですか――まあ、またひよろひよろして、あぶないがねえ」

不安さうにお上さんは云つた。

「大丈夫で御座います」

がま口を出して、勘定をすませやうとすると、男が何やらお上さんに耳打ちしてゐた、

「さうね。訊いて見てもいゝけど」

お上さんは、お靜に何か云ひたさうにもぢもぢして居たが思ひ切つたやうに

「あなた、これからどこへ行くの?旅の方らしいけど」

お靜はみすぼらしい小さなバスケツトを提げて居た、

「………」

「宿はきまつてるんですか」

「イエ」

とお靜は眼くなつた。

「何なら、今晩うちに泊つてらしていゝんですよ。そんなに苦さうにもして、また途中で、もしかの事があるといけないから――」

賣行日に日に猛烈！即刻お求めを！！

ぜひ御近所の書店で實物をお手にとって御覧ください

一刻も早く御求めにならぬと賣切れます
記事に小說に、口繪に畫報に、空前の大充實！
外に六大附錄と十數萬圓提供の二大懸賞つき

婦人雜誌界無比の出來榮え

◎人氣沸騰！新掲載の四大小說

家庭小說 **良人ある人々** 菊池寬

これは素晴しいと大評判、

結婚は果して戀愛の墳墓か？見よ！夫婦間の懊み、戀愛の苦痛、運命の曲折を描いて哀艶切々、是程若人を熱狂させこれ程涙を絞らせる小說があらうか？

▲戀愛小說 **不滅の像** 加藤武雄

見よ！不遇な彫刻家と薄命の麗人が奏でる哀戀悲曲！若人の熱涙を絞る！

▲滑稽小說 **僕の結婚** 澄川哲朗

嬉し恥かし初戀から結婚迄の甘つたるいロマンス面白いこと正に天下一品

▲美男美女 **いざよひ砧** 子母澤寬

戀する美女に慕はれ乍ら而も火の樣な戀から逃れんと悶く若き美男の苦衷

大評判になった二大讀物！

▲特輯 **各界人氣花形座談會**

及川道子宮川美子水谷八重子高石勝男菊池寬松內則三其他の方々が初めて打明けた苦心談や秘話等澤山！

▲冬の **小兒病の豫防法・手當法**

お子樣の命を奪ふ恐ろしい冬の病氣はどうすれば豫防出來るか？お母樣方の心得を專門の五博士が發表

一流美容師の **冬の美人法** 公開

寒い時から色白く見せる新美顔法、きめを濃かに艶々見せる美顔法、荒性の人の手足を美しくする手當法、寒さ時の美髮法、肌を美しくする洗顔法と入浴法、姿を引立たせる着付法、目口鼻の缺點を隱す化粧法等色々

▲**新年流行美髮十六種**

一流髮結師十六氏考案のものを有名結髮師が結上げた美髮！

◎大奉仕！

本誌の外更に **六大附錄** つき 僅か八十錢

別冊大附錄が五種別刷大附錄が一種これ丈でも優に二圓以上の値打！早く御覽

蜂ブドー酒大景品附特賣
一等で一本白金時計

空くじなし・全部大景品贈呈

景品種目(二百萬口分)

- 一等 白金腕時計 一個 一千本
- 二等 金側腕時計 一個 二千本
  - 又は ベスト寫眞機 一個 / 紋錦紗大巾兵兒帶 一筋 / 鋼鐵製手提金庫 一個 / 美術鉛型半鋼火鉢 一個 の内一品
- 三等 合金製莨セット 一個 三千本
  - 又は 旅行用化粧具組合 一個 / 吸物椀(漆器)五客一組 / 純毛合シャツ(上下)一組 / 美術銅製花瓶 一個 の内一品
- 四等 上等コーザン石鹸 半打 四千本
- 等外 正規の應募者全部へ 漫畫繪葉書 五枚一組 進呈
  - 池部鈞岡本一平田中比左良前川千帆宮尾しげを五畫伯の
  - 但右景品に當らぬ方は鑑賞書のみと御承知下さい
- 副賞 ライター付シャープペンシル一本
  - 同時に(個々は無効)數口應募者には十口每に一本宛を御贈呈

方法

蜂ブドー酒の包紙のレッテル一枚を一口とし 二千口を一組とし當籤番號各組共通 レッテルの裏面には左記條項御明記の上開封(二錢切手貼付)にして御投函下さい

一、御買入店名及月日
二、この廣告を御覽になつた新聞名
三、アナタの御住所御氏名(同居者は何方迄)

御注意―住所氏名不明瞭及包紙レッテル以外は無効

規定

- 募集總數 二百萬口(レッテル一枚一口)
- 締切 昭和七年三月十日
- 送り先 東京市日本橋區本町二丁目近藤利兵衛商店懸賞係
- 抽籤方法 一口每に抽籤券一枚呈上二千口を一組として抽籤 當籤番號各組共通
- 當籤發表 昭和七年四月五日全國有力新聞紙上
- 景品發送 發表後一ヶ月以內

株式會社 近藤利兵衛商店

御贈答品として二重の贈り物

6―74

眼科 大連市西通三五 (西広場演藝館前) **玉井眼科医院** 電話五七三一番

小兒科專門 **金子醫院** 醫學博士 金子甚藏 大連西通七八 電七六六一 トキワ橋西広場電車通中間

乳兒・幼兒・專門 大連市信濃町電車通中程 **幡井醫院** 電話四八五九番

姫路部隊のわが勇士 勇躍して壯途へ
廿七日夜大連驛を出發

滿蒙の治安を紊し各地に跳梁跋扈する兵匪馬賊は益々その勢ひを逞しうする折、この暴戻無比なる兵匪馬賊を膺懲掃蕩してわが權益を擁護する重大使命を帶び全國民の信頼を双肩に荷ひ白鷺城下をあとに勇躍、雪の滿洲にと去る廿六日來連した小林少佐の率ゆる中國健兒姫路部隊の勇士〇〇〇名は大連において滿洲での第一日をおくり廿七日愈々〇〇へ出發した

大連驛頭を埋めた盛んな見送り
萬歳、軍歌の津浪に送られて 先づ第一列車出發

市内に觀宿した勇士は午前すでに出發の準備なり午後三時半各中隊毎に集合、宿營地市民の見送りを受けてそれぐ\大連驛に到着驛前に整列する固く結んだ唇、緊張した顔、防寒具に身を堅めたがつちりした體軀、その颯爽たる軍裝の姿は見送る者に心強さを與へる、午後四時三十分全〇隊の集合を完了し午後五時〇五分乗車を終る、これより先勇士の壯途を祝せんとする市民達は續々とつめかけ午後五時には第一第二兩フォームは全く人の山と化す、期せずして起る歡呼のどよめき、萬歳の嵐、高張提灯と日の丸の小提灯の火の波、一中、大商の太鼓隊がこゝを先途と打ち鳴らす、車窓よりはこれに應へる勇士の軍歌が高らかに、これに見送りの人々も和して絶叫する、何と云ふ感激の情景だらう午後五時三十分村井滿規少將が青木富田兩副官、中園、櫻井兩參謀の幕僚を從へ其長軀をフォームに現はし見送りの市民に一々擧手の禮を以て答へるや市民の感激と亢奮はその極に達する、萬歳々々の歡呼の津濤「こゝは御國の何百里」の軍歌の動揺めきが怒濤の如く大連驛をゆるがせる、かくて午後六時一萬餘の官民の湧き起る萬歳の聲に送られ重大なる使命をはたす必死の色を眦に現はしたわが姫路部隊の精鋭は勇躍して汽笛一聲〇〇指して壯途に就いた

鐵路までも見送市民で埋る
續いて第二列車出發

引き續き午後九時第二軍用列車で山本鶴之助少佐指揮の小倉部隊が壯途に上つたが、市民は續々とつめかけ午後八時半には第一フォームは勿論第二フォームは次々から見送りに來る老若男女のため遂に線路を埋めその數實に一萬五千を算し定刻輸送指揮官山本少佐以下〇〇〇名の北九州の健兒は溌剌としてこれまた怒濤の如き萬歳の喚聲と日の丸の小旗、提灯の亂舞に見送られ再び〇〇へと向つた

出發の直前に決意を語る
驛貴賓室の村井少將

出發に先立ち村井少將は驛貴賓室で語る

我等の決心は昨日到着した時申上げた通りだ、今朝自分は磐城町一商店と云ふ差出人から手紙を受取つた、内容は熱烈なる辭句を以て綴られ、金三十圓也が同封してあつた、全く感激の外はない

又第〇大隊長小林少佐は左の如く語る

昨夜御當地に宿營するに對し官民諸氏の御懇切な御世話を深く感謝致して居ります、またかほどまで熱誠な御見送りを受けて全く感激して居ります、乘り込んで參りました以上生命を賭して戰ふつもりですから御安心下さい、何卒貴紙を通じてよろしく皆さまに御傳へ下さい

昨夜大連驛の姫路部隊出發

廿九日の朝内地へ
傷病兵出發

二十七日朝着連した傷病兵八十六名は昨夕刊既報の如く關東軍衛戍分院に收容されてゐるが、一行は二十八日は一日休養の上二十九日午前十一時出帆の（昨夕刊二十八日發は誤り）御用船平仁丸にて廣島衛戍病院に送還される筈である

増援警官出發

大連警察署より沿線に轉勤を命ぜられた警察官五名（撫順署四名、開原署一名）は二十七日二十一時三十分發列車で夫々任地に赴いた

和かな陣中風景
田庄臺方面の兵匪を掃蕩して 英氣を養ふわが勇士
二十七日田庄臺にて 神藏特派員發

長春、吉林、チチハル等で殊勳を現はした旅順駐剳第〇〇聯隊は田庄臺方面における兵匪を完全に掃蕩し市中の治安は支那側保安隊をして維持せしめわが軍は兵員の休養に努めてゐる、一方二十五日營口に到着した遼陽駐剳第〇〇聯隊公主嶺駐剳騎兵部隊及び野砲山砲の各部隊はそれぐ\遼河を渡つて田庄臺に到着それぐ\部署につき天野旅團司令部は廿七日第〇師團司令部は廿八日何れも田庄臺に到着するので命令一下北寧線上に進出せる錦州軍の指揮する匪賊の後方を斷つべく準備を整へ全軍の士氣は遼西の曠野を壓し天を衝き旺盛である、遼河は昨今の寒氣ですつかり凍結し厚さ三十五サンチに達し野砲の渡河には全く不安を伴はない、田庄臺市中はわが軍の入城後全く平穩に歸つたが、なほ便衣隊敗走兵、匪賊の潜伏を慮つて嚴重な家宅搜索を行つたが、變裝した賊はなほ多少市中に潜伏せるもの、如く大商店は閉鎖したまゝである、盤山縣一帶は有名な遼西馬賊の跋扈する地方なのでこの機會に乘じて掠奪を開始するやも知れず住民は戰々兢々として不安にかられ日本軍の出動を心から歡迎してゐる、第〇〇聯隊の將士は二、三日來敵の主力が撤退し今は全く銃聲さへも聞こへないので「これでは演習よりも樂だ」と髀肉の嘆聲があちこちから漏れる二十六日には風呂にも入る酒も出る將士一同は大喜びである、やがて一兩日に迫つた戰ひを前に武人の嗜みだと言つては床屋を呼んで髭をつむやらストーブをかこんで雜談にふけるやら「この太陽」や「東京行進曲」の合唱に嵐の前のなごやかな陣中風景である

賊團は密偵を放ち我軍の配備を知る
驚くべき速さで規則的に行動
二十七日草河口にて 島田特派員發

二十六日未明より鳳凰城を襲撃した鐵嶺を頭目とする匪賊約二千一名は目下鳳凰城より程遠からぬ城[illegible]西溝に部隊を集結せしめ負傷者の手當をなして居るとのことであるが鳳凰城驛に臨時移動し鷄冠山守備隊では啻にこの一味のみならず最近盛に安奉沿線に出沒し猛威を逞しうする匪賊團を一擧に掃蕩し安奉沿線をして安全地帶たらしめることゝに決し姫路〇〇旅團より〇〇名の増援を得て愈々二十七日午後二時より大隊長板津直純中佐指揮の下に鳳凰城を中心とした匪賊掃蕩を開始することになつた、出動に先立板津大隊長語る

事變以來他の鐵道に比して安奉線は實に平凡であつた、然し平凡といつても決して匪賊が居ないのではなく寧ろ滿山皆な匪賊といへる程賊は優勢であつたが幸にして我守備が嚴重であつたために流石の匪賊も安奉線には手出しは出來なかつたのだ、然るに軍の命令によつて轉がわが守備が手薄となつたことを逸早く知つた賊は忽ちその牙を現はしかの秋木荘驛襲撃となり今回の鳳凰城事件となつたのだ、賊がわが守備隊の配備を知るとは驚くべき早やさで勿論總べて密偵によつてされるものと思はれるその他においても彼等の行動は非常に規則だち一例を擧げればその陣容だが先づ山の峰々に一人二人の歩哨を立て第二線には二三十名、更に第三線第四線を深く構へるといふ遣方で確實に錦州政府より指導員が派遣されるものと思はれる、然し皇軍の威力を以て徹底的にやつゝける考へだ

通遠堡襲撃を狙つて
附近の部落に匪賊三百名が集結

安奉線高麗門附近は續々たる匪賊の襲來で嚴重警戒中であるが二十八日午後安東署に達せる情報によれば安奉線の通遠堡を去る東方二十五支里の村落及び三十支里の部落に匪賊約三百名集合し二十八日夜通遠堡襲撃計畫中であり同地の軍隊、警官、驛員は嚴重警戒中である【安東電話】

四臺子で斥候衝突
鳳凰城へ安東から守備兵増派

四臺子派出所より安東署に達せる情報によれば廿七日午後五時ごろ同地警戒中の警官隊は長岡村上兩巡査を南方に斥候に向はせたるに同七時ごろ敵の斥候二名と出會ひ交戰の末撃退した、なほ北方に派遣の斥候はまだ歸來せず同地附近は嵐の前の靜けさの如き有樣である、安東守備隊兵〇〇名は二十七日午後六時三分發列車にて鳳凰城に出動した【安東電話】

五龍背襲撃匪賊の根據地へ討伐隊出發

五龍背を襲撃せる賊團は約百三十名で根據は湯山城北方四里の東溝にあるもの、如く倉田中隊と高山警官隊は午前六時二十六分五龍背發同地に向つた、賊の死體には遼寧公安第十九大隊五十中隊四部隊班長陳慶福警死救國と書いた腕章を附してあつた【安東電話】

外套の襟に防寒毛皮
婦人會が奉仕

大連婦人聯合會では軍部からの依賴により軍用外套の襟に防寒毛皮をつける作業を引受け廿七日から播磨町の滿鐵家事講習所で有志婦人が約百名參集して第一回分千五百着の襟付けを行つてゐるが、軍部の希望としては今後引續き婦人聯合會に依賴したい模樣なので現在の參加人員のみでは手不足でもあり一般より更に多數の有志婦人が奮つてこの仕事に參加せんことを婦人聯合會で各方面に要望してゐるなほ參加者は糸、針は主催者側で準備してゐるから指環、上衣一の二品を携帶されたい

鳳凰城驛地下室の避難民

年初御避寒 畏くも御取止め

【東京二十八日發】天皇、皇后兩陛下には例年の御慣例によると宮中の新年諸御儀御終了後の一月九日頃內親王樣御同伴にて葉山御用邸に御避寒遊ばされるが、本年は御政務御多端に亘らせられ殊に日支問題に關する御裁可事項御頻多のため特に明春に限り御避寒遊ばされぬことに御內定の由承る、從つて例年一月下旬行はせられた御歌會始め並に講書始めの御儀は皇室儀制令の御定め通り一月中旬行はせられる由である

旅順全市に特別警戒

廿七日突發した故小野上等兵殉職に鑑し旅順に於ては非常なる緊張振りを呈し旅順警察署は從來の警備力を一層充實すると共に在郷軍人分會でも衛戍勤務に對し増員を行ひ又民政署に於ても水源地その他重要地點に對しては二十七日夜から非常特別警戒を行ふ

赤十字で施與

日本赤十字社大連支部は例年の通り市內外の細民戶數百二十六戶、その人員四百六十三名に對し各方面委員の手を經て正月餅を施與した

手輕な贈答品

ミカン　富有柿　廿世紀梨　ボンカン　西瓜　ザボン　葡萄　オレンチ

家庭の必需品

トキワ橋の ミノルヤ果物店 電話3873番

櫻桃園採礦所で自警團と交戰中
鞍山署から警官急行

二十八日午後二時ごろ鞍山製鐵所櫻桃園採礦所北方約一里の地點龍保鎭に約十五名の匪賊現はれ櫻桃園自警團と交戰中との櫻桃園派出所より急報に接し鞍山署員は即時非番員を招集なし松木署長以下三十名が運鑛電車に便乘出動した【鞍山電話】

散宿の代りにと慰問金を贈る
磐城町の一商店から 村井旅團長に宛てゝ

廿七日午後一時ごろ遼東ホテル內村井〇〇旅團司令部へ村井旅團長宛の封書を置いて立ち去つた一日本人があつた、村井旅團長が開封して見ると「磐城町一商店」として國事のため出動される閣下初め將士に對し我々國民は何んと感謝してよいか云ふ言葉を知りません、實は今回御上陸に際し私宅へも何散宿願へることゝお待ちしてなりましたところ遂に割當てが廻らず殘念に思つてゐます、よつて少額ですが慰問金のうちに繰り入れて下さい　といふ意味の赤誠こもる手紙を添へて現金三十圓封入してあつた、村井旅團長も一市民のほとばしる熱誠にしばし感激の面持ちであつた

支那人慘殺體

廿八日午前十一時ごろ沙河口管內滿會歸高底猫道溝谷間に年齡三十歳前後の遊人風の支那人が頭部を石にて亂打され慘殺されてゐるのを附近通行中の支那人が發見沙河口署に届出でたので井關檢察官外同署より小野司法主任等現場に赴き實地檢證を行つたが死後約十時間を經過して居り犯行は物取りではなく怨恨か痴情らしく被害者加害者共不明にて目下極力搜査中であるが犯人は二、三名らしいと

無療治療

特徵　物療界中誇りとする透過光線療法は身體に何等苦痛なく骨肉を通し患部に殺菌、治癒の二作用を起し慢性諸病、肺、肋膜、脊髄、胃、腸膜等の難病でも神わざの如く治る眞否實驗の爲め二日間づゝ無料治療す來驗下さい、尚引續き治療し効なきときは治療代返還す

但通療困難者には宿泊の便宜を與ふ

大連市大山通二丁目四二（林洋行横へ入丸越染物店隣）滿生堂透過光線科本院　ジ・ヒ・エ・ル・　荒川泰

自動車で重傷

二十八日午後零時三十分市內初音町警官派出所附近で市內明治町七番地小長谷政治方雇人茶谷一夫（二三）が自轉車に乘つて疾走中、老虎灘方面から進行して來た實用タクシー韓三釆（三〇）の自動車と正面衝突し茶谷は路上に投げ出され頭部その他數ケ所に重傷を負ひ生命危篤、自轉車は滅茶々々に破壞、自動車は一部分破損した

鑛產事業調查

奉天實業廳では省內各縣の秩序恢復に從ひ鑛產業者の事業開始せんとするもの漸く多くなつたので廿六日各縣に對し鑛產業者は從前通り鑛產業令に基き從業すべく、違反者は處罰する旨を各當業者に通達方を申送ると共に當業者の今回の事變に依る損失並に各種稅金を調査報告かた命令した【奉天電話】

林總領事入京

【東京二十八日發】林奉天總領事は二十八日午前入京した

スペインとアフリカ無着陸飛行成功

【マドリッド二十六日發】スペイン飛行家ハヤ、ロドリゲス兩氏は二十四日午前十時四十一分セヴイル發二十五日午後二時アフリカスペイン領ギネアに到着スペイン、アフリカ無着陸連絡に成功した

伊東家挨拶

曩に支那正規兵のため狙撃され殉職した滿鐵社員故伊東萬次氏の未亡人は去る十九日香港丸で郷里に引揚げたが二十七日の忌明に當つて大蓮寺里勝妙寺同中津小學校に金子若干を送り二十八日令兄貞次氏と共に本社宛挨拶狀を寄せた

●●●●●支那料理法無代進呈　扶桑仙館主の武田氏が滿鐵家事講習所其他で講習した「支那料理法三十種」を小冊子に編纂し無料進呈する、希望者は滿鐵家事講習所又は扶桑仙館に申込まれたしと

暴風警報

二十七日午後十一時遼東半島及近海一帶を警戒す

安樂椅子

內田滿鐵總裁が東上した朝、埠頭の寒風に吹かれ竹中理事が外套も着ず餘り厚そうでない紺の背廣服のまゝで防寒服に包まれた人々に混つて平然としてゐた

「寒くはありませんか」といふと「氣の持ちやうで何ともありませんよ」と相不變ず外套なしの姿をよく見受ける、あの一見蒲柳の質らしく見えるが、あれで却々の健康體である。

◇

この寒い最中に薄くない洋服を着て必ずチヨツキをつけて、一向寒そうでない「氣の持ち樣でネ」と遂にチヨツキを外さず何時も三つ揃で寒を征服し寒さにも暑さにも素晴らしい超越振りを發揮してゐる

◇

また令夫人も夫君に負けず平氣で電車內で巡回文庫の雜誌を讀んで見榮に拘らない氣持のいゝつゝしまやかな態然振りを示してゐる。

曙の鐘 (153)

倉田潮
河野想多畫

決心(一)

あけみを送り出した後、たえ子は床についたが、春木のことが心配になつて何うしても眠れなかつた。仕方なくまた起き出して、湯につかりながら、夜のあけるのを待つた。

浴室の窓を開くと、隣りの山が霧につゝまれて、寢ぼけたやうな姿に見えた。が、その奧に鋭い雉子の聲が曉を呼んでゐた。宿の前には雨足の音を立てゝ流れる谷川が、白いもやをあげて、殘りの夜を送つてゐる。

たえ子は急いで湯からあがつて旅支度に取かゝつた。僅かな逗留でしかないのに、宿の人は道の曲るところまで送つて來て別れを惜んでくれた。そこから彼女は、山を下り初めた。

陽はまだ出なかつたが、山の朝はあけ放れてゐた。東の山のへりがやがて其處に現れる太陽を約束して、赤熱した針金のやうな一線に輝いてゐる。小鳥の群もその「大空の朝の口紅」をたゝへるものゝやうに、朝霧につゝまれた繁みの中で、喧騷の喜びを交してゐた。たえ子は別れて又逢ふ時の知れない山の自然に、汽車の窓から名殘を惜んだ。

東京についたのはその日の夜だつた。汽車の驛から程近い淺草へ彼女は歩いて行つた。何時來ても賑やかな淺草だつた。電燈は蜜柑いろな果物を空につるしたやうに、多くのジャズバンドはその譜を空間に交錯し激突させて、新しい反響の音樂を空に醸してゐた。

朝別れて來た山の景色には自然の寂寞があつた。夕に逢つた都會の慌しさには人工の喧騷が狂つてゐる。自然はたくまないで爽快を與へるが、都會はたくんでもなほたえ子には不快を與へた。しかし、人間よもぎ夫婦の回想は、自然にあつても都會にあつても彼女に溫かいなつかしさを與へる。たえ子は吸ひこまれるやうにOKチャリネの裏木戸を這入つた。

たえ子が來たと聞くと、二階からよもぎがかけおりて來て

「待つてたわよ。電報が行つたでせう」

と驚愕の色を浮べて云つた「今朝駒太郎もよばれて行つたのよ」

「まあ」

とたえ子は色をかへて、よもぎの後について二階にいそいだ。

部屋に這入ると、よもぎは亢奮の去らない面持に、取つてつけたやうな微笑を浮べて、無事な歸京を喜んだが

「今朝急に駒太郎が警察に連れて行かれたのよ」と直ぐ話を反した

「今迄は駒太郎のことは別あつかひにしてゐたのか、一度も呼び出されなかつたのですが、急に模樣が變つて來たやうだわれ」

「では、今朝あけみさんが東京に歸つてすぐ、警察へ云つて出たのかも知れないわ」

と、たえ子は山の宿にあけみが訪れて來たことを詳しくよもぎに打ちあけた。すると、よもぎは膝を叩いて

「それだわよ」と眼を輝かした。

「何だか私も違つたことが起つたやうに思つたわ。では、そのあけみと云ふ長女が東京に歸るとすぐ決心して、事件の全部を警察に云つて出たのに違ひないわ」

「私が云ひすぎたんですわ」

「いゝえ、そんなことはないわよ。それに駒太郎は何度もかう云ふ經驗に逢つてるんだし、呼び出された方がさつぱりしていゝてことも前から云つてたのよ。でも、春木さんはさうあんなことになつて、御氣の毒だわれ」

「春木が何うかしたんですか」と、たえ子はまた驚いた「私、今日の新聞はまだ讀んでゐないのですが……」

「まだ讀まないの。ぢや、知らないんだわれ。大變なことになつてしまつたわ。私、それで今迄心配してたのよ」

と云ひながら、よもぎは狼狽へて新聞を探さうとするやうに、部屋の中をうろ〳〵と歩き出した。

けふの放送

大連 JQAK 十二月二十九日

▲午後三時三十分 ニュース
▲午後六時十分 ニュース
(以下内地中繼六時三十分)
▲滿蒙特別講座「滿蒙視察談」參謀次長陸軍中將二宮治重
(忘年會の夕)
▲俚謠(廣島より)「酒造りの唄」廣島縣西條町有志一同「鐵搗唄」島根縣益田町有志
▲年末情景(熊本より)「勘定日」職工熊一(榮和)同猪の吉(幸和)猪の吉の父重兵衛(祐成)同妹お花(たつ子)近所の娘おさよ(浪子)同お婆さん(おさよ)
▲博多歳末點景(福岡より)「起上り寶」福岡放送描寫研究會
▲新民謡(名古屋より)「金澤小唄」東の席唄松榮、三味線一松、かづえ町唄染子、三味線金子「ラヂオ音頭」西の席唄濱子、三味線大助「百萬石小唄」と「金澤音頭」北の席唄久龍、三味線丸子、同一若
▲ラヂオレビュー(仙臺より)「藝づくし」すずめ座
(以下大連放送局より)
▲天氣豫報
▲ニュース

在滿鮮人救濟義捐金
大連市役所扱

▲五百三圓四十八錢常盤青年訓練所▲二百四十八圓五十錢人類愛善會大連支部長木原鐵之助▲二百七圓沙河口北區社員會沙河口聯合會沙河口在郷軍人分會青年聯盟沙河口支部、修養團沙河口支部▲二百圓紅卍字會大連分會▲百七十六圓六十錢大連醫院一同▲百六十五圓六十錢大連在郷軍人會東公園町分會▲百五十圓滿洲土木建築業協會員有志▲百二十圓五十錢關東廳土木課出張所員一同▲百圓大連市浪速町三丁目町內會▲同南滿洲電氣株式會社大連滿電倶樂部員一同▲同瓜谷長造▲七十圓伊勢町區▲六十二圓十錢大連民政署員一同▲六十二圓大連在郷軍人會東公園分會大連車區班▲六十圓日本組合大連基督教會婦人會▲五十圓吉野町區有志一同▲四十八圓五十錢國際運輸株式會社社員一同▲四十六圓七十六錢大連市役所吏員一同▲四十五圓正隆銀行本店有志▲四十四圓朝鮮銀行大連支店有志▲四十一圓五十錢大劉區及附近居住者▲四十一圓大連一中學校職員▲同譚家屯西區▲卅九圓三十錢大連在郷軍人會第三分會▲三十七圓三十錢昌光硝子株式會社有志一同▲三十一圓五十錢金光教大連教會所信徒一同▲三十二圓南滿洲工業專門學校職員一同▲三十一圓大連神明高等女學校職員▲三十圓磐城町區有志一同▲同霧島町區▲同大連西廣場區民一同▲同聖德區▲同山縣通區▲同大連市浪速町一丁目町內會▲同紀淡町區▲同大連市浪速町二區▲同伏見臺西區町內會▲二十六圓五十錢南滿洲瓦斯株式會社々員一同▲二十五圓五十錢三菱商事株式會社大連支店一同▲二十五圓若狹町區▲同大連彌生高等女學校職員一同▲二十四圓五十錢大連第二中學校職員一同▲二十三圓五十錢大連在郷軍人會埠頭分會▲二十三圓正金銀行大連支店有志▲二十四圓大連機械製作所々員有志▲二十圓九十二錢大連白百合會▲廿圓明治町區會▲同金光教沙河口教會婦人會▲同近江町滿鐵社宅一同▲同嶺前南區▲同監部通東郷町內會▲同大連市工場地區一同▲同春日町區▲同豆信社員會▲同沙河口西區▲同滿洲輸入組合聯合會▲同濱町區▲同大連市產婆會▲十九圓五十錢日本橋區有志一同▲同關東廳海務局員一同▲十八圓十八錢神明高等女學校生徒有志▲十五圓古河電氣工業株式會社大連販賣店員一同▲同大連組合教會(敷島町、双葉、星ケ浦)日曜學校▲十四圓五十錢大連警察署有志▲十四圓二十錢大連在郷軍人會第一分會▲十三圓五十錢關東廳專賣局員一同▲十三圓西崗南區▲十二圓大連在郷軍人會衛生研究所班有志▲十一圓五十錢同東公園分會員▲十一圓東洋拓殖株式會社大連支店有志▲十圓大和染料株式會社▲同關東廳地方法院いわほ會▲同株式會社進和商會社員一同▲同滿洲綿花株式會社社員一同▲同御嶽教關東大教會▲同大連希望社聯盟▲同大連火災海上保險株式會社內互助會▲同嶺前有志▲同高橋保太郎▲同村田懿麿▲同山口啓二▲同福昌華工株式會社▲同金州婦人會▲同下村三四郎▲同大連組合教會附屬双葉幼稚園々兒一同▲同濱村善吉▲同大連メソジスト教會▲同相生遂子▲九圓八十錢大連汽船株式會社船渠工場從事員▲九圓三十錢荻原明正外二十二名▲八圓九十七錢大連取引所有志一同▲九圓大連在郷軍人會東公園分會滿鐵電氣課班▲七圓滿洲製麻株式會社員一同▲六圓三十錢大連在郷軍人會第二分會有志▲五圓三宅亮三郎▲同村井啓次郎▲石田貞藏▲同大連工業株式會社有志一同▲同濱村幾次郎▲同埠頭船客待合所營業者共榮會▲同市立商工學校職員一同▲同市立商工學校生徒一同▲同森川莊吉▲同社會館內滿洲美婦人會▲同石田榮造▲三圓五十七錢日本基督教會嶺前日曜學校一同▲三圓地方法院檢察局一同▲同山崎元幹▲同金三民▲同恩田熊壽郎▲二圓埠頭六階食堂▲同渡邊正太郎▲同中堂トメ▲同石田卯吉郎▲同兼田乙治▲同島田喜太郎▲同北田松次郎▲同濱田藤七▲同聖公會▲同稻葉好延▲同梶田宗貞▲同小林敬次郎▲一圓五十錢塚本龍藏▲一圓中溝新一▲同河津純吉▲同河島成光▲同荻原明倫▲同高木彌一▲同太田壽代▲同原鐵太郎▲同原ツル▲同阿久井ユウ▲同阿久井高子▲同鈴木榮藏▲同田中勘助▲同中島國雄▲同飼猪政太郎▲同高橋孝千代▲同河內山武雄▲同田中健藏▲同杉山梅子▲同會田東二▲同村井隆治▲同赤池肇▲同黑田善八▲同山崎良樹▲同密甚助▲同中村松之助▲同宮崎利則▲五十六錢中田卯雄▲五十錢鈴木卯平▲同藤井清平▲同田中美智子▲同沙河口幼稚園代表鈴木フミ▲同竹田武男▲同小玉榮▲同美濃谷博之▲同伊藤順次郎▲同加山誠一▲同堀內初馬▲同手塚義雄▲同森本辰治▲同三好政次▲同白石利夫▲同菊池六郎▲同中原茂子▲同山中靜江▲同中川左太郎▲同李文權▲同金鑑人▲同奧村義信▲同北原古市▲同武田豐市▲同富田充▲同藤原歌子▲同北條嘉衛▲同木下元次郎▲同高橋良治▲同沼本誠二郎▲同前島長政▲同岩崎寛▲同木谷甚兵衛▲七圓修養團埠頭支部

累計四千二百四十八圓九十四錢

満洲日報

發行人 松本豐三　編輯人 橋本八五郎　印刷人 本村武雄
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社満洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢　郵税 金十五錢　一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢　特別一行 金二圓六十錢　場所指定 二割以上加算

今曉四時進撃令下り　我軍田庄臺から北進

多門師團長は今曉四時田庄臺、營口の麾下各部隊に遼西匪賊大討伐のため總進撃令を下すや第○師團の一部隊は勇躍して營口、田庄臺より一齊に○○方面に向つて進軍を開始した

數里に亘る長蛇の陣　寒氣凜烈、將士の意氣昂る

廿八日田庄臺にて　神藏重勝特派員發

田庄臺のわが軍は二十八日午前九時當地を出發し鐵道右側を行進し、騎兵隊を先頭に歩兵、野砲兵、山砲、工兵の各部隊及び大行李など數里を連ねたる長蛇の陣を造つて盤山方面に向つて行進、寒氣凜烈なるも將士の意氣天を衝き士氣旺盛なり

師團主力北進を開始

匪賊の大々的討伐のため進發命令を受けた水源地宿營部隊は二十八日早曉から遼河の氷上渡河を開始して田庄臺に入り田庄臺部隊と合し○師團の主力を擧げて師團司令部の到着を待ち午前八時田庄臺發北進した

師團司令部田庄臺へ

麾下全部隊に對し出發命令を下した多門師團長は午前四時二十分司令部たる營口武藏野を出で自動車にて第三埠頭に向つた、秘密裡に出發したことゝて沿道には一人の見送り人もなく、まだ明け切らぬ營口の街には蒼白い月光を浴びて立つ警戒の憲兵の姿ばかりで無氣味な静けさだ、同三十分碎氷船天丸に乗込み流氷を蹴つて河北に向ひ河北にて裝甲列車に移乗し司令部を田庄臺に進めた【營口電話】

飛機掩護の下に激戰　新屯にて二千の敵と遭遇

田庄臺を進發して○○に向つた○師團の先鋒○○聯隊は午前九時半頃より田庄臺の北方一里の新屯においで約二千の敵と遭遇し愈々戰ひの火蓋は切つて落され十時頃よりの野砲隊加はり砲聲盛んに聞こゆ

わが飛行隊は之れを掩護して盛んに○○を加ふ、結果は未だ不明である、田庄臺驛は公安隊が守備してゐる、又同地北方約一里鄭家屯にある榮寶山の匪賊一千餘名が田庄臺水源地を襲ふ形勢があるので嚴重警戒中である

鐵道守備配置

田庄臺及北寧支線の鐵道守備に當るため大石橋獨立守備隊の○個中隊は廿八日午前十一時奉天丸にて河北に渡り守備配置に就いた【營口電話】

増派部隊　天津入

【天津二十七日發】第○師團より派遣の後續部隊は昨日大沽沖着御用船上で一夜を明かし本日午前巴さ降る雪を冒して白河を遡江し英租界埠頭より上陸、佛租界を經て午後零時半歩武堂々晴れの租界入りをなした、派遣隊が長蛇の列を我租界に現はすや折柄の朔風と酷寒にかゝはらず沿道を埋めた官民は爆發的に歡呼して迎へ、國旗の波と怒濤の如き萬歳の聲租界を震はせた、派遣隊は租界西北隅の我兵營に入り昨日先着の部隊と合して香椎軍司令官の檢閲を受けた

姫路部隊　奉天着

在滿同胞と東北三千萬民衆の待望

水源地逆襲の形勢　敵の一部隊が虚に乗じ

情報によれば我軍は新屯にある敵を撃退し敵は大房身方面に向つて遁走し我軍はこれを追撃中、我軍は二十八日中に大窪攻略する計畫の由、新屯にて遁走したる敵の一部は我軍の虚に乗じて遼河を渡り水源地を逆襲する形勢あり、田庄臺及び水源地は營口から派遣の公安隊にて護つて居るが警備力は極めて手薄につき警備方法を當局において協議中【營口電話】

南大將南下　長春方面視察後

軍事参議官南大將は二十五日午後五時十五分着列車で奉天より來長、ヤマトホテルに一泊、二十六日午前八時二十分發にて赴吉、二十七日午後六時四十九分着臨時列車で歸長ヤマトホテルに投宿したが二十八日は午前八時より第三旅團司令部、第四聯隊及び衛戍病院を訪問後南嶺、寛城子の戰蹟を視察、同十一時ホテル歸着、正午より在長記者團と會見、十二時三十五分發列車で南下した【長春電話】

朝鮮旅團はけふ進發　夜を徹して準備を完成し

【京城二十八日發】＝朝鮮軍司令部發表
朝鮮軍は第○○師團司令部及第○○師團依田少將の率ゐる混成○個旅團を滿洲に派遣を命じた

出動命令に勇躍せる第○○師團司令部は直に全員の非常召集をなすと共に徹宵出發準備を整へつゝあり

師團首腦部　一路滿洲へ向ふ　萬歳聲裡に京城出發

【京城二十八日發】突如として下つた出動命令に緊張せる一夜を明かした第○○師團司令部は徹宵準備を急ぎ今曉迄に全く整つた、先發する室師團長以下幕僚の司令部首腦部を送る京城驛頭は突然の出動にも拘らず早曉から續々詰めかける熱誠なる府民に身動きもならぬ有様である、斯くて間もなく征途に上る室師團長が幕僚を從へて緊張した面持ちに朗かな微笑を湛えて自動車を乗りつけるや、見送りの宇垣總督、林軍司令官、兒玉參謀長等在城軍將星連が一行を取り圍んで景氣の宜いシャンペンに暫しの別れの歡談がはづむ、午前九時五分前乘車室師團長一行の姿がプラットホームに現れると突如として起る萬歳の喊聲が揚る、斯くて定刻を運ぶ、事十五分室師團長以下幕僚の師團首腦○○名を乘せた第一列車は午前九時二十分萬歳々々の歡呼に送られて意氣沖天一路滿洲に向け北行した

うんと働く覺悟　室師團長決意を語る

今朝出發すると決定である彼の地へ行けば勿論うんと働いて國民の期待に副ふやう努める覺悟だ（寫眞は室中將）

出發時刻發表

【京城二十八日發】朝鮮軍司令部二十八日午前一時五十五分發表＝第○○師團司令部の出發時刻左の如し
師團長室中將及び師團司令部主力の大部は二十八日午前九時五分京城驛發、殘餘の師團司令部一部は同日午後四時二十分龍山發

【京城二十八日發】出動命令の報を齎し第○○師團長室兼次中將を訪へば莞爾として語る
突然の出動命令に驚いてゐる次第だ、しかし命令に依ると滿洲の形勢は非常に切迫してゐる模様であるから取敢ず自分は幕僚

錦州軍撤退説は欺瞞策に過ぎぬ　我駐屯軍問題にせず

【天津二十七日發】學良は南京政府より錦州死守の嚴命に接したが日本側が英、米、佛三國の警告などご意に介せず斷乎既定方針に向つて邁進するを知り首腦部會議の結果于學忠、榮臻等の主戰論者を退けて張作相の意見に從ひ、戰つて潰滅するより不面目を忍んで實力を保全するに如かずとなし一昨夜我矢野參事官に對し錦州軍を自發的に撤退せしむることを言明し同時に錦州軍に撤退命令を發したといふが駐屯軍首腦部は食言常習犯の學良の約束など信頼出來ぬ、形勢切迫したので撤兵問題で攻撃を遲延させその間戰備を充實せんとするペテン手段と對外宣傳の口實に過ぎぬとなし益々戰備を嚴にしてゐる

松江部隊の我勇士けさ大連に上陸　零下八度の寒天下に　多數市民の歡呼埠頭を壓す

相つぐ派遣部隊の到着に今や大連市民は感激と興奮の極に達し遼西方面時局の急迫と共に更にその熱度をたかめつゝある、既報の如く松江部隊○○名の來滿の日、二十八日は早朝よりグッと加はつた寒氣にかてゝ北風が肌を劈く、午前八時御用船平仁丸は甲埠頭九番バースに横付けられる、かくて輸送指揮官北蘭輜重兵少佐に引率指揮され勇み切つた○○部隊は手際よく瞬く間に甲埠頭廣場に整列する林立する町内歡迎旗、殺到した市民の群、いつに變らぬ熱誠と感激は埠頭を壓倒してしまつて零下八度の寒氣も物の數ではない、先づ小川市長立つて熱のある語調で選ばれた勇士に歡迎の辭を贈る、そして最後に
自分達は國家百年の大計をはかる意味で選ばれた諸勇士の奮闘努力されん事を切望します
と結び代つて北蘭少佐はメガホンを通じて潑剌たる感謝の辭をのべ終るや堤の切れた樣にドッと喊聲が揚り萬歳の聲が爆發する、かくて一同は待合所内に設けられた休憩室に小憩、滿鐵寄贈の酒樽の鏡を抜き技藝女學校、女子商業生等の手厚いもてなしを受ける【寫眞上は上陸した部隊、下は謝辭を述べる指揮官】

我等の決心愈よ固し　北蘭指揮官談

輸送指揮の任に當り無事大任を果した松江○○部隊引率の北蘭少佐は語る
今でも廿四日故國を離る時の國民の熱狂ぶりは忘れられません、そして同じ樣にこのきびしい寒さにもかゝはらず盛んな出迎へを受け、自分達の決心はハッキリつきました、滿洲への第一歩を印すと共にもうこの身體は御國のものです、諸君の期待にそむかない樣にやつて見せますよ、幸ひ航海中何等事故もなく無事ついた事を喜こんで居ります

安達氏復黨問題　九州團體加はり擴大

【東京二十八日發】民政黨内における安達前内相の復黨運動は漸次内面的に擴大し九州團體では鹿兒島、沖繩、宮崎、熊本、佐賀が加はつた

地方官異動

【東京二十八日發】地方官異動左の如く決定二十八日正式に發令された

官職	氏名
岩手縣内務部長	中村 忠充
任石川縣内務部長 石川縣内務部長	中谷 秀
任岩手縣内務部長 内務省事務官	副見 秀雄
任埼玉縣警察部長 埼玉縣警察部長	出石於菟彦
任岐阜縣警察部長 岐阜縣警察部長	山内 義文
任熊本縣警察部長 熊本縣警察部長	麻生 亮藏
任宮崎縣内務部長 樺太廳警察部長	小山 三郎
任長崎縣學務部長 岐阜縣地方事務官	山崎 隆義
任樺太廳警察部長 長崎縣學務部長	尾池 秀雄
依願免官 宮崎縣内務部長	歌川 貞忠

文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職を命ず

前閣僚の處置　民政黨内に非難

【東京二十八日發】最近民政黨では前閣僚が若槻總裁の威令行はれざるに乘じて常に黨の人事問題その他に容喙し來つた、即ち議長問題及院内總務問題がそれであるがその多くは實現せず徒らに黨内に紛亂の種を蒔いたにとゞまつてゐる、又安達前内相等の復黨問題に關しては目下黨内に贊否兩論を生ずるに至つたが、元來協力内閣問題は若槻前首相を初め前閣僚にも共同責任あるにかゝはらずその責任を回避し今日黨内に喧しくなつた復黨論の對立に周章狼狽して對策に苦しんでゐる狀勢に在る、斯くて前閣僚が黨内に自己の勢力を扶植せんとし黨の正式機關を無視

南京新政府の陣容　主席以下人選意見一致

【南京二十八日發】波瀾を極めた全體會議も今夜孫科氏等の歸京に依り漸く一過主席以下の人選問題も左の通り意見一致を見、明日最後の會議で正式決定し、新政府を成立せしめ開會式を舉行する事となつた

官職	氏名
主席	林森
行政院長兼財政部長	孫科
立法院長	胡漢民
監察院長	蔣介石
司法院長	王寵惠
考試院長	居正
外交部長	陳友仁
鐵道部長	吳鐵城
交通部長	王伯群
教育部長	顧孟餘
實行部長	陳果夫
内務部長	李文範
航空部長	張繼

國民政府常務委員　汪精衛　蔣介石　胡漢民
國防委員會主席　蔣介石

なほ蔣、汪、胡三氏が受諾するか否かは疑問とされてゐるが財政難の爲め新政府は短命ならんと見られる

人事

▲吉武堯雨師（明照寺浄土宗總監）北滿各地軍隊慰問を終つて二十七日夜急行にて歸連
▲首藤正壽氏（滿鐵理事）廿七日夜來奉
▲宮本通治氏（滿鐵調査課情主任）永明莊五番地に轉居
▲篠原重太郎氏（帝國海事協會檢査人）廿八日出帆うらる丸にて内地へ
▲山中德二氏（大連民政署地方課長）同上
▲小玉香象氏　同上

蛇角

關東軍兵力増加の件、二十七日裁可、滿洲各方面匪賊掃蕩に滿洲全民之れによりて安堵。
◇
奉吉黑熱四省及び蒙古政權會議漸く具體化し來り、年内に國家を作らんとす、但顧慮一段の努力を要す。
◇
張學良、錦州軍の自發的撤退を我矢野參事官に通告した、かと思ふに錦軍司令榮臻は總攻撃の手筈を終つて日本軍を殲滅せんと豪語す。
◇
暫く雌伏してゐた馮玉祥、好敵蔣介石の雌伏と行違ひに南京に出かけた、雄飛の目算出來たか。
◇
安達前内相復黨の誘導、時節柄選擧の神樣は矢張り必要。

馮玉祥南京へ

【天津二十七日發】馮玉祥氏は本日午後零時半天津通過津浦線で南下した

内田總裁着京

【東京二十八日發】内田滿鐵總裁は廿八日午前八時三十分東京驛着大久保の自邸に入つた、午後三時頃拓相、荒木陸相と會見の筈

芳澤大使出發

【パリ二十七日發】外相に決定した芳澤大使は愈々本日午後三時二十五分當地出發シベリア經由で歸國の途に就いた、驛頭にはブリアン外相代理ド・フーキエール氏、日本大使館員其他見送つた

香港丸

二十九日午後一時大連港外着の豫定

東亞の謎（162）

國枝史郎　挿畫 伊藤順三

黄帽の巣窟（二）

東亞の謎を解くに際し、絶對唯一に必要なものを、どうして發見することが出來るか？
それは小夜子を犯すことであつた。
さういふ秘密が一昨夜解つた、武村も知つてゐる。
その武村が小夜子を奪つて、今走つて行くのである。
武村にも謎を解くことが出來る實に易々として解くことが出來る。
だから何うしても武村と小夜子を、一緒に何處へもやつては不可ない。
どうあらうと小夜子を取り返さなければならない。

部正雄であつた。
南部は遙かの前方にあたつて、馳せて行く一騎の姿を認め、併てあらうとさう思つた。
（追ひついて加勢しなければならない）
で、馬を煽りに煽つた。
かうして三騎は走らせて行つた。
三里の沙漠の荒漠とした道を、さ、やがて武村の眼へ、燈火の光が髣髴して映つた。
（有難いぞう〳〵帽兒營へ來た）
彼は其處が黄帽の巣窟、帽兒營であることを知つてゐた。
（旨くあそこへ行き着きさへしたら、一切此方が勝利を得る）
いよ〳〵馬を急がせた。
間もなく猛々しい猛古犬の、凄じい吠聲が聞えて來、蒙古包の姿が點在して見えた。
事實其處は帽兒營であつた。
帽兒營は元音車顔城の、廢墟の礎の一つであつて、立派な小城であつたのであるが、永い〳〵年月の間に、すつかり滅びて廢墟となり、音車顔城よりより以上に、全く原形をとゞめなくなり、僅に礎や石窟や、數個の部屋や礎などが、點在してゐるばかりとなつた。
が、どうしたのか此處にばかりは、沙漠に珍らしく樹木が繁り、泉も湧き出河も流れてゐたので、人の住むにはよい土地として、この地方の人々には知られてゐた。
そこへ黄帽の蒙古人達が、物騒な巣窟を形成つたのは、大して古いことではなく、寧ろ最近のことであつた。
武村が近づくと蒙古犬どもは、いよ〳〵猛々しく吠え立てた。
と、包の垂をかゝげて、五六人の蒙古人が現はれた。

そこで武村は包の間を驅け抜けすぐに大岩の前まで來た。
大岩はさながら城門かのやうに高く廣く蟠居してゐたが、その左右には樹木が繁つてゐて、それが城壁の代用物のやうに、行手を塞いでゐた。
武村はそこで馬を下り、氣絶してゐる小夜子を引つ抱え、樹木の間へ分け入つたが、やがて姿が解らなくなつた。
蒙古人達も包の中へ引つ込み、犬ども、穩しくなり、四邊はしばらくひつそりとなつた。
包の隙から獸油の燈火が、赤黄色く洩れてゐるばかりであつた。
が、間もなく又犬どもは、その殺伐な唸り聲を上げた。
伯爵が乘りつけたからである。
伯は馬から飛び下りて、しばらく行手を眺めやつた。
（此處は一體何處なんだらう？ 普通の部落か、それとも何か？）
伯はちよつと思案した。

今曉約百名の匪賊が五龍背溫泉襲擊

安東署から應援の松井巡査左肩に重傷を負ふ

二十八日午前三時四十分ごろ約百名の匪賊五龍背驛、守備隊分遣所溫泉ホテルを襲擊したるため守備兵、警官隊、在郷軍人これと應戰彼我銃火を交へ同四時ごろこれを擊退せるが、賊は死體四、長銃二挙二を遺棄し逃走、この交戰にて安東署より應援の松井忠男巡査は左肩に負傷重態である、安東署より高山署長以下應援に出動した【安東電話】

各地から續々と救援 賊は西方の山中に敗退

二十八日午前三時三十分匪賊約百三十名が五龍背驛及び守備隊分遣所、駐在所を同時に襲擊しわが方は守備兵十二名、安東在郷軍人九名、警察官六名、驛員五名を以て應戰した、急報により湯山城より警官八名を乘せた臨時列車が三時四十五分到着し、高麗門よりの裝甲列車は五時十分安東よりの急援列車は五時十一分到着した、匪賊は交戰三十分の後西方山中に逃走した、守備兵は屋上より射擊し賊五名を射殺した【安東電話】

關東軍司令部發表

二十八日午前三時半ころ匪賊百卅名は安奉線五龍背驛を襲擊し來りたるため同地守備兵、警官、驛員及び安東より派遣されたる自警團之に應戰す、急報に接し救援のため湯山城の警官は臨時列車にて午前四時五分高麗門より守備兵は裝甲列車にて午前五時十分にまた安東より守備兵は臨時列車にて午前五時十一分にそれぞれ五龍背に到着したるも賊は既に西方山中に逃走しをれり、目下判明せる彼我損害は我軍は警官一名負傷、敵の死者四名なり【奉天電話】

東支線米沙子驛に匪賊迫り來る 支那官兵と交戰開始

二十七日寬城子驛北方十五支里呂家店に二百名の匪賊現れ附近部落の掠奪中なるが同日午後二時ごろ東支線米沙子驛に迫つた匪賊二百名餘は既に支那官兵と交戰を開始したるも附近住民は日本軍の應援をしきりに待望してゐる【長春電話】

第四聯隊から本社長に禮狀

曩に本社の山口特派員が撮影した(…)三間房附近の戰鬪寫眞は得難き記念寫眞であり士兵の教育資料として珍重すべきものであるといふので當時奮鬪した歩兵第四聯隊より贈與の申出であり本社は快諾してこれを複製し直に贈呈送附の手續きをとりたるに對し二十七日松山本社長宛に左の如き丁重な禮狀が來た

拜啓嚴寒の砌愈々御清福の段奉賀候、扨今度は甚だ御迷惑なる御願ひを申せし所御快諾下され早速澤山の寫眞を御送附に預り誠に有難く厚く御禮申上候、お蔭様にて將來のため得難き教育資料を得申候、當地目下平穩、迎へんとして滿蒙の天地今尚暗澹たる時を待ち居候、新年を來るべき時を待ち居候、新年を(…)貴社の御活躍も亦大なるものこれあるべく候、君國のため御奮鬪の程禱上候、先は右御禮申上候 敬具

十二月二十五日 歩兵第四聯隊

重傷に屈せず急を知らす

遭難當時の模樣を語る 勇敢な松井巡査

五龍背にて匪賊のため負傷せる松井忠男巡査は二十八日午前七時安東より急行せる並松警部その他につき添はれ安東着、直に擔架にて滿鐵醫院に運ばれ手當を受けたが第一番に見舞つた記者に語る

二十八日午前三時過ぎ驛立番交替のため派出所に入らんとせる時突然暗闇の中から狙擊せしものあり左手を擊たれましたが、その時は腕がされたような感じがしました、私は直に派出所員に急を告げ五龍閣にある在郷軍人に急報に行く途中氷溜りの氷の中に墮ち込みましたが這ひあがるに却々苦心しました、左手が全然利かないものですから五龍閣で暫らく休養して居る中安東より出動した守備兵の一隊に竹内軍醫が居つて應急手當を受けました、最初やられなかつたなら匪賊を擊ち殺すのでしたが殘念です

なほ同氏の射擊されたのは左腕の中央から骨を通し肋骨の橫を通り背中の皮でとまつて居つた

匪賊に襲擊された五龍背溫泉附近の全景

興隆山から移動し卡倫驛附近で交戰 吉長沿線も依然不安

二十六日吉長線興隆山驛襲擊の匪賊百五十餘名は附近部落に於て自警團と衝突激戰遂に目的を達せず公安隊の出動で退却したが我等は更に二十八日午前四時半ごろ吉長線卡倫驛を襲擊の目的で移動した賊三百餘名(其後增加)は同驛附近に於て長春縣公安局より出動の討伐隊百八十餘名と衝突目下交戰中である、なほ卡倫驛には我守備兵〇兵ありしも吉長鐵路では應援のため裝甲列車及びモーターカーを出動せしめた【長春電話】

故小野上等兵假慰靈祭執行

大連において戰死した故小野上等兵の遺骨は二十七日混成旅團出發後大連憲兵分隊に引取られんころに關東倉庫別館にて、二十八日內田曹長以下憲兵隊員により假慰靈祭を執行、本遺骨は當分別館に安置し不日奉天方面より送還されて來る遺骨と合し一月十六日午前八時より埠頭において慰靈祭を行ひ同日發ばいかる丸で送還の豫定

排日ポスター寫眞帖

定價一部金參拾五錢

發行以來續々と注文殺到し部數に限りありますから至急左記にて求められたい

取扱店 大連…本社、各販賣店、大阪屋號 滿書堂各書店、地方…支社、支局 各販賣店

高麗營子でも衝突 匪賊約六百名を擊退

わが獨立守備隊第〇〇大隊は廿七日牛心臺の北方高麗營子において約六百名の匪賊と交戰し匪賊は數十名の死傷者を遺棄して敗走した、わが軍に損害無し【本溪湖電話】

鳳凰城の被害

上圖匪賊のため切倒された電柱の復舊工事、下左圖襲擊放火された警官駐在所、下右圖安奉沿線の治安を案ず匪賊を指揮する前鳳城縣公安大隊長の徐文海

芝罘の排日最近惡化 撫順炭を壓迫

廿八日入港福潔丸で歸連した政記公司于民山氏の語るところによると芝罘方面の排日狀況は最近頓に惡化の兆を示してゐる、その原因の一つはさきに撫順炭販賣業者十餘名の協議の結果抗日會に大洋二千元を納めて販賣を認らんとし芝罘煤業公會温會長に依賴したところ温がそれを着服した事に端を發し同人は公安局に監禁されると共に撫順炭販賣に對しては一層壓迫の手が延びたと

定期旅客機が新義州寄航 大連から運賃十九圓

日本航空會社では東京、大連間の定期航空線一部變更し平壤新義州を寄航地に加へ二十八日から同地にも着陸する事となつた、旅客運賃は平壤新義州間十二圓、新義州大連間十九圓で平壤大連間は從來通り二十七圓である

松竹映畫を繞り報酬金請求訴訟 また映畫界に一波瀾

市内西崗子活動常設館中央館々主(…)南信大氏は法律時報主幹(…)進氏に相手取られ報酬金一千圓の請求民事訴訟を二十八日大連地方法院に提出された

理由は今夏松竹映畫上映館たる帝國館の改築を命ぜられた際、被告南氏は原告上原氏の盡力によつて常盤橋の空地を滿電會社から借受け假興行場を設置したが、これは取も直さず松竹上映權の餘命をつなぎ今日在る基礎を成したもので上映權利を一萬圓に見積つてもその一割一千圓の報酬支拂ひは當然であり、又當時大日活の長氏、常盤座の小泉氏は原告に對し南座から手を引くなら一千圓の報酬を出すと交涉あつたに徵しても本訴の請求は合理的なものであるといふにある

海城南臺の人心動搖 匪賊出沒

牛莊附近に派遣されたわが部隊は二十四日牛莊を撤退するや牛莊西方に蟠居してゐる義勇軍第一路の主力約二千五百名は二十六日牛莊を占領しその一部約一千三百名は同日夕更に進んでその東方約十粁の土臺子、三臺子、四臺子附近に進出しまた兵匪一二百名は海城及び南臺附近に出沒しつゝありため海城及び南臺の人心非常に動搖してゐる【奉天電話】

公主嶺の守備隊引揚げ來る

懷德縣方面の匪賊討伐に出動中なりし公主嶺守備隊芹澤大尉の率ゆる〇〇〇名は二十七日午後四時三十分公主嶺に引揚げた【長春電話】

デ杯戰候補者

【東京二十八日發】日本庭球協會は二十七日夜協議の結果來年度デ杯出場の歐洲ゾーン候補者五名は桑原孝夫、佐藤次郎、三木龍喜、布井良助、原田武一に決定した

官廳御用納め

大連地方法院、檢察局及び市內四警察署は二十八日御用納めとなり正月四日は仕事始め六日から平常通り事務を開始すると

海員協會出張所

日本海員協會では新たに大連に出張所を開設する事となつたがこれが所長には小泉正二郎氏が就任した

滿鐵の新年祝賀式

滿鐵においては元日午前十時より大連滿鐵社員クラブ大食堂において新年祝賀式を擧行するが在連社員は擧つて參列され度いと

故藤內氏遺族挨拶

林家臺驛で匪賊の襲擊をうけ殉職したる故藤內巡査部長の實兄藤內晃氏は二十八日御禮挨拶のため市內各方面を歷訪す

安藤家不幸

小崗子署保安係安藤綠氏夫人さく子氏(二八)は病氣のため赤十字病院に入院治療中であつたが廿七日午後十一時五十分遂に死去した葬儀は廿八日午後三時より常安寺にて執行すると

天氣豫報

廿九日 北西の風 晴一時曇

各地溫度

	廿八日午前十一時	廿七日最低
大連	零下六、三	零下五、五
旅順	同四、八	同四、七
營口	同九、一	同九、四
奉天	同一〇、一	同一〇、六
長春	同一二、一	同一七、〇

けふの小洋相場(正午) 金百圓は一五八圓一〇錢

武門血笑記 (10)

下村悦夫作　布施長春挿畫

女妖（一）

太郎左衛門の屋敷に、斯うした不思議な事件が突發した——それと、殆ど同じ時分のことである。

城下外れの在所から、山路を十町餘り、人里離れた山と山の峡にある天照院と云ふ、古い山伏寺の山門の前に現はれた、七八個の黒い人影があつた。

その眞先には、何時の間に追附いたのか、お蘭の夜目にも美しい顔が——續いて、乾分の中には、源之丞を背負つてゐるもの、源之丞に手傷を受けた仲間を肩に掛けてゐる者も交つてゐた。云ふ迄もなく、彼等は荒馬ケ原の仕置場から、引上げて來たのである。

と、女は通用門をとん〳〵と叩いて、

「龍圓さん、今戻つたよ、開けておくれ」

すると、中で、おゝと答へる聲がし、ギーとくゞり戸を開けて、首を出したのは、龍圓と呼ばれたその寺の主で、眉の太い、眼のギヨロッとした、中年男——。

「おゝ、姐御、お歸りなせえ、首尾は？」

「うまくいつたが、一寸いざこざがあつてね、お客様を連れて來たよ、オホヽヽ」

とお蘭は艶かに笑ふ。

龍圓は手負の様子に眼を止めて怪訝さうに。

「へえ、どうなすつたんで……」

「まあ、いゝぢやないの」

と無造作に云つて、お蘭はすいと中へはいる。乾分の者もぞろぞろと、後に續く。と、ギイパタンとくゞり戸が固く閉つて、人影を大きな家の中に呑み込んでしまふと夜は又、森と靜まり返つてしまう……。

源之丞は冷たい夜氣と、傷き附くやうな肩の傷の痛さに、何時となく意識を回復してゐた。が、彼はどしんと、手荒く板の上に投げだされた時にも、ぢつと、齒を喰ひ縛つて、觀念の眼を閉ぢてゐた敗殘者としての、自分自身の惨めな様子を、見まいとするかのやうだつた。女の命令で、無造作に乾分の者がするらしい、肩の傷の手當てにも、彼等の爲すまゝに任せてゐた。

ブーンと、艶めかしい白粉の香と共に、温かい女の息が、顔にかゝつた。

「お侍さん、御氣が附きなすつたかえ」

（あの女だ！仕置場で、俺の頬に短銃をピタリと當てた、あの怪しい女に、美しい女だ！）と思ふと、源之丞は、無理矢理に閉ぢた眼を、烈しい憎惡と、何とも知れない好奇との氣持との混亂した意識の中で、見開いた。

「まあ、随分凄い顔をなさるのね。別にお前さんを煮て喰ひはしないから、安心なさいな」

「むむ、貴様は何者だ？」

「妾や女さ、可哀さうな女ですよ。ホホヽヽヽ」

相手を馬鹿にしきつた返事である。源之丞はむつとして、唇を閉ぢると、女の顔から瞳を外らして寝たまゝ、ちろりと、四邊を眺めた。高い欄間、破れて、處々雨漏りの跡はあるが、襖の様子、どうやら寺だといふ事だけは、源之丞にも見當がつく。そうして、隣りの部屋であらう、大勢で、傷の手當をしてゐるらしい物音も、彼の耳に入つて來る。

と、女は、悪戯らしく眼で笑ひながら、源之丞の眼を追かけて、

「おや、おこつたの、さう、ピンシヤンするものぢやありませんよ。何うせ、御前さんは、私達の四人ぢやないか」

源之丞は、黙つて、怒りに燃え上つた瞳を屹ッと女に向けた。

お斷り　武門血笑記の挿畫は工藤義正畫伯が突然病氣となり絶對靜養を要し執筆不可能となつたので已むを得ず第十回から布施長春畫伯が代つて執筆することになりましたから惡からず御諒承下さい

東活實演「出征夜話」

明日來連する東活慰問撮影隊は元旦から大日活で吉岡貞明原作「出征夜話」を實演するが、配役は南光明の主人、武林新の失業者、石川秀道の社長、東乗久義の壯士、大井正夫のコック、龍門正二郎、小笠原隆の客、岡田靜江、宮城直枝、大内純子、若松愛子、森眞久枝の女給、川島奈美子の失業者の妻で東活現代劇部オールスターキャストで期待されてゐる。

東活撮影隊 あす來連 香港丸にて

在滿將士慰問と「北滿の落花」改題「大和櫻」ロケーションのため來滿する東活撮影實演隊一行三十名は若木總務に引率され明廿九日入港の香港丸で來連、年内滿連打合せ休養をなし元日から大日活にて「出征夜話」を實演する

凍原に咲く戀 東活滿洲ロケ

東活ではカチューシヤで有名なトルストイの「復活」を支那劇に翻案して「凍原に咲く戀」の題名で映畫化することに決定、岡田靜江のカチユーシヤ、藤間林太郎のドミトリのベストスタッフにて「大和櫻」の撮影と同時に滿洲にてロケーションすることになつた主なるキャストは左の如し

花沖沙（岡田靜江）洞美梨（藤間林太郎）漢智金（南光明）驪里阿（川島奈美子）潯明浩（大井正夫）蘇井伊（本田純子）周中尉（石川秀道）李蓮紅（大内純子）洪少尉（龍門正二郎）裁判長（中野信近）看守（小笠原隆）柴間縣（豐國金太郎）

キネマと演藝

大連劇場 新春興行 明石潮が出演

元旦から大連劇場の初春興行に出演する明石潮一座は北村愚男、岬重郎、吉本多歌樹、服部興志雄、松島隆司、松本德三郎、村越喜三郎、三田村雄介、石川笑太郎に衣川阿佐路、石川小波、林愛目、加茂京子らの女優一行三十餘名で、大連興行は十日間に五の替り上演の豫定で御目見得狂言は明石潮劇化「素浪人の辰」二幕三場、栗島狭衣作「鷄鳴出世鳥」五幕八場、二の替りは大明一陽作「平手造酒」三幕六場、門脇陽一郎作「江藤新平」三幕六場である

大江美智子 沿線へ 傷病兵慰問

大江美智子一行は二十七日自動車三臺に分乗午後二時十分旅順衛戍病院を訪ひ慰問の言葉を述べ各病室を廻り自分と駒井遊枝冬木艶子三名のブロマイドと中央映畫館からの菓子折を贈つた、それより戰跡を見學し四時半歸連したが、今朝大連驛發急行で奥地の衛戍病院見舞ひに出發した

噂話

正月興行を控へて最も氣の毒なのは開館間際になつてゴテッイた映樂館がまだ蓋のあかぬ事と▲常盤座が途中でプロを變更したので宣傳材料その他に手違ひを生じ宣傳不足の憾みがあるのは惜い▲大日活が第二週にやる「アフリカを語る」がけふ檢閲されたが▲動物映畫のトーキーとして最初の大連上映で物珍しいだけに興行成績が期待されてゐる▲明日の香港丸で東活の連中が大擧來連するが、常盤座の小泉友男氏も同船で歸連する▲大江美智子と大連會館はタイアップで愈々宣傳戰に乘出し卅一日の夜、大連會館で一行が挨拶するとのこと

本社特選 新棋戦（其四）

平香交　香落番　四段△建部和歌夫　三段▲加藤富久

【圖は八九成香迄の局面】▲加藤氏「持駒」桂歩

△建部氏「持駒」歩歩歩

△二二角　▲同銀
△六三角　▲同銀
△同歩成　▲四二金寄
△九三歩　▲八二飛
△五三銀　▲三一銀

【土居八段講評】△建部君の六三角は餘りに重い攻めである寧ろ五四銀と進み形の悪い銀を利用する方が良い。斯の如き急激な手段で仲々成功するものでない▲加藤君は同銀以下輕く四二金と體を躱し敵の鉾鋒を避けたのは良策である。次に三一銀と姿を整へ敵を指切り模様にしようとの意味で防戦に努めたのは好い。

【萩原六段解説】上手の六三角は強い攻めであるが五四銀と出るのも一策である。下手同銀は已むを得ない處であつて次に四二金と寄つたのも敵は銀一枚故早く攻められる様な順もない故に至當な手である上手九三歩は敵飛車の横利きを消す意味で此處出ても五二歩と受けられると攻め難いのである下手の八二飛は九三同飛と指しては飛車の横利きがなくなるので、八二飛と指したのは一旦飛車を防禦に用ひ、その間持角の利用を窺つてゐるのである。續いて三一銀は玉を廣くしてこの場合至當な受け手である。

女心は斯くも變るか 貞女も姦婦となる 男子の性的缺陥

圖は飛行士の愛人が、深夜に水垢離をして晴れの無事航空をいのつて居るところである、女性はかく獻身的に男を思ふ一念もあるが、他の一面には、連添ふ夫でも見限つたり、夫に反逆を企てゝ三角關係に脱線する様なことも世間に多いが、其の本は多くの場合男の性的缺陥にあるのが、蓋し世の中の眞相である、性的缺陥の男子は夫たるべき第一の資格を缺いで居るから妻の心の離れるのは已むを得ないことである、此の悲しむべき男子年輪發育不完全機能障害は從來内服藥や其他に數百圓の治療費を使つても失望する人が多かつたが、最新醫學の尖端たる物理療法の代表的發明品と云はれて海外にまで有名なる**専賣特許眞空水治療法器**を、自分で祕密に直接局部へ使用して簡便安全に治療を施こすと、最初の第一回より目前直ちに、巧妙なる理學的眞空吸引力によりグングン發育する寸法が一回毎に本器のメートルへ數字的に現はれ、同時に神秘極まりなきエンツンデユング作用により、手淫、過房の害、局部神經衰弱、遺精、夢精、早漏、陰萎等の起力衰退を回復し、機能ますます健全となり、金と時を省き超スピード的に物小が強大發育し男性の資格を完成すること、誰云ふとなく實驗界の好評湧くが如し。

醫學博士十二大家實驗證明推奬 専賣特許眞空水治療法器 一具金四圓五十錢（送料内地二十一錢植民地五十錢）

又包莖が切らずに自分で容易く立派に成形する 専賣特許包莖安全自療器は一具金三圓八十錢（送料内地十五錢）です、御注文次第匿名發送します（代金引替御注文は送料十五錢增）です、

⊙非賣品 圖入説明書（多數實驗者告白實例付）は全部無料で匿名送呈しますから直ぐおハガキを御出し下さい、御申込は東京芝區神谷町十八東京新療法研究所（振替東京七七三九番）又は大阪堂島中二丁目三十二新療法研究所大阪支部宛に御出し下さい。

大連港を中心とする昭和六年の海運界(上)
わが政變と金輸出再禁止により 俄然活況の近海市況

大連港を中心とする昭和六年の海運界を概觀するに先づ近海市況は客臘來引續き社外臨時船の割込さ內地不冴のため極端なる不況裡に推移し一般定期船腹でさへ前年末の阪神豆粕五六錢京濱六錢五厘見當を唱へ尙且つ集荷に困難を告ぐる悲況にあつたが、此の間濠洲小麥歐洲向輸出の商談漸く活況を呈し自然社外船は同方面に配船增加の傾向を辿つたのと內地硫安問題を移して豆粕の荷動き好轉で一月下旬漸次好調を入れ阪神九錢京濱十錢處に昂騰した、かくて二月になつても引續き大型船の遠洋進出のため近海船腹減退の傾向は逐日濃厚となり加ふるに折柄の市價低落による特產物の內地輸送比較的に活況を呈したため運賃市場も漸次硬化したが下旬に入り舊正明後の特產相場の見直りで荷動きも稍減少して賃率も幾分反落氣配をみせた

◇

三月の近海就航船腹は約百二十萬噸に外に增加したが北洋材の成約期に入つたのと特產物の出廻り期に當面し居りたるため若濱石炭運賃の昂騰を始め市況は全般的に順調で社外船の割込みも何等賃率に影響なく堅かり商狀を呈したが只下旬に入りて浦鹽の割安に押され稍軟弱氣配を見せた、四月になつても濠洲小麥の輸出活況を傳へ他方アメリカ小麥三千五百萬ブッセル積取豫想や近來の入渠船增加の傾向に加へ西貢米、臺灣砂糖、北洋材積取並に北海漁業出動見越等强材揃ひのため市況は俄然好調に轉向した、然るに月半以後先行好轉を豫想された財界が案外おもはしくないために一服商狀を辿り特產運賃もまた軟弱氣配を免れなかつた、越えて五月ロシア側の傭船契約の好調や北洋沿海州方面の出動增加等相當の强材をみたが時恰も夏枯期を控て一般荷動きも減退の折柄北米小麥、印度棉花、鹽の荷動き見込外れ等から近海就航船腹は遂に百五十五萬噸に達したので市況は愈々鈍狀化し大連特產運賃も折柄の季節的荷動きの減退と相俟つて約二錢方の軟化をみた

◇

六月に這入ると北洋材に活氣なく北洋漁業もまた目覺ましき進展をみず搗て加へて濠洲小麥積取船の歸航をみたので中旬末の就航船腹は更に二十萬噸を增加し折柄の近海一般の荷動き不振と相俟つて市況は必然的に軟化した、一方大連特產物も愈々夏枯期に入り銀相場の昂騰による取引見送り等で市場は常に閑寂となり運賃率は更に二錢方低落し月末には阪神豆粕五錢京濱六錢となつた、七月になつても夏枯氣分は愈々濃厚であつたが長江一帶水害のためはやくも濠洲小麥の對支商談擡頭しこれが引當船腹準備で大型船腹の需要が復活すると共に一方北洋材積取りの最盛期に當面し居る關係上臨時大型船の廻航殆どなきため閑散期にも拘らず運賃率は却て好調を辿つた、八月は例年の夏枯期であるが內地の米價昂騰を移して特產物の需要も案外好調を續け一方過剩船腹の消化もまた比較的良好なりしと且は營口輸出旺盛を傳へて社外臨時船の大部分が同港に集中する傾向濃厚となつた結果大連出入船腹は著るしく調節せられて市況は何等の變化をみなかつた

◇

九月に入れば端境商狀は益々濃厚となり惡材料續出のため氣配愈々軟弱の折柄下旬に至り滿洲事變突發後の銀價の猛騰及內地株式慘落による財界不振のため滿洲特產物の需要は一段と減少し內地向輸出市況を更に不利ならしめた、越えて十月時局發生以來支那各地排日の影響は益々甚だしく就中南支方面の貿易は殆ど停止の狀態に陷り北洋方面また船腹需要一段落を告げ加ふるに社外大型船の遠洋配船は外國船に壓倒される等惡材料續出し、近海一般は極度の不振を示し大連內地間は愈々惡化するに至つた、十一月に這入ると時局影響も特產物の出廻りには殆ど關係なく新穀到着數量も例年と變りはないが內地筋の買見送りと時局發生以來近海の浮動船腹が新穀積取りを目的として續々來航したため運賃市況は前月に比して更に軟化し阪神豆粕四錢五厘、京濱五錢五厘に低落した

◇

十二月になつても引續く不振材料のため內地、臺灣九州方面は何れも極端に軟化ししかもボンド相場の惡化による大型船の配船不採算は愈々近海方面の前途を暗黑ならしめたが突如捲き起つた政變と金輸出再禁止に意外の好轉をみせ活況裡に越年せんとしてゐる、今豆粕阪神運賃を各月別に前年と比較せば左の如くである(單位錢)

月	本年	昨年
一月	七、〇	五、五
二月	九、〇	五、五
三月	一一、〇	六、〇
四月	九、〇	七、〇
五月	七、〇	六、五
六月	六、〇	六、五
七月	六、〇	六、五
八月	六、〇	六、〇
九月	五、〇	六、五
十月	五、〇	六、五
十一月	四、〇	七、〇
十二月	五、〇	六、五

消費組合問題は爲政者に期待
中村輸組聯合會常務理事談

輸入組合理事を中心とする關係方面の消費組合問題協議に參加するため赴奉中の中村輸組聯合會常務理事は二十七日歸任したが、該問題に關し左の如く語る

解決具體案だつて?そんなに早急に出來るものではない、自分は折柄、開催中の地方組合理事有志の

懇談會 に同席し、消費組合問題の協議にも加はつた、ところで消費組合は各方面から非常に關心をもたれてゐるが、たゞ一二紙上の報道、例へば輸入組合が率先して運動を開始したとか、輸入組合が消費組合を買收することに決定してゐるといふやうなことは全然ない、無論在滿小賣邦商が存續上、消費組合問題を種々考慮し、その多數が輸入組合員である事實に基いて、組合理事並に私共がその職分に顧みて善處せんとしつゝあるのは當然なことゝ思ふが、率先して

烽火を あげたといふやうなことは輸入組合なる機關の性質上當らないことである、輸入組合が消費組合を買收出來れば甚だ結構だが、販賣年額一千萬圓に上る組合は買收するやうなことは一寸考へられぬことである、また單に買收することで解決がつくと考へるものがあるならばそれは認識不足の誹を免れぬものであると思ふ、現に消費組合撤廢を叫んでゐる人達の聲は極めて單一で太くして短く、そして力強く國家爲政者の

裁斷を 待つ底のものであり、その裁斷如何はまた國家が今日以後の滿蒙新經營方策の根幹を植民主義に置くか經濟主義に置くかの指針を爲すものと見るべきであつて輸入組合そのものゝ業務方針の上にも重大な係はりを有するものとして緊張した氣持を持つてゐるわけである從つて私共の立場に於ては彼等の眞實に對して十二分に之を支持し後詰の役として問題落着後の用意に專念しつゝあり理事今回の會合もその一つの現れである、その用意のために如何なる案を持つてゐるかの質問は吾々の組合員からしても之有るべきを豫期し得るが、未だ熟しても居らず熟し居るにしても此の

機會に 發表することは却つて第二義に位すべき案の檢討に禍ひされて彼等の至純にして正調された第一義的な運動を阻害し印象を不鮮明ならしむる恐れがあるので差控へたい、本問題は植民地に於ける商民の生存權に關するものなりや否や或はそれが滿蒙國策の根底に觸るゝや否やの國家爲政者の判斷に期待さるべき絕對のもので解決點は自然そこに繫つて居り、今回の運動の方向も亦自ら其處に對照が求められて居るのであつて決して從來の如き消費組合の經營方針そのものに容喙せんとするが如き形は現はれても居らず旁々所謂案の良否が解決の鍵となるものではならない、寧ろそれは滿蒙植民政策の大局的見解として消費組合存在の是非や撤廢の

可否の 決定に從つて必要を生ずべき性質のものである、こゝが從來の運動と意識的にも判然と區別さるべき要點であるが故にその必要の時に當つて原案となるべき具體案が商民の支持者たる私共輸入組合當事者に依つても今より用意さるべきなりとするならばそれは前にも述べた通り當然の事と考へてゐる

七十三圓臺に鈔票爆發す

當市鈔票は時局懸念が日々に擴大されてゆき銀春高見越も有力に行はれるので最近一途に騰勢を辿つてゐたところ、今朝遂に高値は七十三圓四十五錢まで爆發するに至つた、卽ち材料として右の人氣が主因であるが今朝日米爲替三十九弗丁度と一弗安、米日四十弗丁度と五十仙安を入れたのも與つて力があつた、その他の海外材料は紐育銀塊同事、倫敦、孟買とも休會にて米英クロスは二分の一安を入れ、上海標金も亦却て堅かりであつた、而して場況は高値は利喰急ぎ現れて下押し七十一圓六十錢まで崩れ七十二圓九十錢に引け出來高も一千八十一萬圓に上つた、なほ明日前場を以て大納會するので一般に手仕舞氣分濃厚であるが當市マバラ筋は最近大體において當り續けてゐる

特產各品とも一氣に奔騰

二十八日前場の特產市場では時局による一般出廻り懸念で先高氣構への折柄、年末年始を控へて大豆は現物の買氣あり豆油もまた南支筋の買氣等で銀價は七十三圓臺乘せと一段高を示したに拘らず全然無關心に各品とも一氣に奔騰した卽ち大豆は八錢乃至十錢方の暴騰を辿り、豆粕は一錢乃至三錢五厘高、豆油は三十錢乃至四十錢高の昂騰を示し、高粱はまた七錢乃至十二錢方の暴騰を演じた、かくて相場の波瀾重疊と共に出合も多く大豆は四百十八車、豆粕は十九萬四千枚、豆油二萬二千箱、高粱七十八車の出來高で事變發生以來出廻り期に向ひながらもボンド相場の惡化や銀價の猛騰による買氣手控へで沈滯しつゝあつた市場は近來になき活況を呈した

舊奉天政權に對する邦商の債權問題
漸く解決の段取り

學良政權の失脚に伴ひ舊遼寧省政府に對する邦商の三百四十萬圓債權問題は事件以來數次に亘り此が解決方に奔走中であつた奉天商議に於ては去る廿六日野瀨書記長が關東軍統治部を訪ひ右問題につき協議を重ねる處あつたがこれに對し野瀨氏は語る

債權者になつて見ると實に氣の毒である殊に年關を控へての今日何れも四苦八苦の狀態で何んとか解決を告げたいと思ひ軍部と協議をしたが、軍部としては其の當時本問題につき責任者の出來る迄待つて吳れ責任者が出來れば何とかするからとの事で今日迄殆んど放置されてゐたが、最早遼寧省主席臧氏の就任も見又同省內に債權、債務に關する整理委員會も出來たので近く軍統治部と整理委員會と折衝し協議される筈で、これにより年內には債務の履行は出來ずともある一定の支拂期間を附し正式の回答さへ得さへすれば卸商として其れを確證に金融方法を講じ歲末決濟をつける事が出來るので或は斯うした條件付きの下に二三日の中には解決が出來るかも知れない【奉天電話】

佛蘭西料理 カフェー 翠香 浪速町四丁目 電四四六三番

1931年の大連經濟界を顧る……(8)
多事多端だつた今年の株式市場 (中)
悲觀から一陽來復へ

フーヴァー大統領のモラ案提議を動機として俄然樂觀氣分に轉換した株式市場は騰勢を續け七月六日には新東株は百五十圓擡み、當所株十四圓擡みに一齊高を示し大盛況を呈した。翌八日新東株の反動安を入れながら市場は延取引制度改正に人氣を繫ぎ地場株は案外堅かり商狀を辿り、十三日に延取引の開始を見るや內地株の暴落を入れたるも地場株は氣丈を示した。その後綿絲安の影響をうけて再度の新東株低落となり、そこへ英蘭銀行利上げの報を入れ新東株を筆頭に諸株一齊崩落し市況沈滯として氣迷ひ商狀を辿り月末綿絲の續落に半恐慌氣分を呈するに至つた八月に入つても相變らず不味閑散の場面を續け、八月十日米棉大豐作の入電に綿絲の大暴落を見たが新東株は案外堅り商狀を呈し三品市場の反撥につれて益々昂騰した その後再度の綿絲安により反落商狀に轉じ、當地定期市場は地場材料乏しきためヂリ安を續け商內寥々として振はず氣乘薄閑散裡に推移し爾來九、十、十一月にかけて定期市場の閑散不振は革まるに由なく僅かに延取引の手合により定期取引の不振を補つて來た、斯うした現實悲觀の人氣により當所株は落調酒々遂に十圓臺を割つて七圓臺にまで崩落した、內地株十月の交にかけて落調を辿り殊に九月下旬日支衝突事件の勃發、英國の金本位制停止等の弱材料續出に氣配頓に惡化したので市場の混亂を恐れて增證を徵收し、東西株式市場に倣つて九月二十一、二兩日間休會し、翌二十三日に蓋明けしたるに新東株百七圓、當所株七圓七十錢の安値をつけ內地市場の惡化に氣配益々不穩となつた爲め二十五、六の兩日も內地市場と同樣休市し、二十八日より立會を再開した、處が投物續出して新東株九十八圓擡みに慘落し翌二十九日に至つて漸く落付模樣となつた、爾來十月初旬にかけて不安人氣去らず十月三日には鐘紡新株五十三圓五十錢と云ふ記錄的新安値をつけ、日銀利上げ發表を見るや新東株も九十三圓擡みまで叩き込まれた、その後惡材料殆ど出盡せると金輸出禁止及び平價切下げは早晚免れ難しとの見方よりして底入り足となり綿絲の急反撥も手傳つて相場は稍灰汁拔けの觀を呈し十月七八日頃より市況は常態に復歸し百圓を中心に上下往來の保合狀態を續けつゝあつたが十二月に入り安藤前內相の投じた一石によつて突如政變を招來し、若槻內閣瓦解、犬養內閣の成立となり引續いて金輸出禁止の斷行を見たので市場は俄然沸騰し東西兩市場を首め內地株式市場は再度の立會停止を行ふに至つたゝめ當市も內地株を除いて地場株のみにて取引を續けたがその後內地株式市場における解合成立せるを以て當市も新東株の解け合を行つて內地株の立會を再開した、この突發材料により當市の商內は俄に旺盛となり毎日出來高六千枚を下らず一萬株に垂んとする出來高を見た日もあるなど一陽來復の兆顯著なるに至つた、今本年一月以降十二月下旬に至る當所株及新東株の高低相場表を示すと左表の如くである(單位圓)

月別		五品株	新東株
一月	高	一七・九〇	一四四・三〇
	低	一六・九〇	一〇四・二〇
二月	高	一七・五〇	一一七・三〇
	低	一五・六〇	一一一・九〇
三月	高	一七・九〇	一二九・八〇
	低	一六・六〇	一一三・八〇
四月	高	一六・八〇	一二五・九〇
	低	一三・六〇	一一四・四〇
五月	高	一四・八〇	一二五・〇〇
	低	一二・八〇	一一五・三〇
六月	高	一三・三〇	一四〇・七〇
	低	一一・〇〇	一二〇・〇〇
七月	高	一三・九〇	一四九・二〇
	低	一一・〇〇	一二八・二〇
八月	高	一一・三〇	一三四・九〇
	低	一〇・四〇	一二八・九〇
九月	高	一〇・四〇	一三六・〇〇
	低	七・八〇	九七・八〇
十月	高	九・一〇	一〇六・八〇
	低	七・九〇	九二・六〇
十一月	高	八・六〇	一二二・〇〇
	低	八・二〇	一〇二・七〇
十二月	高	一五・四〇	一六八・五〇
	低	八・三〇	一一六・三〇

黄塵

◇…昭和六年の歲正に暮れんとす顧みれば波瀾重疊變化に富んだ年であつたが悲觀から樂觀に轉換して行つた歲晩の情勢は我財界の前途に對する啓示として慶すべきことである。

◇…昨年金解禁斷行以來引續くデフレーション政策と內外情勢の惡化に財界は底なしの沼に陷落し人氣は極度に萎縮して仕舞つた。

◇…加之資金の偏在は經濟界の憔悴を益々窮地に陷らしめてこの儘行つたら不測の禍を釀さないとは云へない憂慮すべき有樣になつた。

◇…殊に滔々たる正貨流出の勢ひは人爲策を以ては防ぎ止められさうもない狀態に立至つた。

◇…無理に無理押を重ねた前內閣の矛盾した政策が愈々淸算される時が來た。

◇…政變と金輸出再禁止によつて斯うした矛盾と無理が矯正された。

◇…而して財界は往くべきところに落着かんとするに至り財界の前途に一縷の光明が認められるやうになつた。

◇…來るべき新年の株式界には相當大きな波瀾が期待されるが貨勢さへ副ふて來れば漸次に上り行く相場の前途を豫想することはまんざら無稽の觀測ではないであらう。

市場電報 銀塊及爲替

銘柄	相場
倫敦銀塊	—
同 先物	—
紐育銀塊	—
孟買銀塊	—
スチール	—
アナコンダ	—
英米爲替	三弗四三仙四分三
米日爲替	四〇弗〇〇仙
米支爲替	二四弗三分一

棉花

●米棉 現物 — 十二月 — 一月 — 三月 — 五月 — 七月 — 十月 —

●印棉 ベンゴール — ブローチ —

大阪期米(オムラ)・東京期米・神戸期米

當限 — 中限 — 先限 —(前場寄・前場引とも)

大阪株式・東京株式・大阪綿糸・大阪棉花・横濱生糸・印度麻袋

[illegible]

市況(廿八日)

特產 先高を氣構へ 大豆暴騰

今朝の定期は出廻懸念に先高を見込み銀高も無關心に大豆は暴騰を廻り豆粕豆油は昂騰高粱も暴騰を演じ活況を呈した

◇定期前場(後場休)

▲大豆(暴騰)單位厘 限月・寄付・高値・安値・大引 [illegible]

▲三等大豆出來不申

▲豆粕(强調)單位厘 [illegible]

▲豆油(昂騰)單位錢 [illegible] 出來高 十九萬四千枚

▲高粱(暴騰)單位厘 [illegible] 出來高 二萬二千箱

▲包米 出來不申 出來高 九十八車

◇現物前場(銀對)

品名	寄付	大引
混保大豆(袋物)	四六八〇	四七六〇
普通大豆(袋入)	四七〇〇	四六八〇
出來高	二百車	
豆粕	一六四五	一六七〇
出來高	七萬一千枚	
豆油	一二八〇	一三〇〇
出來高	一萬二千箱	
高粱	二八〇〇	二八三〇
出來高	十車	
包米	二九五〇	三〇〇〇
出來高	七車	

定期喰合高(廿六日帳入)

品名	喰合高	前日對比
大豆	五四三六車	八七車
高粱	一〇七六車	△一車
豆粕	四一四三千枚	△八二千枚
豆油	四五三〇百箱	九〇百箱

株式 春高見越 當市强調

今朝北濱定期の前場寄は大株三十錢高、大新一圓高、鐘紡一圓六十錢高、鐘新二圓三十錢、短期も大新一圓七十錢高、鐘新一圓九十錢東新二圓十錢高を入れ、一方東京短期も東新一圓二十錢高、鐘新一圓六十錢高と一齊に鞘りを入れたので當市は春高見越旺盛にて內地より一段と上廻り定期において五品三十錢乃至六十錢高、新豆五十錢乃至八十錢高、東新三十錢高を呈し、延も五品十錢乃至五十錢高、新豆三十錢乃至五十錢高、錢鈔二十錢高、東新一圓五十錢乃至二圓七十錢高、滿鐵新十錢高に大盛況裡に大納會した

◇定期前場 銘柄 當限・先限 [illegible]

◇延取引(單位十錢)[illegible]

錢鈔 時局懸念で七十三圓臺

今朝日米爲替は第一回第二回とも三十九弗丁度にて一弗安、米日五十仙安の四十弗を入れ、時局懸念益々擴大し人氣にて七十三圓臺まで爆發した、紐育銀塊同事、倫敦孟買休會、上海標金小堅り、米英クロス四十三仙二分の一(二分の一安)滬申七十四兩二七五、滬烟七十兩四〇、大洋百圓九十錢

◇定期前場(單位錢)寄付 高値 安値 大引 [illegible]

出來高 期近一千八十一萬圓

◇現物前場(單位錢)[illegible]

豆

年末休日を控へて大豆は現物買物あり豆油は南方筋の買進みがあり▲加ふるに一般出廻懸念に先高見越しで銀價の一般高をも無關心に各品共に上伸し▲殊に大豆高粱は暴騰を演ず豆粕、豆油は昂騰を辿り出來高もそれ〴〵に彈み近來にない活況を呈した▲現物は大豆油房九十車邦華商百十車で二百車の手合、永行が依然六十車の賣物▲普通大豆は五車で成發東の賣りに三井の買物、こゝ許普通品はさして振はない

銀

一般に銀高見越しが濃厚に行はれてゐるところに▲滿洲各地でいろいろのざわめきが櫛の齒をひくやうに傳はるのだからたまらない▲彌が上にも人氣硬化して今朝七十二圓八十錢と二圓八十錢一氣に離れて寄付き▲高値は七十三圓四十五錢まで吹上げる有樣であつた▲あと利喰急ぎ現はれたゝめ一圓臺に押し二圓九十錢に引けた▲そして今朝は爲替安も材料となつたが矢張り主因は時局懸念による人氣と見るべきであらう

株

今朝內地主力株は東京、大阪とも一齊に强調を入れた▲それに當市は內地より一層、春高見越しが旺盛なるため買進み盛んに行はれ東新の如き大阪短期前場引は百五十八圓五十錢であつたが當市は二圓內外上廻つた▲その他の株も一齊に買はれて堅りを呈し商內彈んだ▲そして今年の大納會は單なる御祝儀商內とは少し趣を異にし▲人氣を反映した商內にて新春を迎ふに適はしい大納會振りであつた

商品 綿糸布强調 麻袋强保合

●綿糸布 休日前紐育は銀塊同事ながら米日五十仙安、本朝神戸日米は三十弗と軟調なりしため三品は小一圓高に寄付きたるも利喰にあと反落、當市は綿糸布とも鈔票高に刺戟されて買氣旺盛、場面活況を呈した

●麻袋 產地休會ながら當市は鈔票高に好感し春高見越人氣に買氣旺盛、活況裡に大納會した、氣配現物二十五錢五厘、一月、二月、三月とも二十五錢、四月二十四錢七厘、五月二十四錢五厘

▲麻袋定期

銘柄	約定期	値段	數量
鐵筋	一月限	二五、〇	二
同	二月限	二五、〇	七〇
同	三月限	二四、九	二
同	同	二五、〇	三〇
同	四月限	二四、七	二
同	五月限	二四、五	二
出來高	十萬八千枚		

▲綿糸定期

銘柄	約定期	値段	數量
福助	三月限	一三五、四	一〇〇
同	四月限	一三八、〇	一〇〇
同	五月限	一三九、七	五〇
出來高	七十梱		

▲綿布延取引

銘柄	約定期	値段	數量
三輪A	二月限	一、五二	二〇
同	同	一、六〇	一〇
同	三月限	一、五三	二〇
同	同	一、五六	二五
軍人	二月限	五、二五	一五
同	三月限	五、二五	二〇
出來高	百十俵		

▲銀建絹糸定期

銘柄	約定期	値段	數量
仙桃源	五月限	一九三、四	五〇
出來高	五十梱		

◇滿鐵株(强調)

▲東短前場 滿鐵新株 三十二圓丁度

▲大阪現物 滿鐵舊株 六十二圓五十錢

◇延取引(單位十錢)[illegible]

○爲替及受渡日歩 [illegible]

各地特產發送高

▲開原 大豆 五三車 高粱 一車 豆粕 — 雜穀 —

▲四平街 大豆 二〇車 高粱 九車 豆粕 — 雜穀 —

▲公主嶺 大豆 — 高粱 — 豆粕 — 雜穀 九車

▲長春 大豆 一二五車 高粱 四車 豆粕 — 雜穀 一二車